

平成21年度
磯子区民意識調査報告書

横浜市磯子区役所

平成21年度 磯子区民意識調査報告書 目次

調査概要.....	1
I. 回答者の属性.....	2
II. 調査結果.....	8
1. 生活環境について.....	8
(1) 満足度・以前との比較.....	8
(2) 重要度.....	34
(3) 区役所への期待.....	37
(4) 満足度と以前との比較.....	40
(5) 満足度と重要度.....	43
(6) 重要度と区役所への期待.....	44
2. 居住地の移動について.....	45
(1) 現住地居住年数.....	45
(2) 前住地.....	47
(3) 前住地からの移転のきっかけ(「ずっと現住所」以外の人).....	51
(4) 現住所を選んだ理由(「ずっと現住所」以外の人).....	53
(5) 定住意向.....	56
(6) 希望する移転先(移転意向の人).....	58
(7) 磯子区から移転するきっかけ(区外への移転意向の人).....	59
(8) 移転先として磯子区を選ばない理由(区外への移転意向の人).....	60
(9) 区内に住み続ける理由(区内定住意向の人).....	62
3. 普段の生活や考えについて.....	64
(1) 心がけていること.....	64
(2) 生活価値観.....	69
4. 磯子区で取り組んでいる施策について.....	71
(1) CO-DO30.....	71
(2) 磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」.....	73
(3) いそご区民活動支援センター.....	75
(4) 区政広報ポスター.....	77
(5) カラス生活被害対策.....	81
(6) 磯子土木事務所.....	84
5. 住宅用火災警報器の設置義務化について.....	88
(1) 義務化の認知度.....	88
(2) 設置の有無.....	89
(3) 設置場所(設置している場合).....	90
6. その他.....	92
【資料】調査表(単純集計結果).....	93

磯子区民意識調査

調査概要

◆調査対象

調査対象数 3,500 人(20 歳以上の人・住民基本台帳及び外国人登録原票からの
無作為抽出による)

有効回収数 1,927 件(回収数 1,932 件、うち白紙回答 5 件)

有効回収率 55.5 % (有効回収数/宛先不明返送分を除く調査対象数 3,475 件)

◆調査方法

郵送によるアンケート形式

◆調査期間

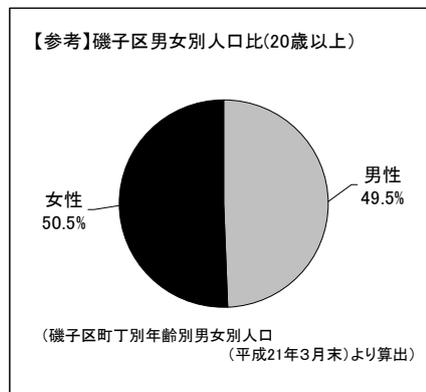
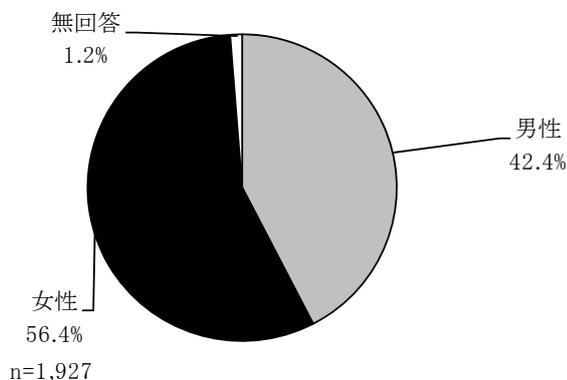
平成 21 年 7 月 29 日～8 月 12 日

◆調査実施機関

株式会社 地域環境計画

I. 回答者の属性

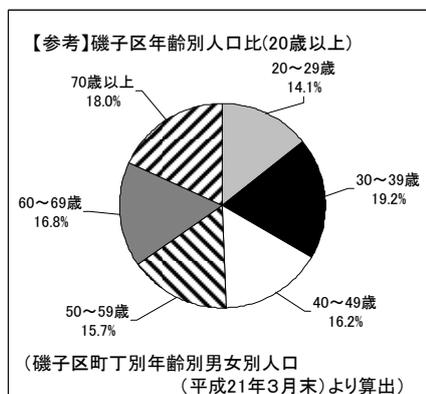
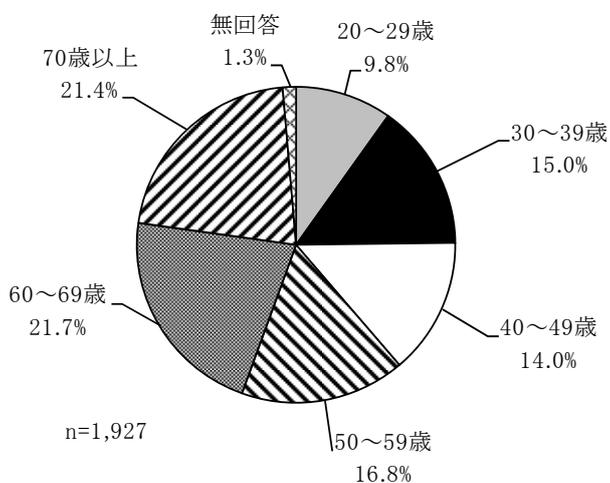
F1 性別



女性が男性より14ポイント多い

- ・ 女性が56.4%で、男性42.4%より14ポイント多くなっている。

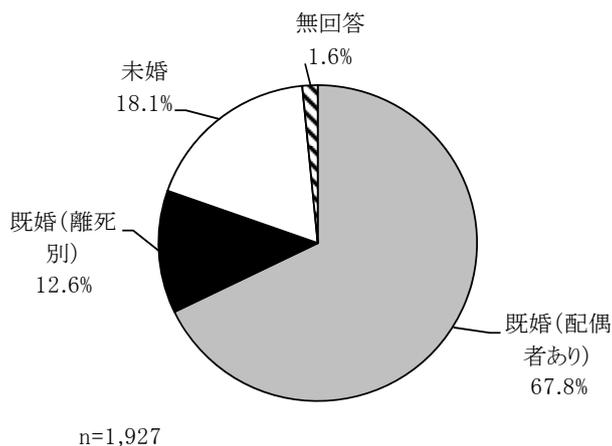
F2 年齢



ほぼ均等に分散している

- ・ 60~69歳が21.7%で最も多く、次いで70歳以上の21.4%である。
- ・ 20~29歳が9.8%でやや少ないが、概ね1~2割でほぼ均等となっている。

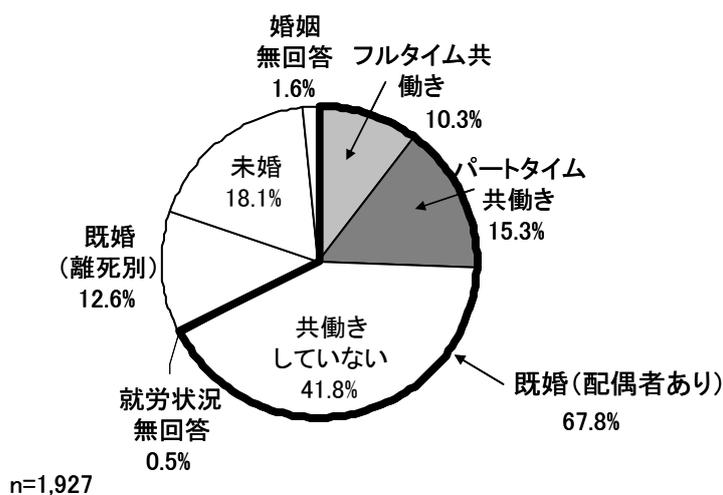
F3 婚姻の有無



「既婚(配偶者あり)」が7割弱

- 最も多いのは「既婚(配偶者あり)」の 67.8%で全体の7割弱を占める。次いで「未婚」(18.1%)、「既婚(離死別)」(12.6%)の順となっている。

F3-1 共働きか否か



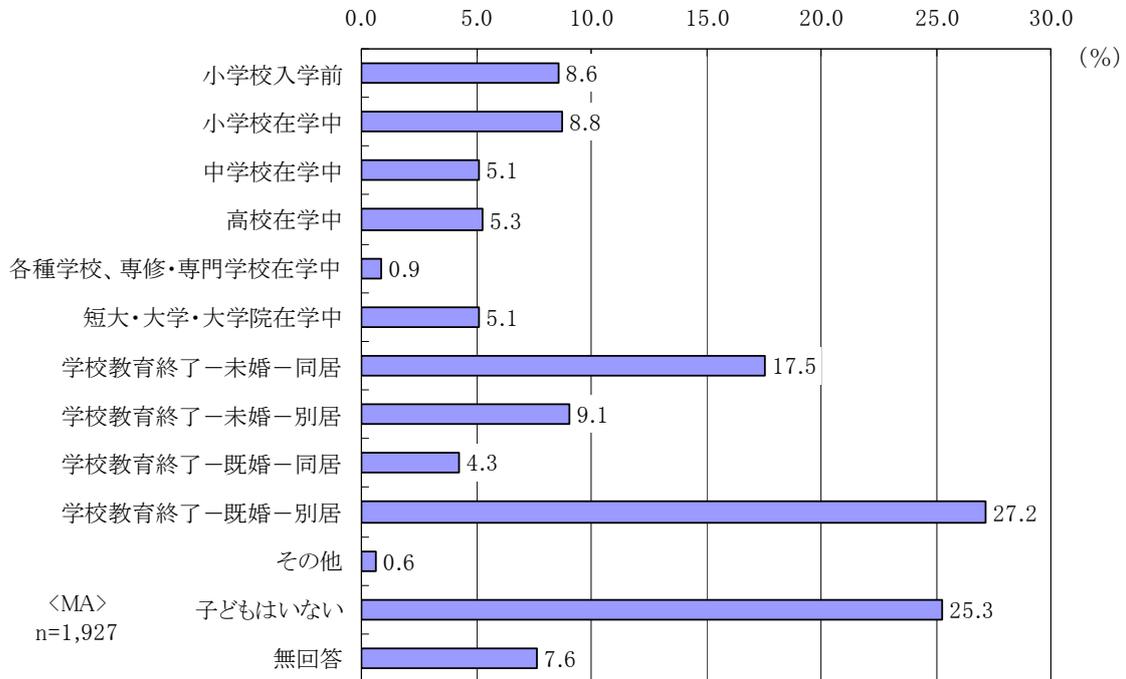
何らかの形で共働きをしているのは全体の3割弱

- 全回答者の約 7 割を占める「既婚(配偶者あり)」のうち、共働きについては、全体の 4 割強(41.8%)が「していない」としている。次いで「パートタイム共働き」(15.3%)、「フルタイム共働き」(10.3%)となっており、何らかの形で共働きをしているのは全体の 3 割弱である。
- 「共働き」が多いのは、夫婦のみ(64歳以下)の世帯で 6 割以上を占めている。子育て中の世帯、子育てを終了した世帯では「共働き」は 4 割程度である。

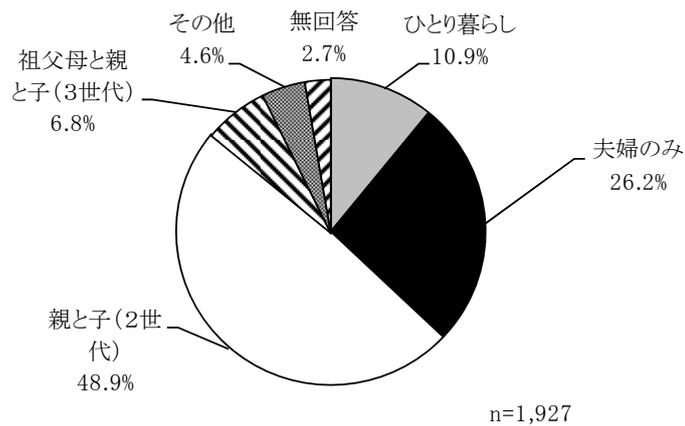
F4 子どもの有無・年齢(複数回答)

「学校教育を終了し、結婚して別居している」子どもがいるケースが最も多い

- 最も多いのは「学校教育を終了し、結婚して別居している」子どもがいるケースで、27.2%の人が選択している。次いで「子どもはいない」が25.3%、「学校教育を修了し、未婚で同居」が17.5%となっている。



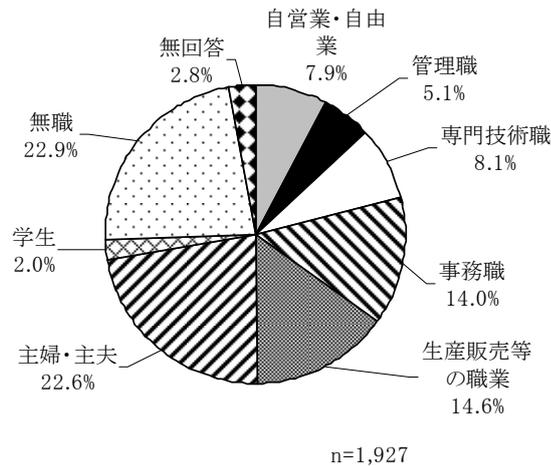
F5 家族形態



「親と子(2世代)」が全体のほぼ半数

- 「親と子(2世代)」が最も多く48.9%で、全体のほぼ半数となっている。次いで「夫婦のみ」が26.2%で、全体の4分の1強である。以下「ひとり暮らし」(10.9%)、「祖父母と親と子(3世代)」(6.8%)、「その他」(4.6%)の順となっている。

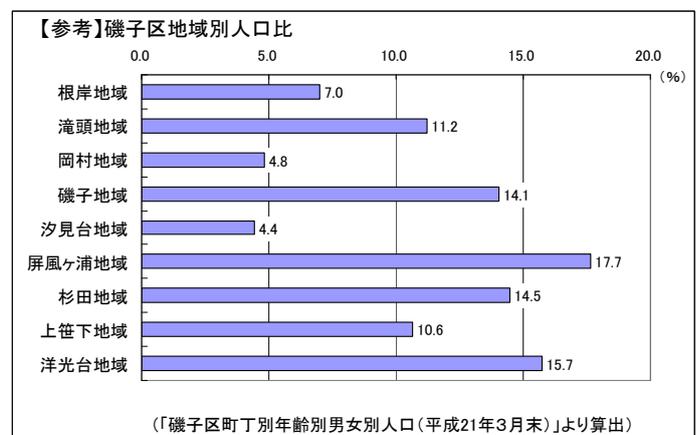
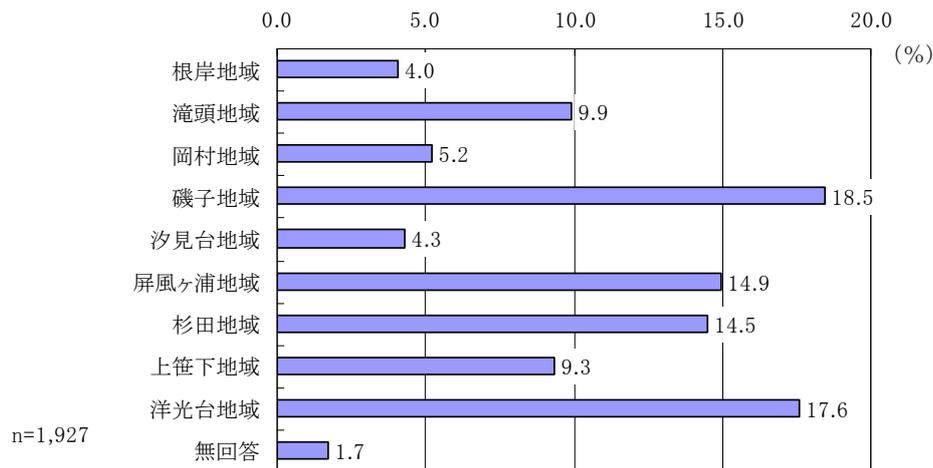
F6 職業



「無職」が全体の4分の1弱、僅差で「主婦・主夫」

- 最も多いのは「無職」の 22.9%で、全体の4分の1弱となっている。次いで僅差で「主婦・主夫」(22.6%)が続く。以下「生産販売等の職業」(14.6%)、「事務職」(14.0%)、「専門技術職」(8.1%)、「自営業・自由業」(7.9%)、「管理職」(5.1%)、「学生」(2.0%)の順となっている。

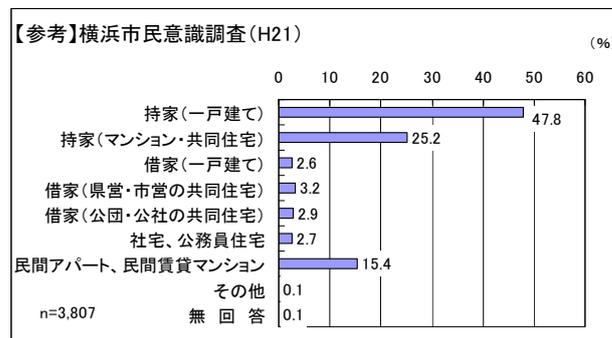
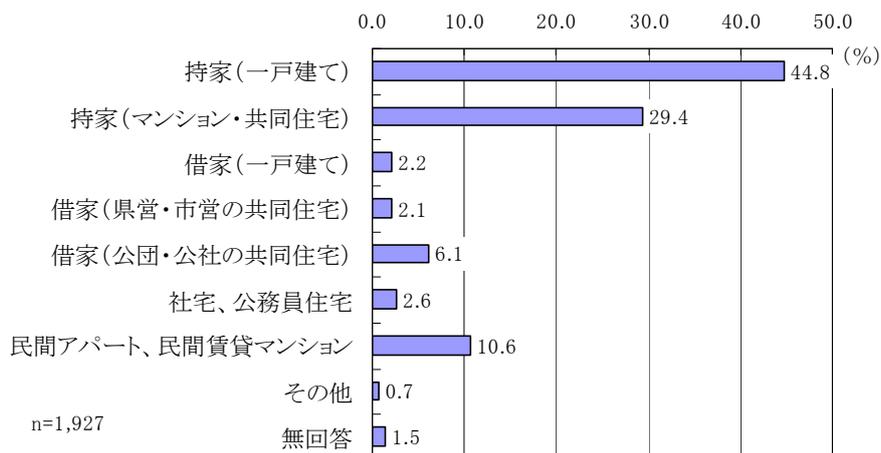
F7 居住地域



最も多いのは「磯子地域」、次に「洋光台地域」

- 最も多いのは「磯子地域」の 18.5%、次に「洋光台地域」(17.6%)となっている。次いで「屏風ヶ浦地域」(14.9%)、「杉田地域」(14.5%)と続く。最も少なかったのは「根岸地域」の 4.0%である。

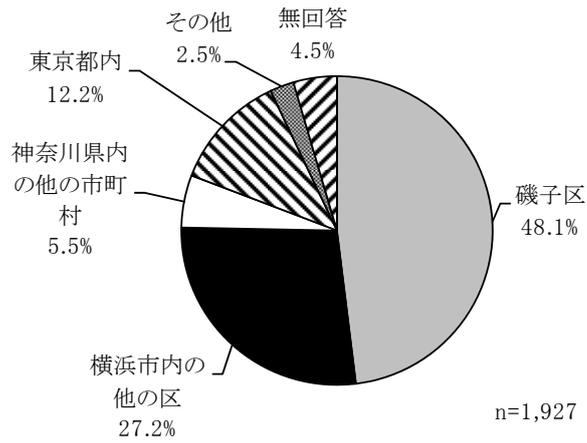
F8 住居形態



持家率は7割を超える

- 最も多いのは「持家(一戸建て)」の44.8%で、全体の半数近くを占める。次いで「持家(マンション・共同住宅)」が29.4%で、これらを合わせると持ち家率は7割を超えている。以下「民間アパート、民間賃貸マンション」(10.6%)、「借家(公団・公社の共同住宅)」(6.1%)、「社宅、公務員住宅」(2.6%)、「借家(一戸建て)」(2.2%)、「借家(県営・市営の共同住宅)」(2.1%)、「その他」(0.7%)の順となっている。
- 横浜市民意識調査との比較では、磯子区は、「持家(一戸建て)」、「民間アパート、民間賃貸マンション」の割合がやや低く、「持家(マンション・共同住宅)」、「借家(公団・公社の共同住宅)」の割合がやや高い。

F9 通勤・通学先(または日常生活を主に過ごす場所)



全体の半数弱が磯子区内に通勤・通学

- 最も多いのは「磯子区」の 48.1%で、全体の半数弱が磯子区内に通勤・通学している。次いで「横浜市内の他の区」が 27.2%、「東京都内」が 12.2%で続く。以下「神奈川県内の他の市町村」5.5%、「その他」(2.5%)の順となっている。

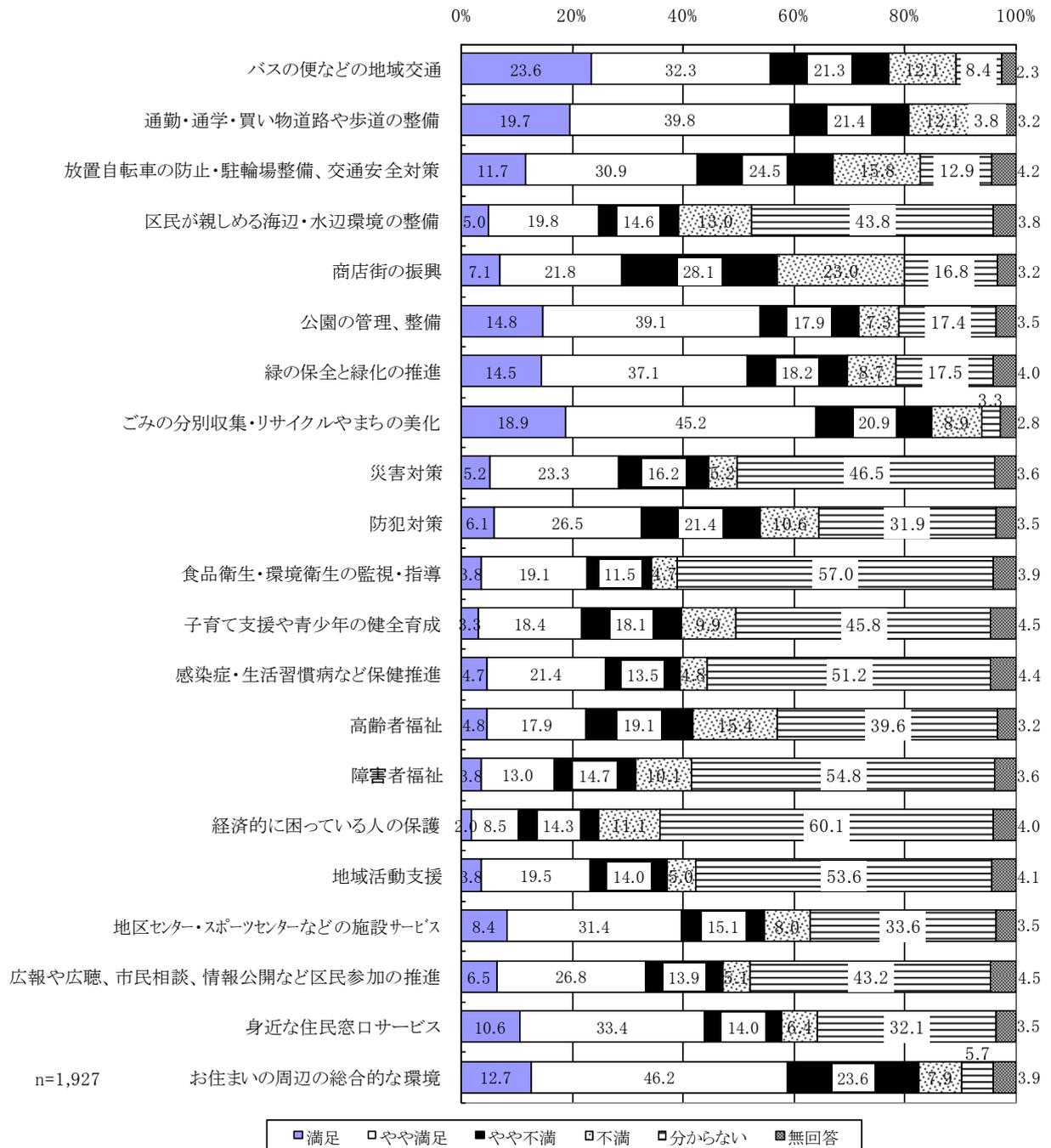
II. 調査結果

1. 生活環境について

(1) 満足度・以前との比較

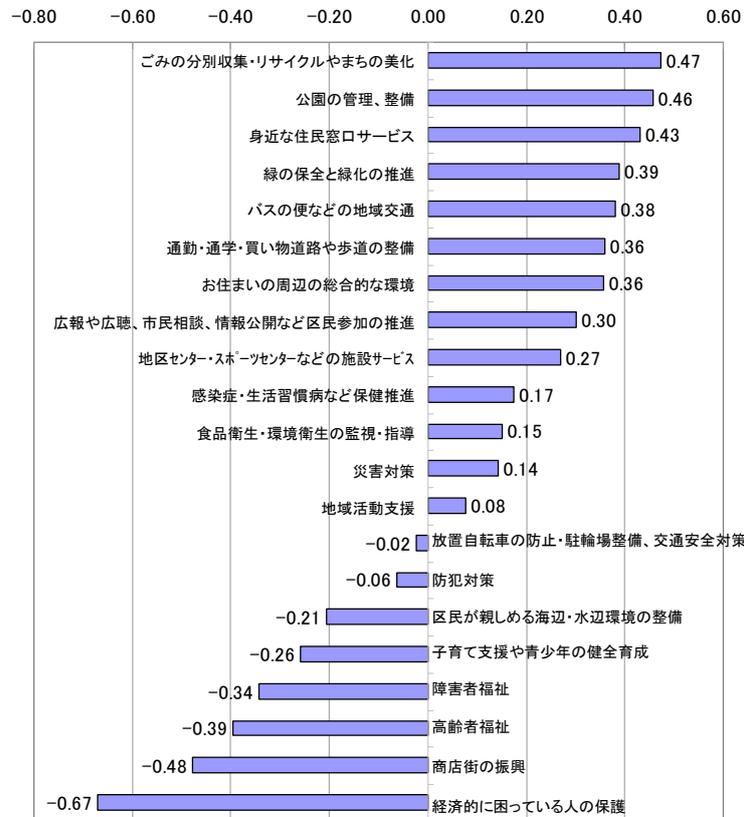
問1 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前と比べてどのように変わったと思いますか。

<満足度>



＜満足度 平均点＞

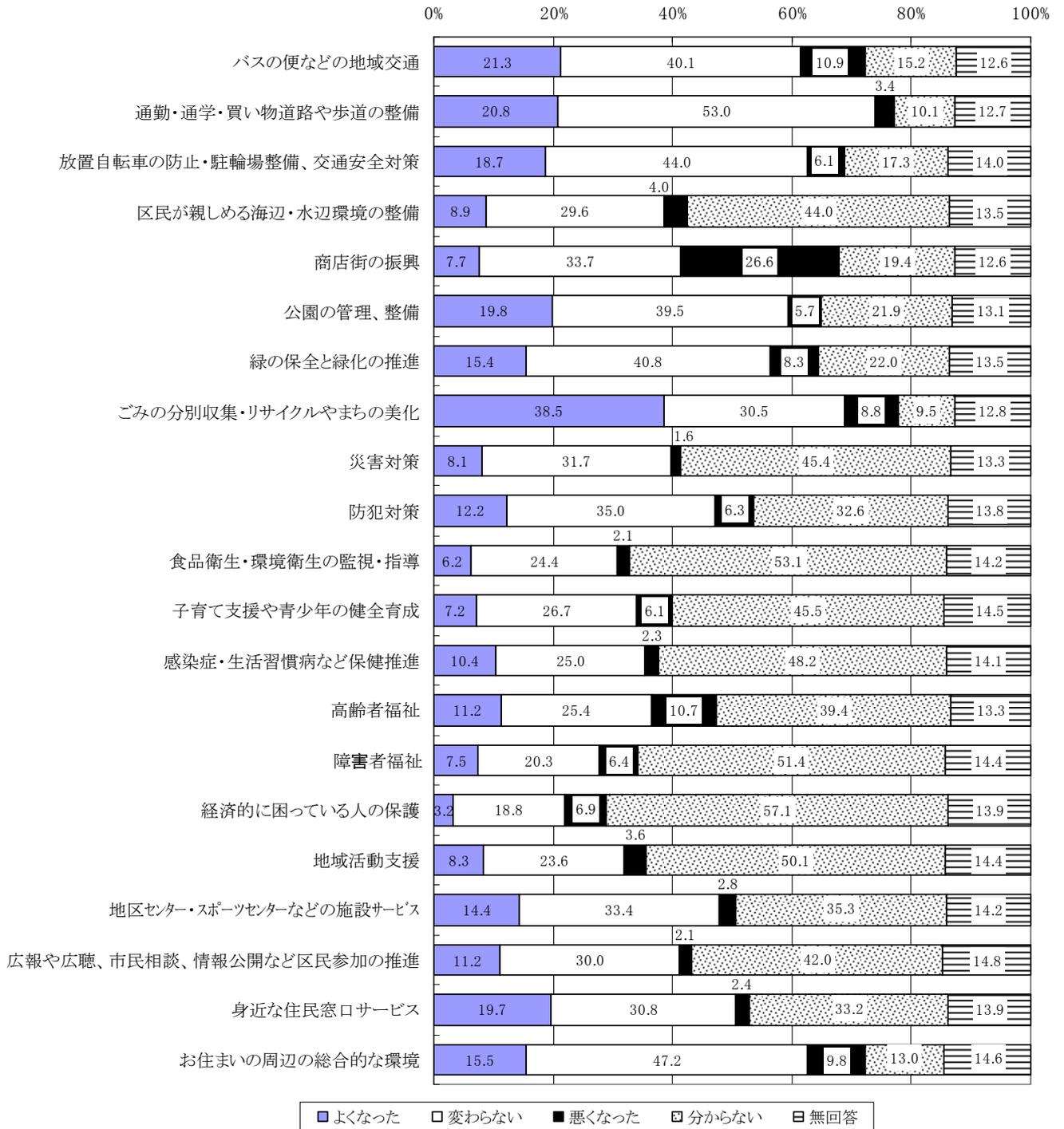
回答に、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点を加点し、加重平均した。「分からない」「無回答」は含まない。(すなわち、「満足」か「不満」かを判断した人のなかでの評価の位置を示している。)



満足度をみると、交通環境や住環境などの都市整備、行政サービスに関わる項目は比較的満足度が高く、水辺環境・商業・福祉に関する項目については満足度が低い傾向にある。

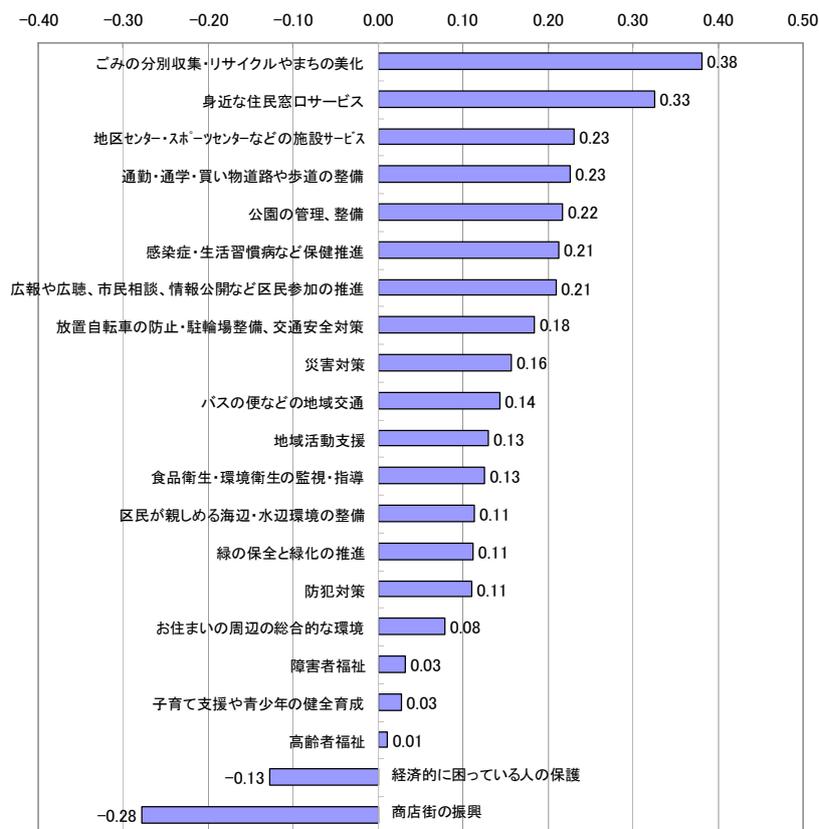
- 「満足」と「やや満足」を合わせた割合が、「やや不満」と「不満」を合わせた割合より高くなっているのは、「バスの便などの地域交通」「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」「公園の管理、整備」「緑の保全と緑化の推進」「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「防犯対策」「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」「身近な住民窓口サービス」の10項目である。
- 「満足」と「やや満足」に比べ、「やや不満」と「不満」の割合が高いのは、「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」「商店街の振興」「子育て支援や青少年の健全育成」「高齢者福祉」「障害者福祉」「経済的に困っている人の保護」の6項目である。
- 交通環境や住環境などの都市整備、行政サービスに関わる項目は比較的満足度が高く、水辺環境・商業・福祉に関する項目については満足度が低い傾向が伺われる。
- 「お住まいの周辺の総合的な環境」については、「やや満足」が46.2%で最も多く、「満足」と「やや満足」の割合が「やや不満」と「不満」の割合を大きく上回っている。
- 「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」「災害対策」「食品衛生・環境衛生の監視・指導」「子育て支援や青少年の健全育成」「感染症・生活習慣病など保健推進」「高齢者福祉」「障害者福祉」「経済的に困っている人の保護」「地域活動支援」「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」については、「わからない」が最も多くなっている。
- 平均点が高かった(0.4以上)のは、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「公園の管理、整備」「身近な住民窓口サービス」であり、低かった(-0.4以下)のは、「経済的に困っている人の保護」「商店街の振興」である。

<以前との比較>



＜以前との比較 平均点＞

回答に、「よくなった」1点、「変わらない」0点、「悪くなった」-1点を加点し、加重平均した。「分からない」「無回答」は含まない。(すなわち、「よくなった」か、「悪くなった」かを判断した人のなかでの評価の位置を示している。)



以前との比較では、「よくなった」が最も多いのは「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」の1項目のみ。「悪くなった」が最も多い項目はなかったが、「商店街の振興」が他に比べて数値が高い。

- ・ 「よくなった」が最も多いのは「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」の1項目のみである。
- ・ 「悪くなった」が最も多い項目は1つもないが、「商店街の振興」が他に比べて高い数値となっている。
- ・ 「変わらない」が最も多いのは「バスの便などの地域交通」「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」「商店街の振興」「公園の管理、整備」「緑の保全と緑化の推進」「防犯対策」の7項目である。
- ・ 「わからない」が最も多いのは「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」「災害対策」「食品衛生・環境衛生の監視・指導」「子育て支援や青少年の健全育成」「感染症・生活習慣病など保健推進」「高齢者福祉」「障害者福祉」「経済的に困っている人の保護」「地域活動支援」「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」「身近な住民窓口サービス」の12項目である。これらはいずれも「わからない」の次に「変わらない」が多くなっている。
- ・ 「お住まいの周辺の総合的な環境」については、「変わらない」が47.2%で最も多く、次いで「よくなった」(15.5%)、「わからない」(13.0%)、「悪くなった」(9.8%)の順となっている。
- ・ 平均点が高かった(0.3以上)のは、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「身近な住民窓口サービス」であり、低かった(-0.1以下)のは、「商店街の振興」「経済的に困っている人の保護」である。

項目別クロス集計(性・年齢、居住地域)

生活環境についての①～⑳の各項目と「お住まいの周辺の総合的な環境」の満足度について、性・年齢、居住地域別のクロス集計を行った。顕著な差がみられた項目は次のとおりであった。

◆性・年齢別

①バスの便などの地域交通

60代以上で満足度が高く、年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

⑤商店街の振興

50代女性の不満度が高く、年齢が高くなるほど「よくなった」割合がやや高くなっている。

⑥公園の管理、整備

60代以上で満足度が6割を超えて、60歳以上で「よくなった」割合が高くなっている。

⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化

年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなり、40代女性では「よくなった」割合が5割を超えている。

⑩防犯対策

年齢が高くなるほど満足度が高くなり、年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

⑭高齢者福祉

50代以上で満足度よりも不満度が高いが、年齢が高くなるほど「よくなった」割合も高くなっている。

⑱地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス

満足度は各年齢共に概ね4割で不満度を上回っているが、年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

⑳身近な住民窓口サービス

60代以上で満足度が高く、年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

◆居住地域別

①バスの便などの地域交通

根岸地域で満足度がとくに高い。岡村地域で「よくなった」割合が高く、汐見台地域で「よくなった」割合が低い。上笹下地域で「悪くなった」割合が高い。

③放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策

汐見台地域、洋光台地域、磯子地域の満足度が高い。汐見台地域、岡村地域で「わからない」割合が高い。

⑤商店街の振興

杉田地域で満足度が不満度を上回っており、「よくなった」割合がやや高い。滝頭地域、洋光台地域では「悪くなった」割合が4割を超えている。

⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化

洋光台地域、汐見台地域の満足度が7割を超えて、とくに高い。岡村地域、上笹下地域で「よくなった」割合が高く、滝頭地域、岡村地域で「悪くなった」割合がやや高くなっている。

⑩防犯対策

洋光台地域、汐見台地域で満足度が4割以上と高い。洋光台地域、汐見台地域、杉田地域で「よくなった」割合がやや高く、岡村地域、磯子地域、屏風ヶ浦地域では「悪くなった」割合が1割見られる。

⑱地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス

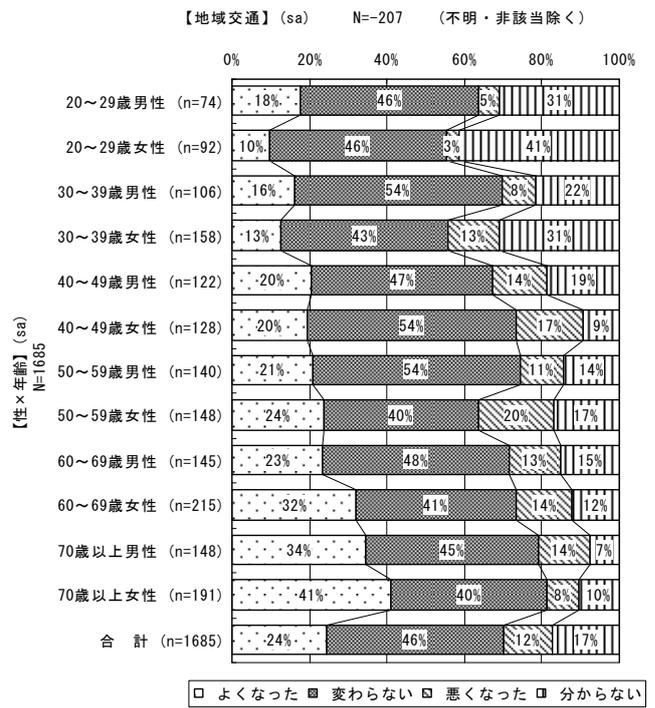
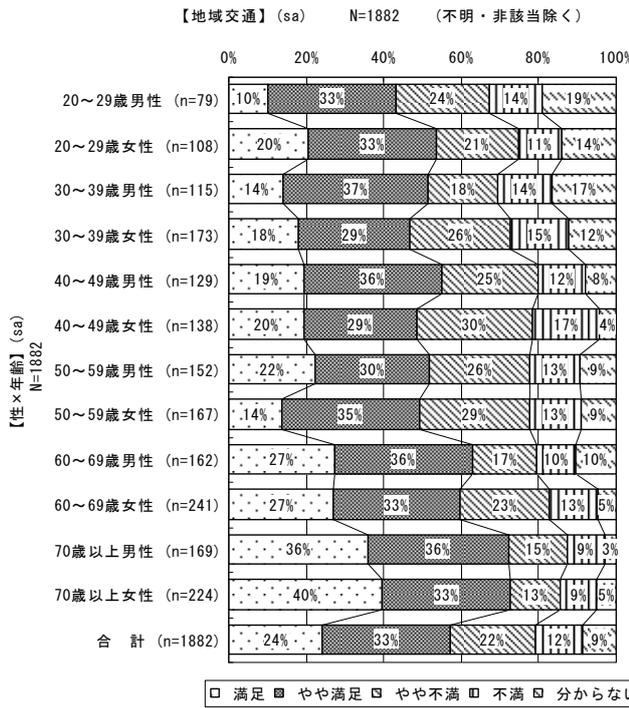
岡村地域、洋光台地域の満足度がとくに低く、滝頭地域で「よくなった」割合が高い。

⑳身近な住民窓口サービス

杉田地域、汐見台地域で満足度が高く、滝頭地域、岡村地域で満足度が低い。杉田地域で「よくなった」割合が高い。

①バスの便などの地域交通(問1①×F1、F2、F7)

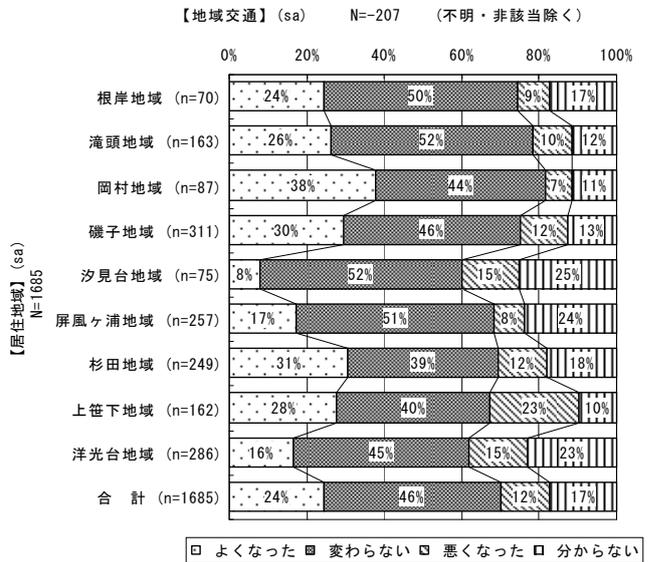
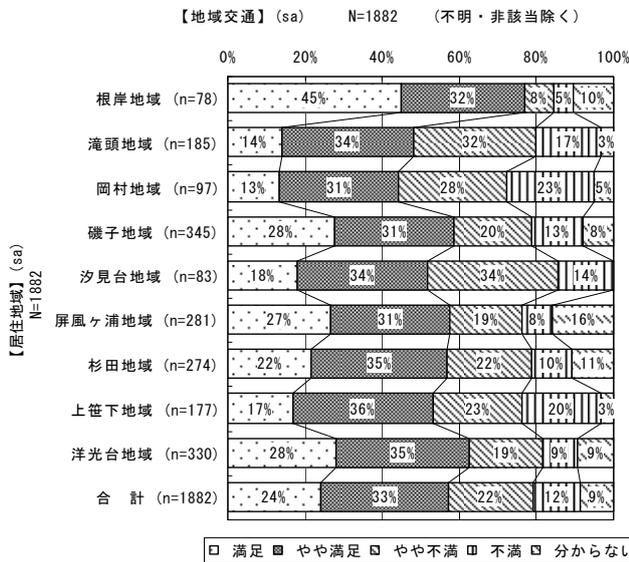
<性・年齢別>



満足度----- 60代以上で満足度が高い。20代では女性が男性より、40代では男性が女性より満足度がやや高い。

以前からの変化--- 年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

<居住地域別>

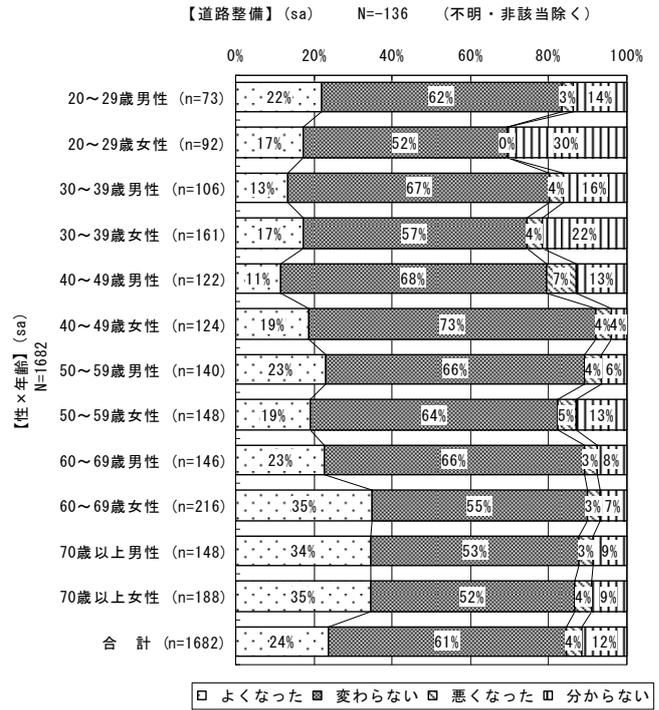
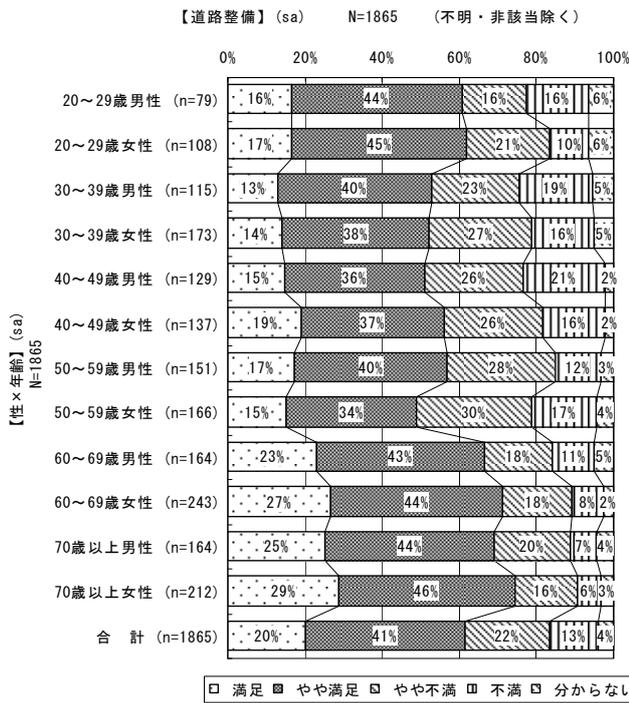


満足度----- 根岸地域で満足度がとくに高い。

以前からの変化--- 岡村地域で「よくなった」割合が高い。汐見台地域で「よくなった」割合が低い。上笹下地域で「悪くなった」割合が高い。

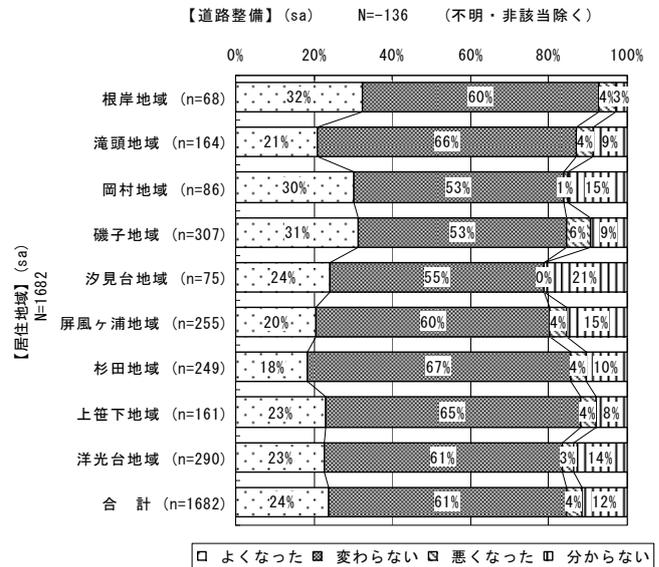
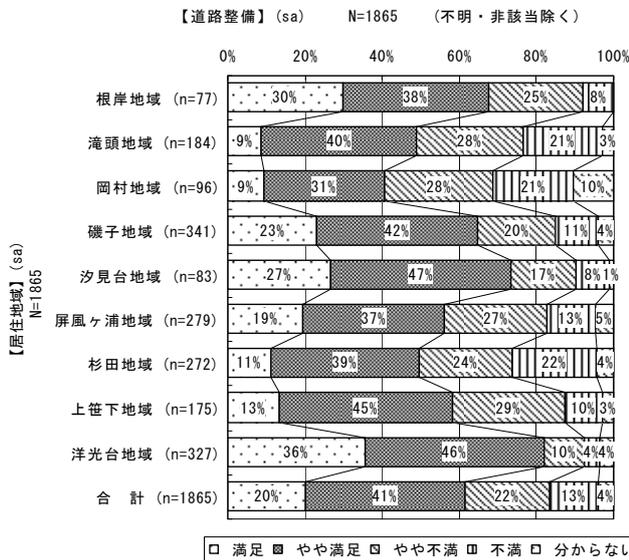
②通勤・通学・買い物道路や歩道の整備(問1②×F1、F2、F7)

<性・年齢別>



満足度----- 60代以上で満足度が高い。30代男女、50代女性の満足度が低い。
 以前からの変化--- 60歳代女性及び70歳以上「よくなった」割合が高く、20代女性、30代女性では「わからない」割合がやや高い。

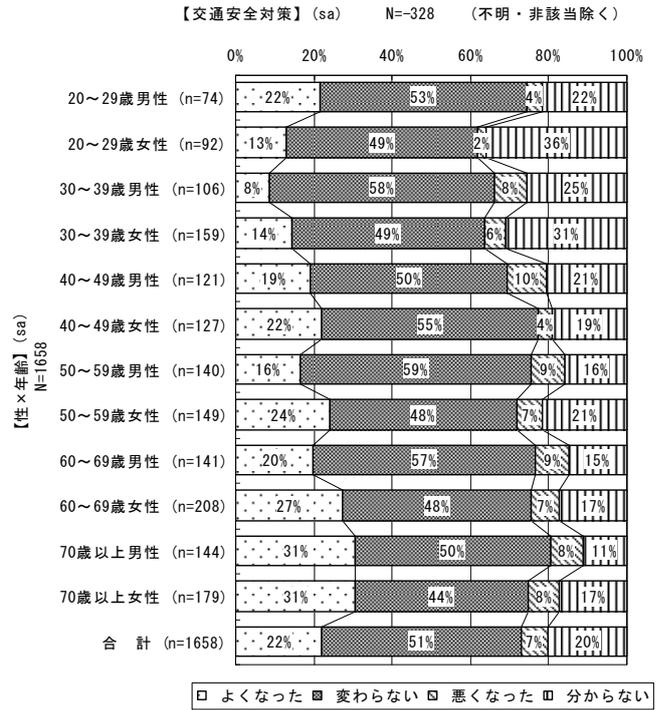
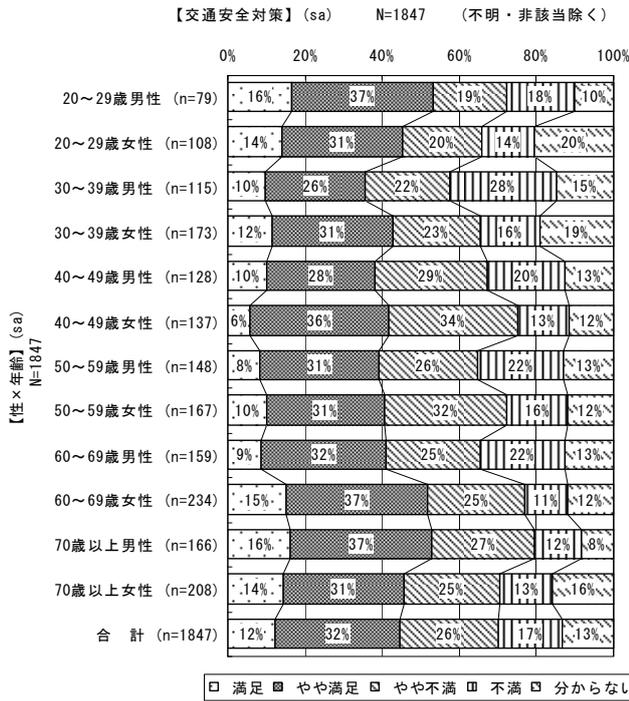
<居住地域別>



満足度----- 洋光台地域、汐見台地域、磯子地域、根岸地域で満足度が高い。
 以前からの変化--- 根岸地域、岡村地域、磯子地域で「よくなった」割合が高い。汐見台地域では「わからない」割合が他の地域より高い。

③放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策(問1③×F1、F2、F7)

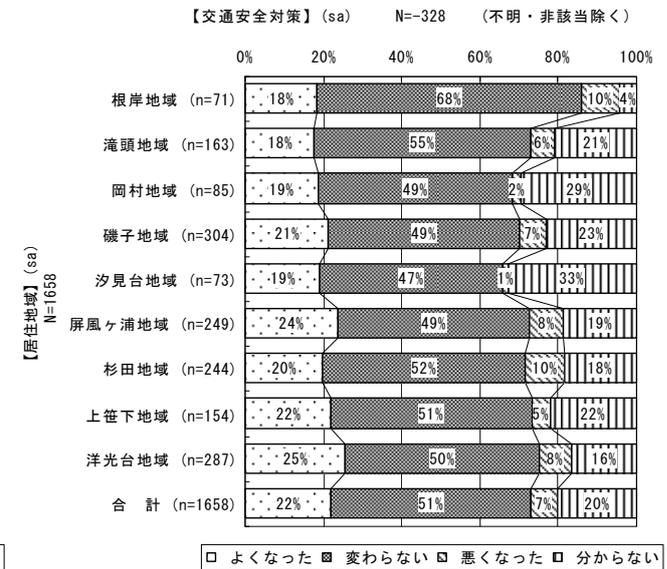
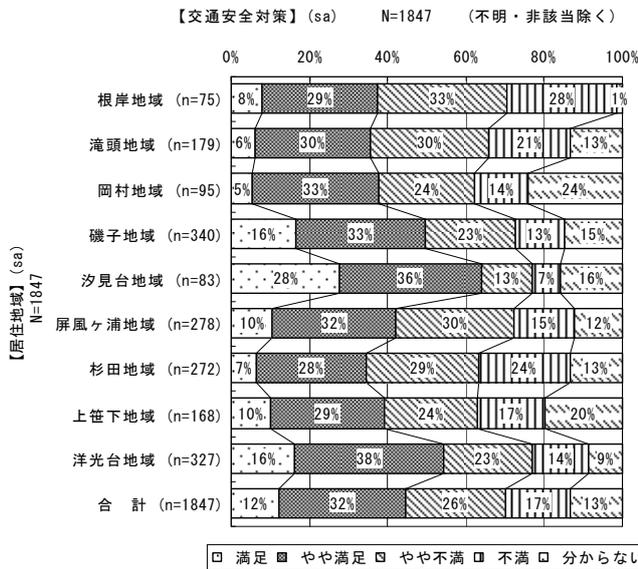
<性・年齢別>



満足度----- 20代男性、60代女性、70代以上男性で満足度が高い。20代、30代では男女で満足度に差がみられる

以前からの変化---年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなる傾向及び、年齢が低いほど「わからない」の割合が高くなる傾向を示す中で、50代男性、60代男性の「よくなった」割合が低い。

<居住地域別>

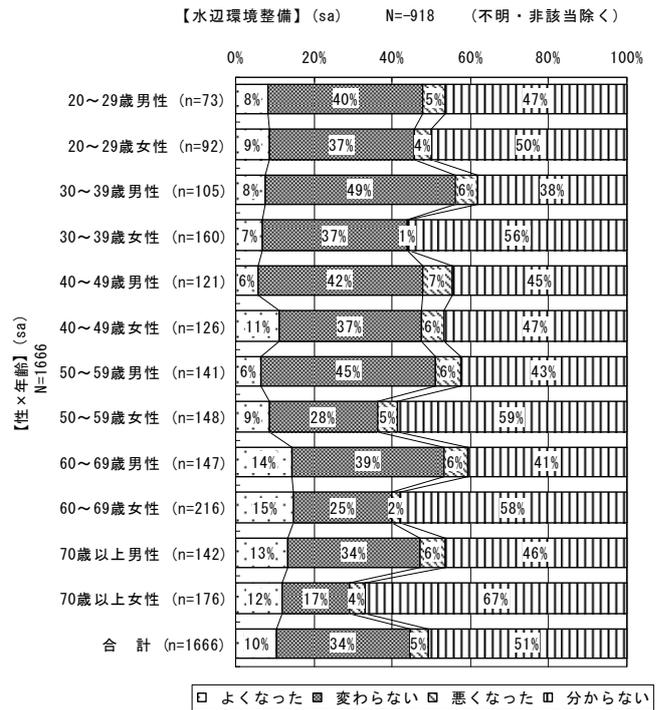
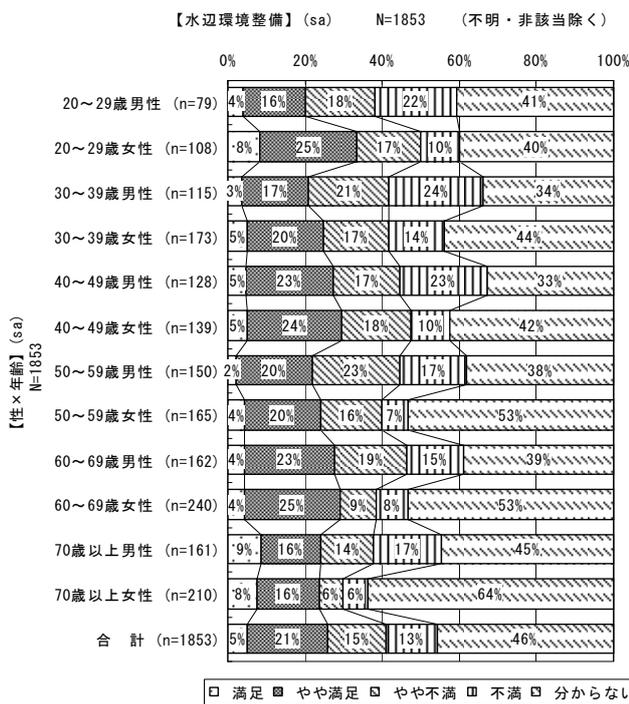


満足度----- 汐見台地域で満足度がとくに高い。次いで洋光台地域、磯子地域の満足度が高い

以前からの変化---「よくなった」割合に大きな地域差はみられないが、汐見台地域、岡村地域で「わからない」割合が高い。

④区民が親しめる海辺・水辺環境の整備(問1④)×F1、F2、F7)

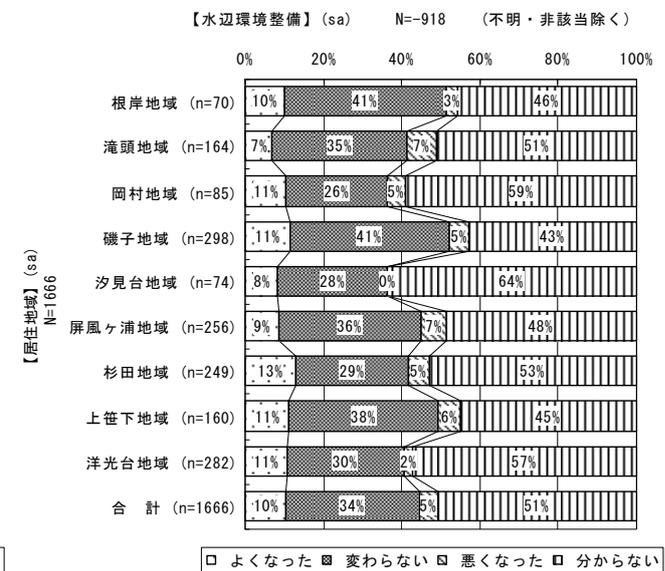
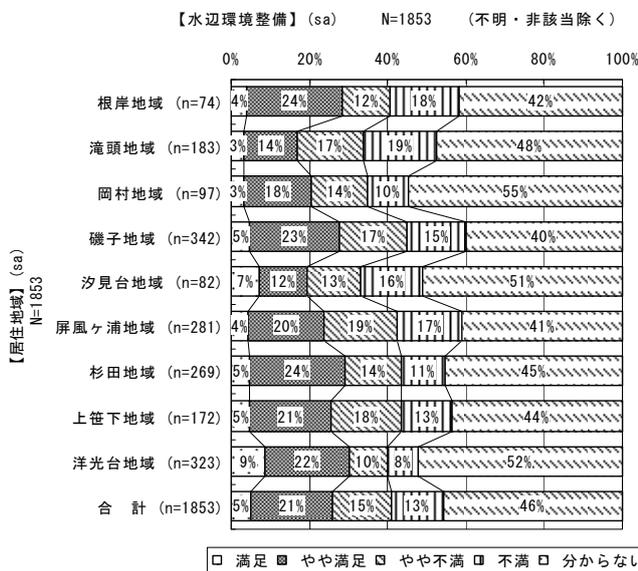
<性・年齢別>



満足度----- 20代女性の満足度が高い。何れの年代も女性の方が満足度が高い。30代男性、40代男性、50代男性の満足度が低い。

以前からの変化---全体に「わからない」割合が多い。

<居住地域別>

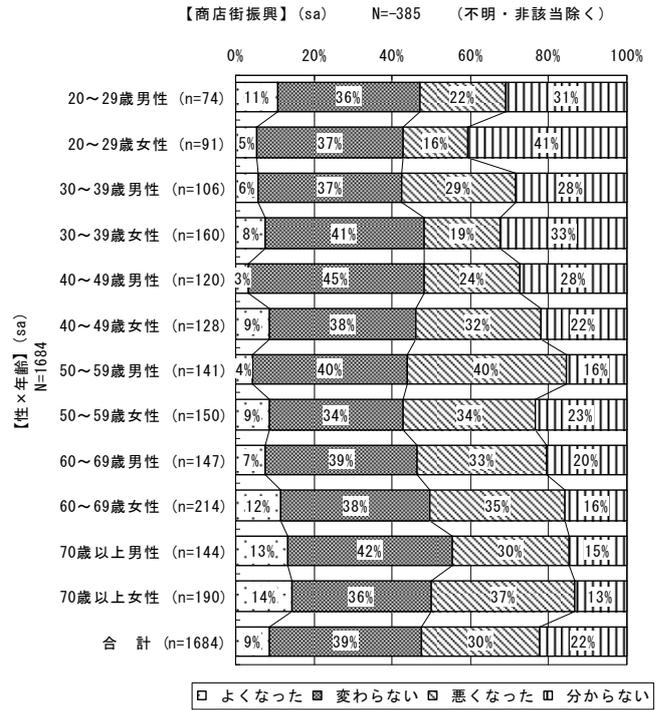
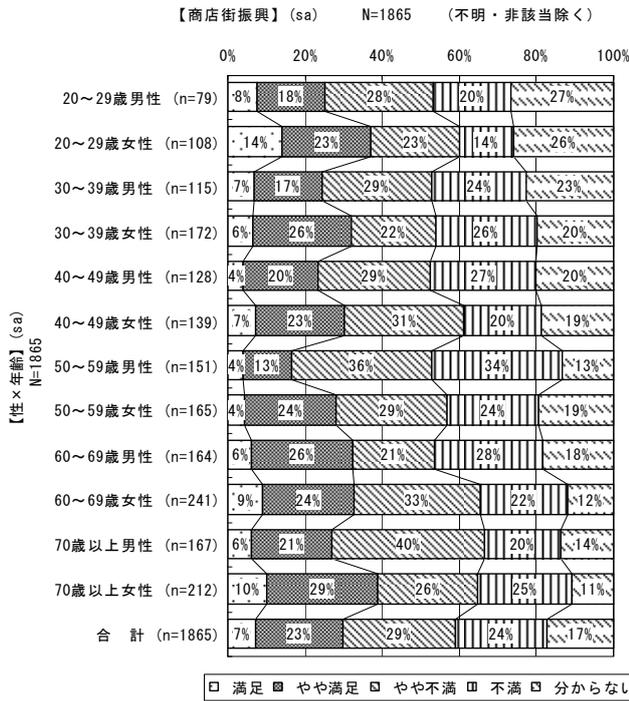


満足度-----根岸地域、磯子地域、杉田地域、洋光台で満足度がやや高い。岡村地域、汐見台地域、洋光台地域では「分からない」が半数以上を占めている。

以前からの変化---滝頭地域、岡村地域、汐見台地域、杉田地域、洋光台地域で「分からない」割合が半数以上を占めている。

⑤商店街の振興(問1⑤)×F1、F2、F7)

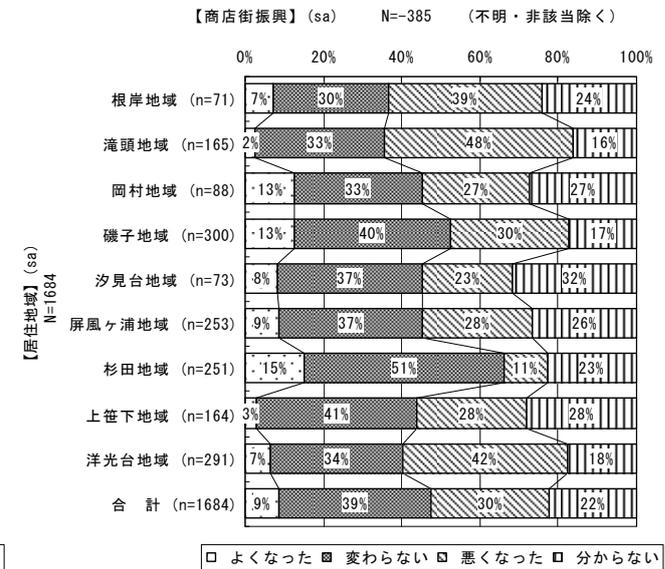
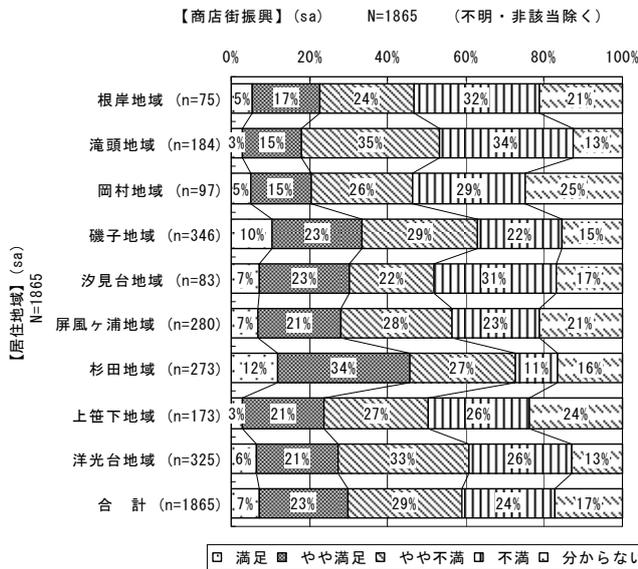
<性・年齢別>



満足度----- 20代女性で満足度と不満度が同率である以外は不満度が満足度を上回っている。とくに50代女性の不満度が高い。

以前からの変化--- 20代男性、40代女性、60代女性及び年齢が高くなるほど「よくなった」割合がやや高くなっている。

<居住地域別>

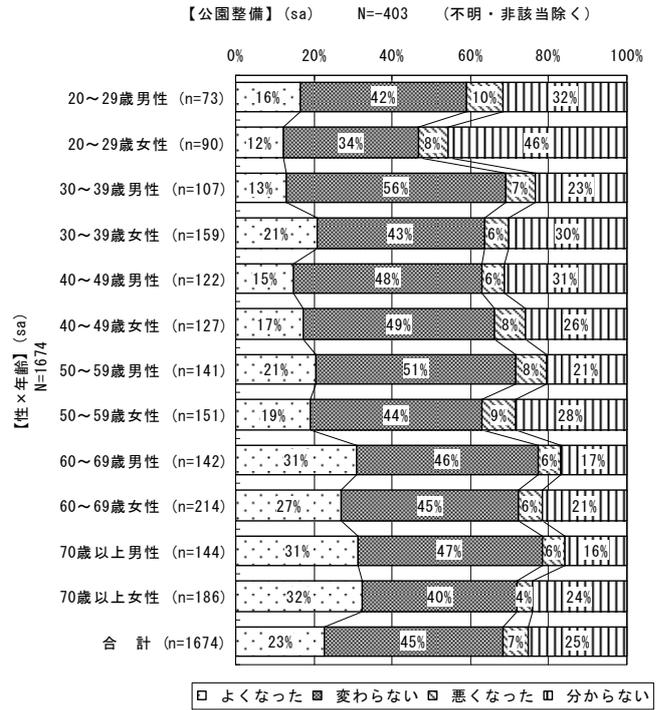
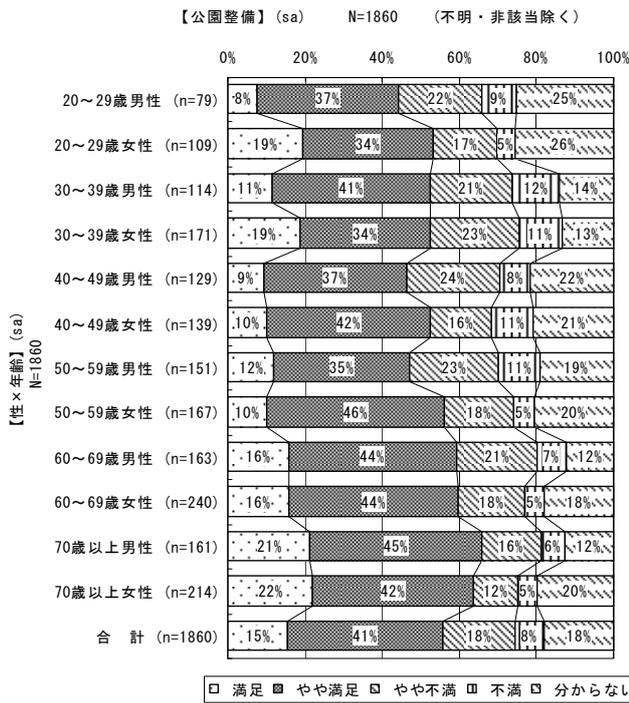


満足度----- 杉田地域で満足度が不満度を上回っているほかは、不満度が満足度を大きく上回っている。

以前からの変化--- 杉田地域で「よくなった」割合がやや高いほか、岡村地域、磯子地域も「よくなった」が1割強みられる。滝頭地域、洋光台地域では「悪くなった」割合が4割を超えている。

⑥公園の管理、整備(問1⑥)×F1、F2、F7)

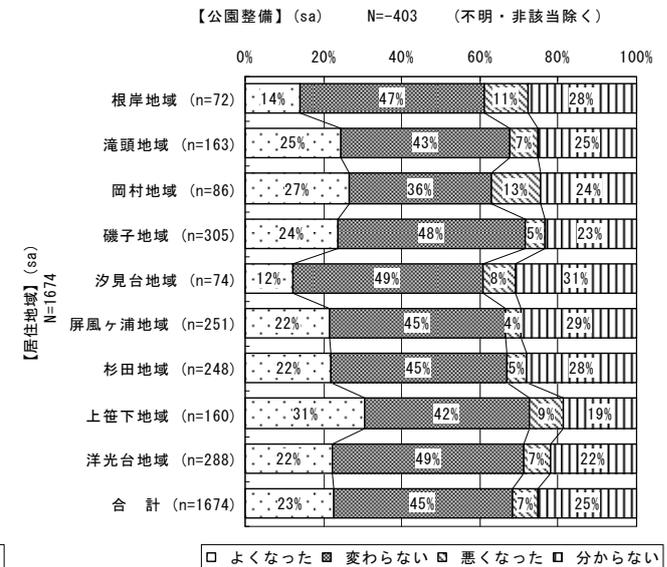
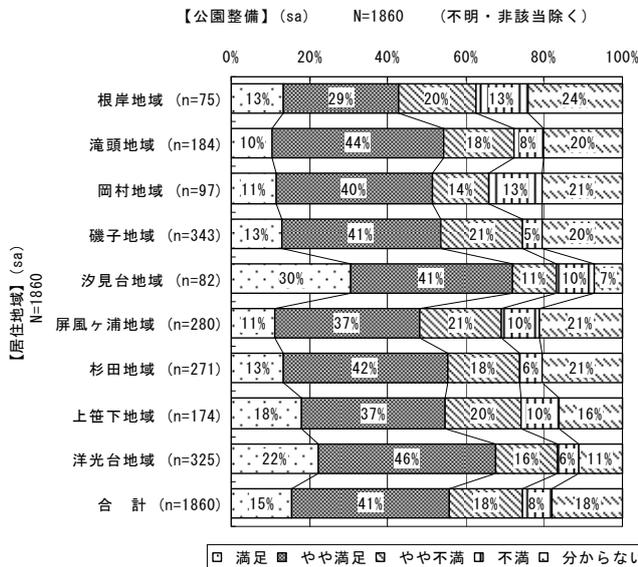
<性・年齢別>



満足度----- 60代以上で満足度が6割を超えている。40代、50代では性差がみられ、女性の方が男性よりも満足度が高い。

以前からの変化--- 30代女性と、60歳以上で「よくなった」割合が高い。20代女性、30代男性では「よくなった」割合が低くなっている。

<居住地域別>

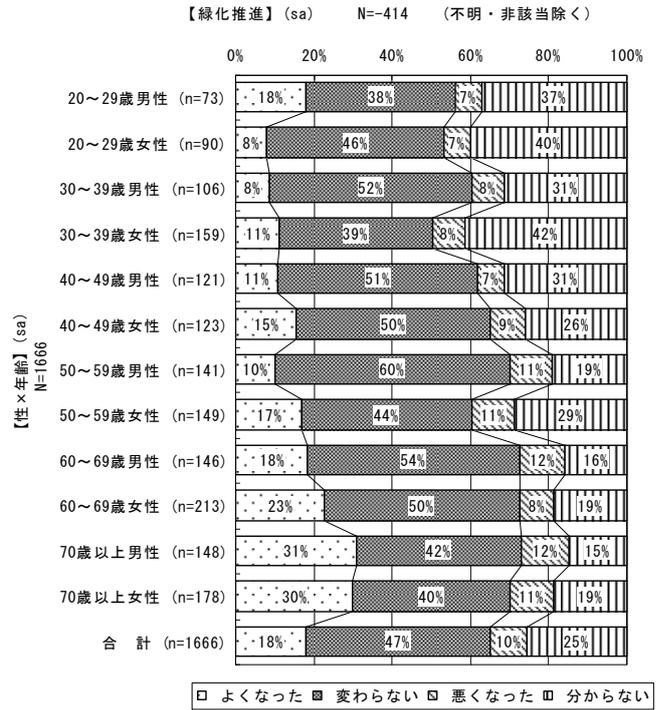
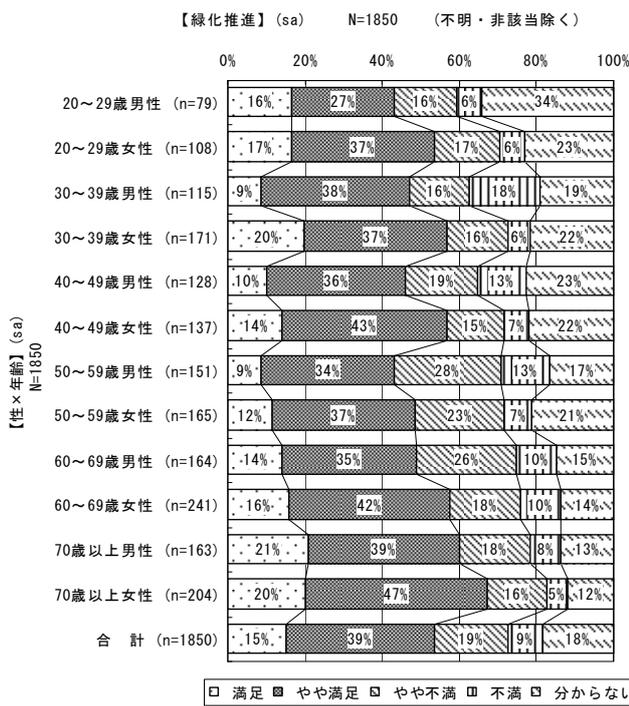


満足度----- 汐見台地域、洋光台地域の満足度が7割前後ととくに高い。根岸地域、屏風ヶ浦地域では満足度が5割以下である。

以前からの変化--- 滝頭地域、岡村地域、磯子地域、上笹下地域で「よくなった」割合が比較的高く、岡村地域では「悪くなった」割合も他地域より高くなっている。

⑦緑の保全と緑化の推進(問1⑦×F1、F2、F7)

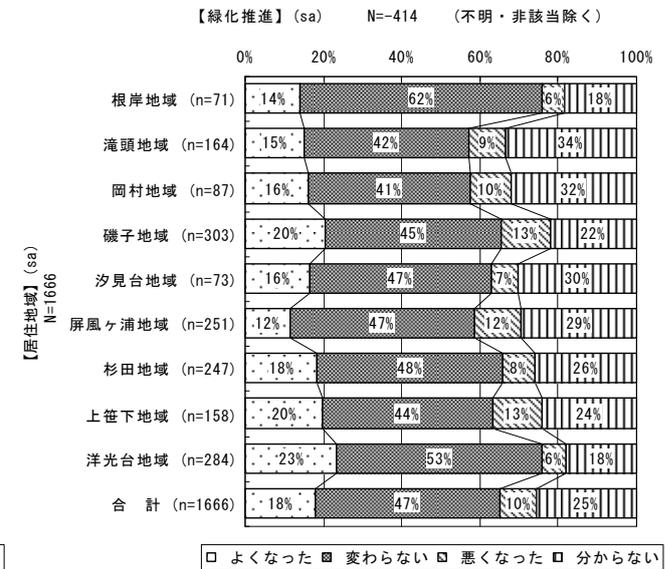
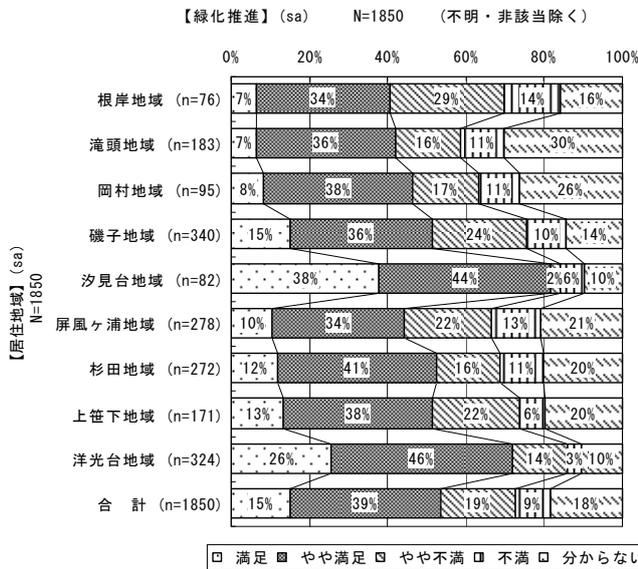
<性・年齢別>



満足度----- 70歳以上で満足度が高く6割を超えている。次いで、20代女性、30代女性、40代女性の満足度が高くなっている。

以前からの変化--- 50代男性を除くと、年齢が高くなるほど「よくなった」割合が上昇し、70歳以上では3割を超えている。

<居住地域別>

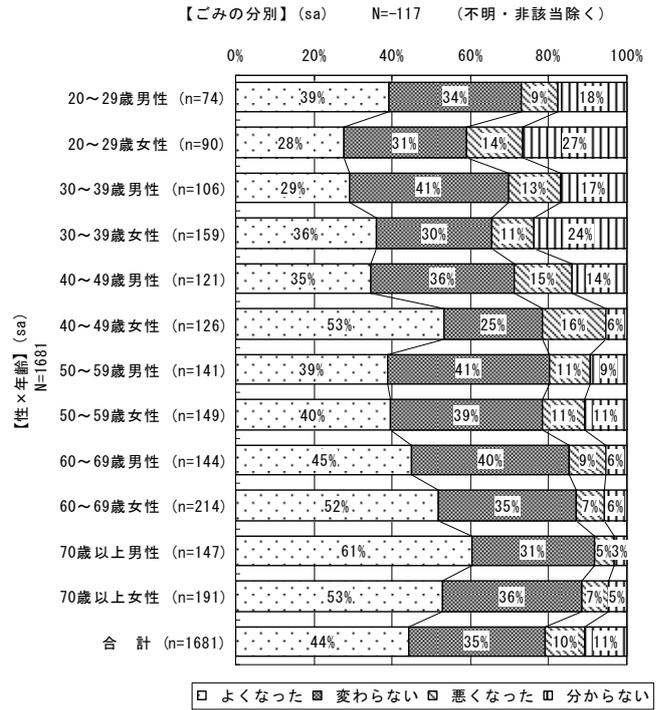
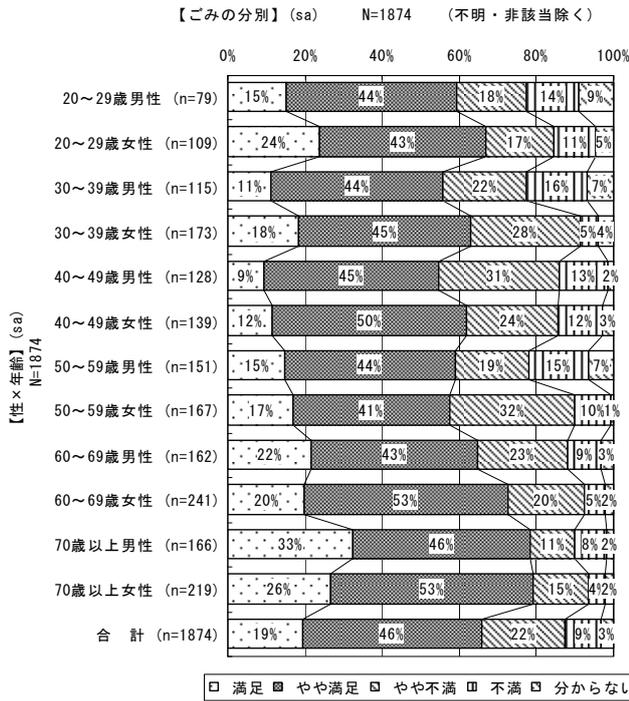


満足度----- 汐見台地域、洋光台地域の満足度が8割前後と極めて高い。根岸地域、滝頭地域、屏風ヶ浦地域では満足度が4割前後と低い。

以前からの変化--- 磯子地域、洋光台地域、上笹下地域で「よくなった」割合がやや高い。

⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化(問1⑧)×F1、F2、F7)

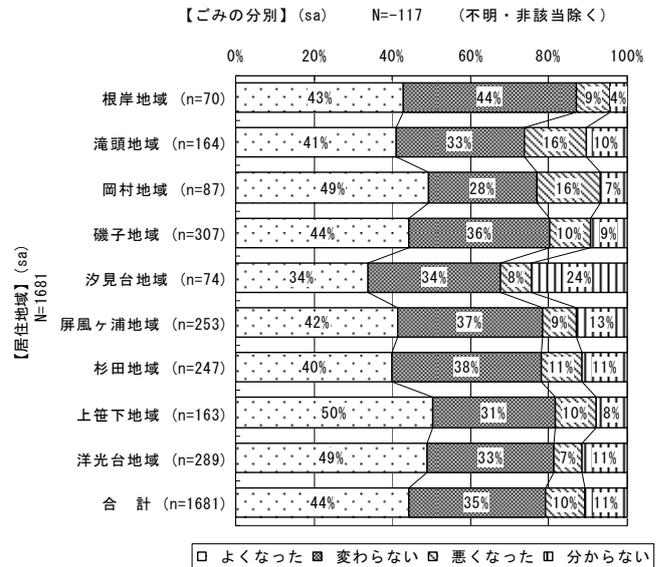
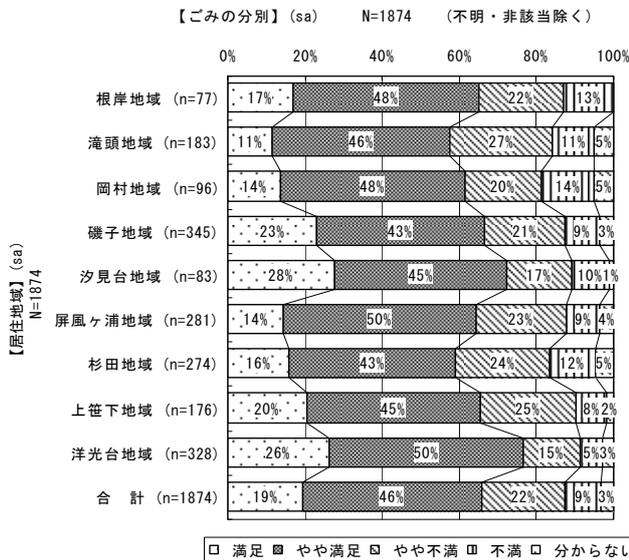
<性・年齢別>



満足度----- 20代女性と60代以上で満足度が高い。20代、30代、40代では性差がみられ、女性が男性より満足度がやや高い。

以前からの変化--- 年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。とくに、40代女性では「よくなった」割合が5割を超えている。

<居住地域別>

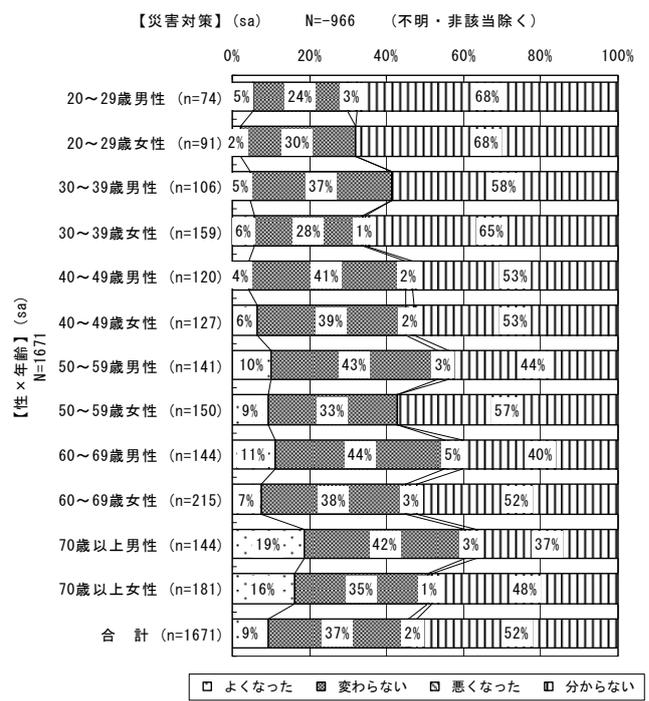
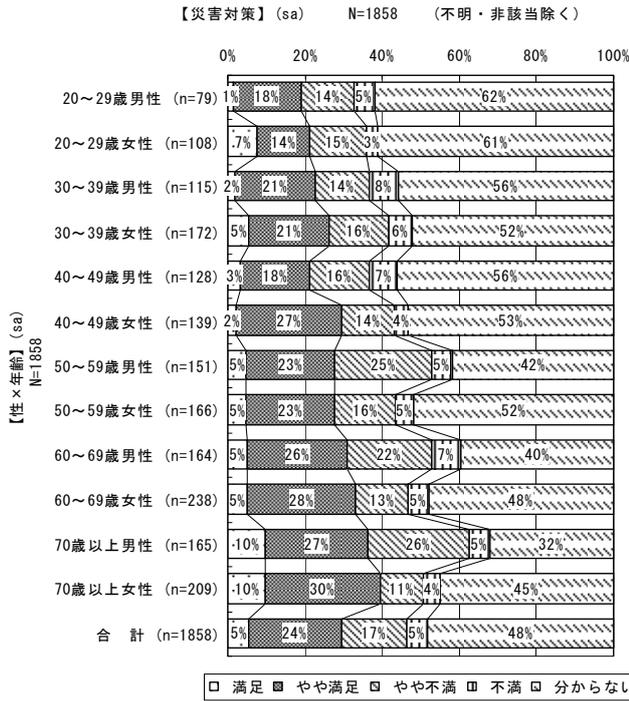


満足度----- 洋光台地域、汐見台地域の満足度が7割を超えて、とくに高い。

以前からの変化--- 岡村地域、上笹下地域で「よくなった」割合が高い。滝頭地域、岡村地域で「悪くなった」割合がやや高くなっている。

⑨災害対策(問1⑨×F1、F2、F7)

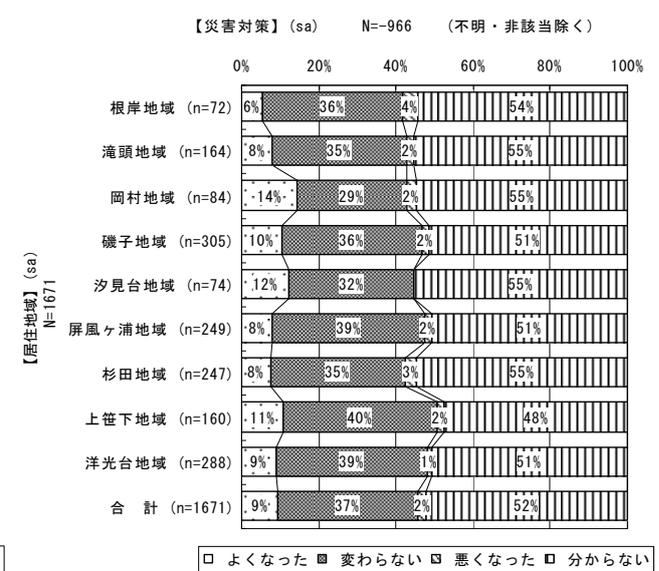
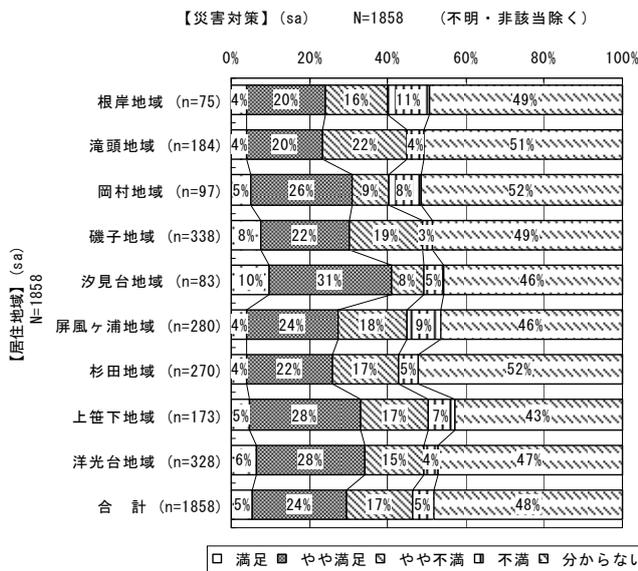
<性・年齢別>



満足度----- 全体に「分からない」の割合が高くなっているが、とくに、50歳未満では5割以上を占めている。満足度は年齢と共に高くなる傾向を示しているが、同時に不満度も高くなる傾向も示している。

以前からの変化--- 年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなる傾向を示しているが、60代女性は「よくなった」割合がやや低くなっている。

<居住地域別>

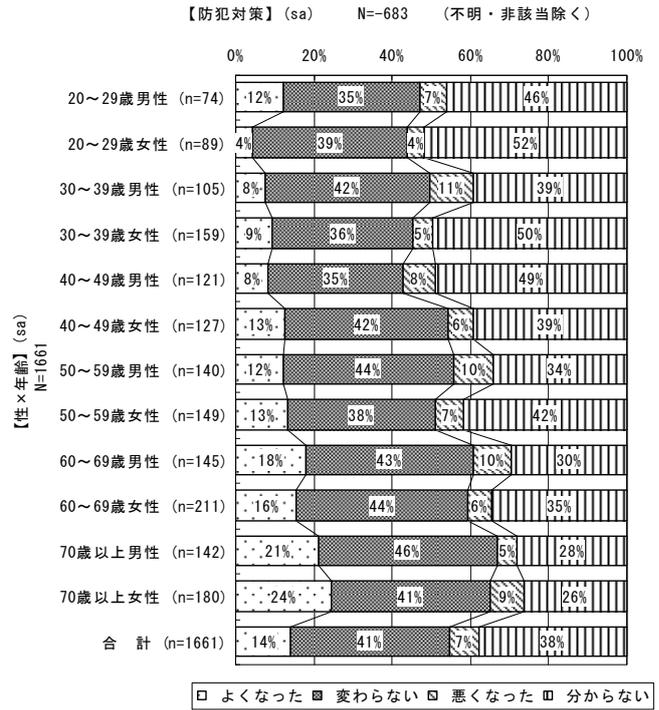
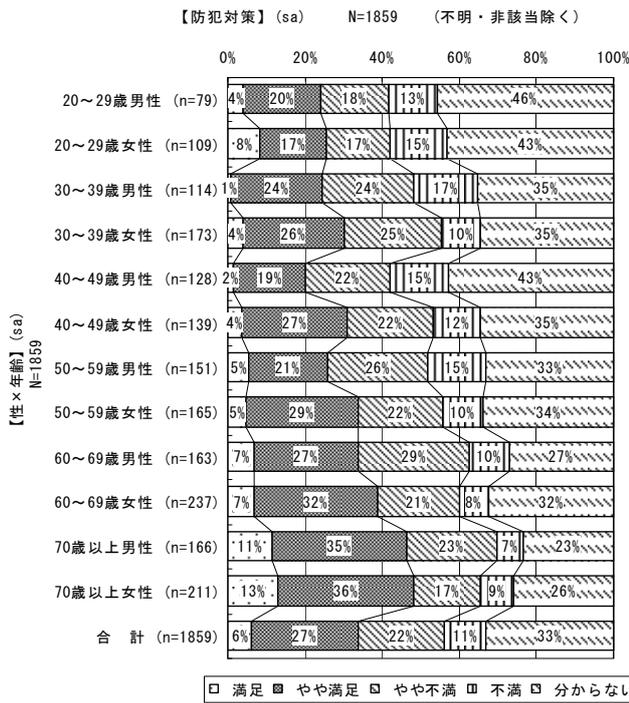


満足度----- 汐見台地域で満足度が4割と高い。根岸地域、滝頭地域、屏風ヶ浦地域、杉田地域では満足度がやや低い。

以前からの変化--- 岡村地域、磯子地域、汐見台地域で「よくなった」割合がやや高い。

⑩防犯対策(問1⑩×F1、F2、F7)

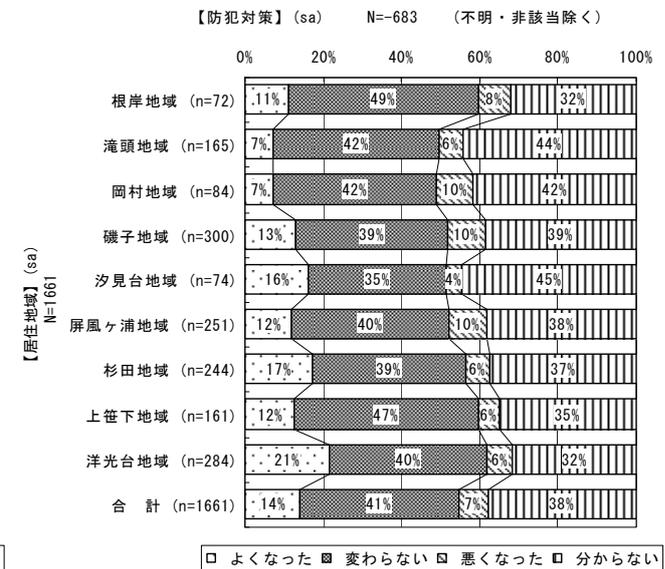
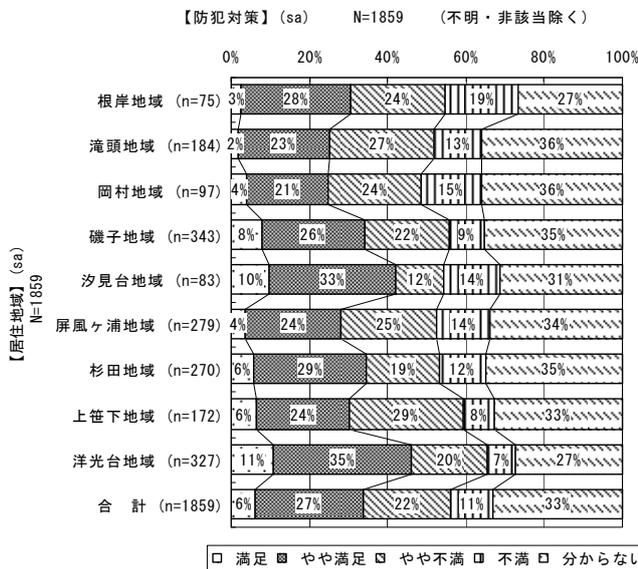
<性・年齢別>



満足度----- 年齢が高くなるほど満足度が高くなる傾向を示している。40代、50代では性差がみられ、女性の方が満足度が高い。

以前からの変化--- 年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

<居住地域別>

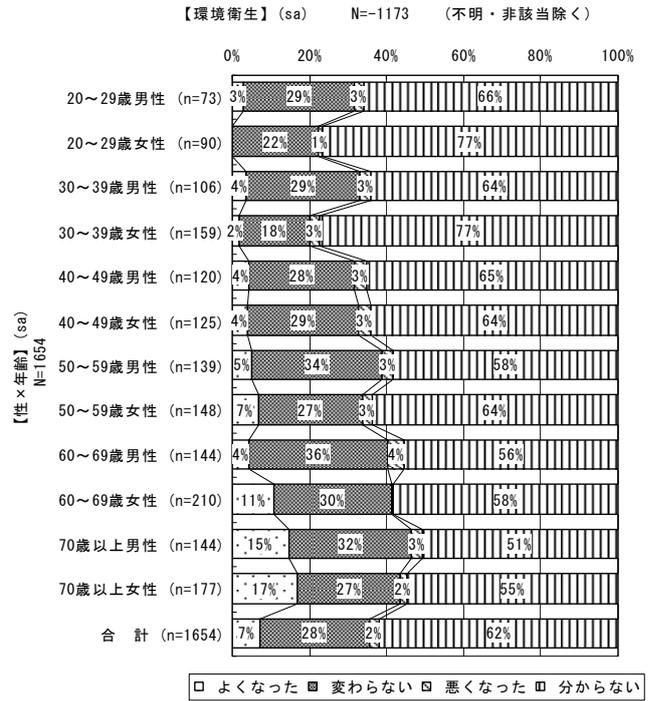
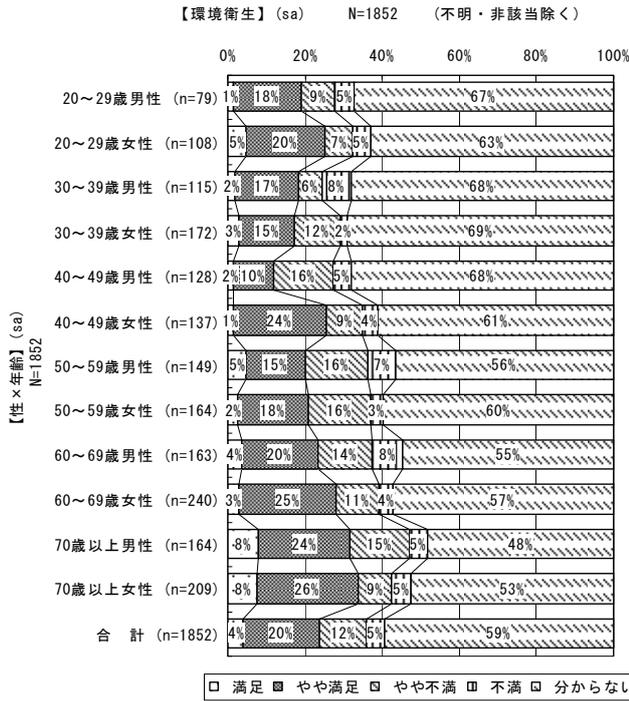


満足度----- 洋光台地域、汐見台地域で満足度が4割以上と高い。滝頭地域、岡村地域、屏風ヶ浦地域の満足度はやや低くなっている。

以前からの変化--- 洋光台地域、汐見台地域、杉田地域で「よくなった」割合がやや高い。岡村地域、磯子地域、屏風ヶ浦地域では「悪くなった」割合が1割見られる。

⑪食品衛生・環境衛生の監視・指導(問1⑪×F1、F2、F7)

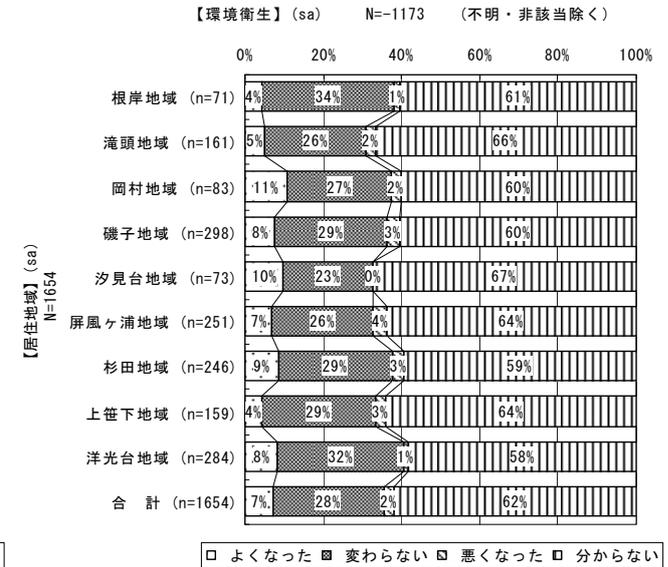
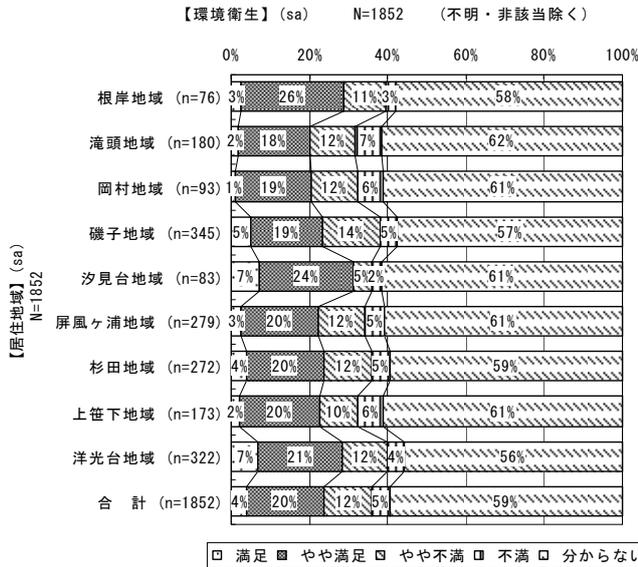
<性・年齢別>



満足度----- 全体に「分からない」が多い。20代女性、40代女性の満足度がやや高く、50代以上は年齢と共に満足度が高くなっている。

以前からの変化--- 年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなる傾向を示しているが、60代男性の「よくなった」割合は低い。

<居住地域別>

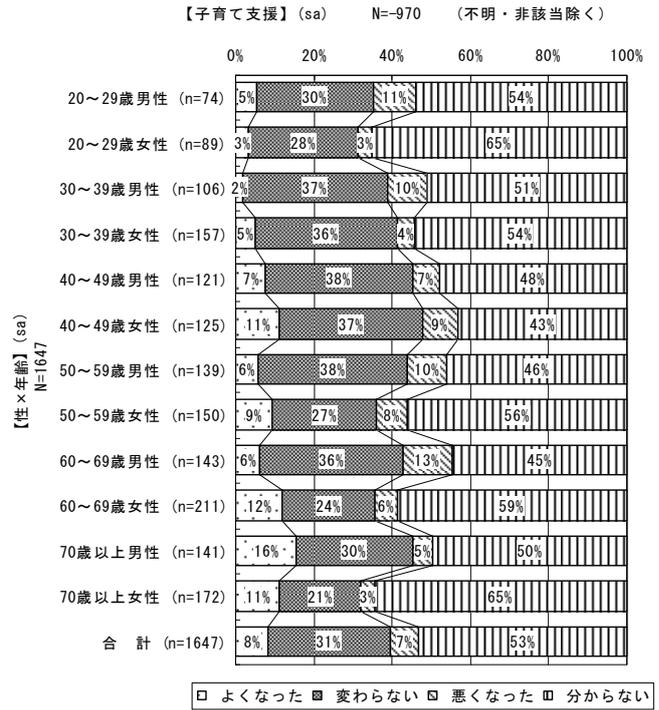
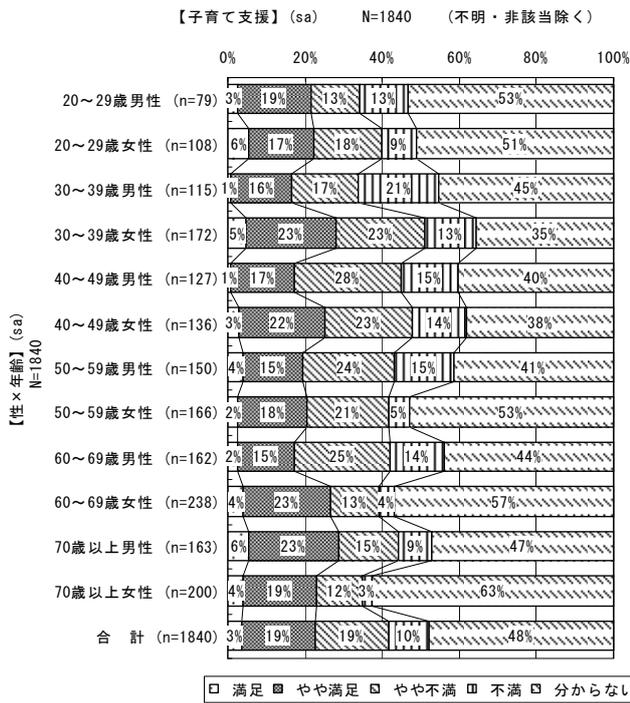


満足度----- 根岸地域、汐見台地域で満足度がやや高い。

以前からの変化--- 岡村地域、汐見台地域で「よくなった」割合がわずかだが高くなっている。

⑫子育て支援や青少年の健全育成(問1⑫×F1、F2、F7)

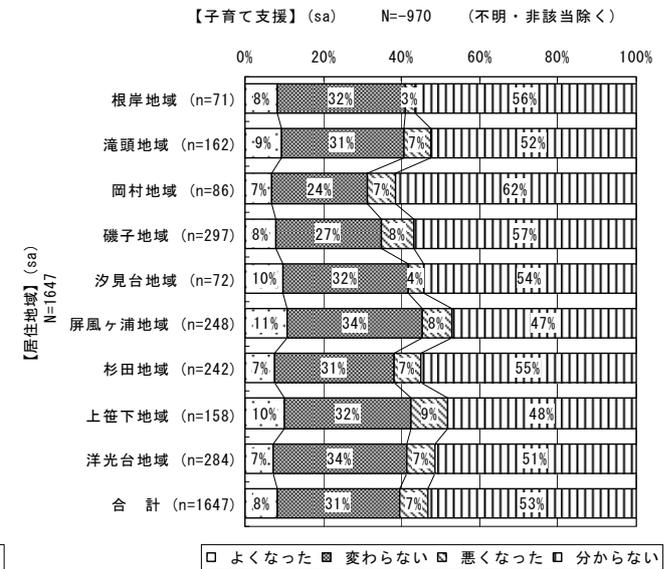
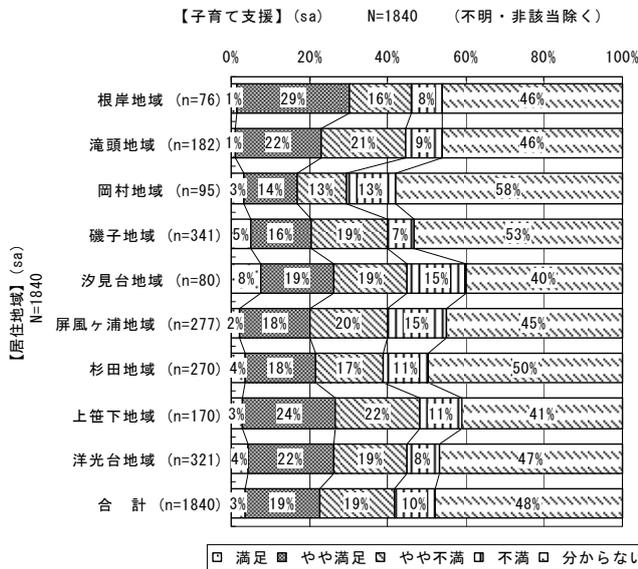
<性・年齢別>



満足度----- 30代女性、40代女性、60代女性、70歳以上で満足度が高いが、一方で、30代、40代、50代と60歳男性では不満度も高くなっている。

以前からの変化---40代女性、60代女性、70歳以上で「よくなった」割合がやや高い。20代、30代、50代、60代、70代いずれも女性で「分からない」割合が高くなっている。

<居住地域別>

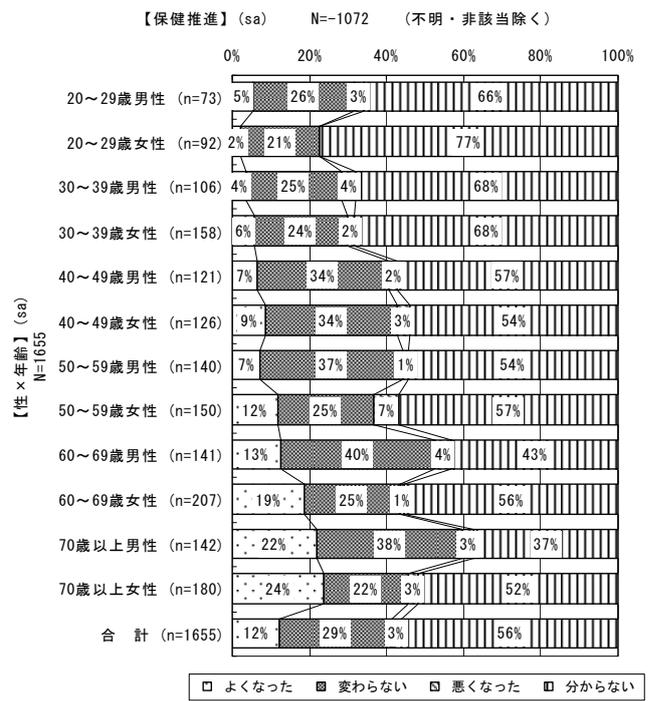
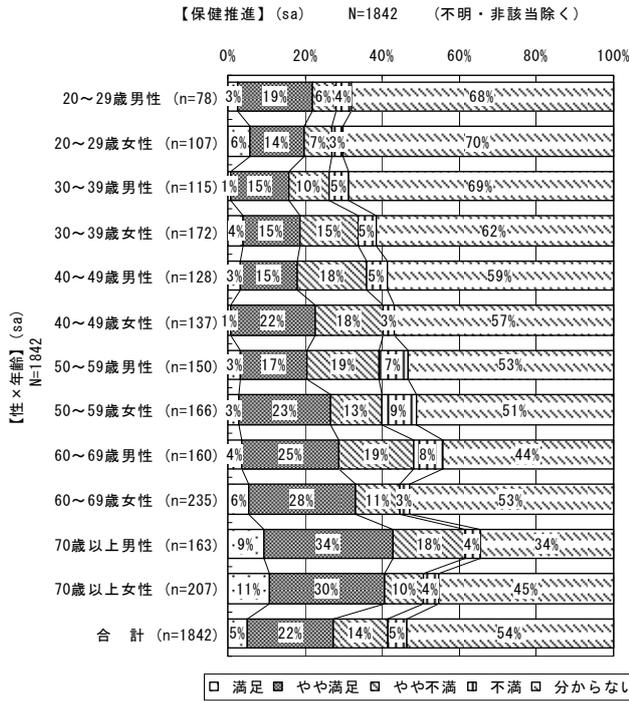


満足度----- 根岸地域、汐見台地域、上笹下地域、洋光台地域で満足度がやや高いが、汐見台地域、上笹下地域、洋光台地域では、それ以上に不満度も高くなっている。滝頭地域、磯子地域、杉田地域も不満度が満足度を上回っている。

以前からの変化---以前との比較では大きな地域差は見られず、全体的に「よくなった」割合が低い。岡村地域、磯子地域、杉田地域、洋光台地域では、「よくなった」と「悪くなった」が同率となっている。

⑬感染症・生活習慣病など保健推進(問1⑬×F1、F2、F7)

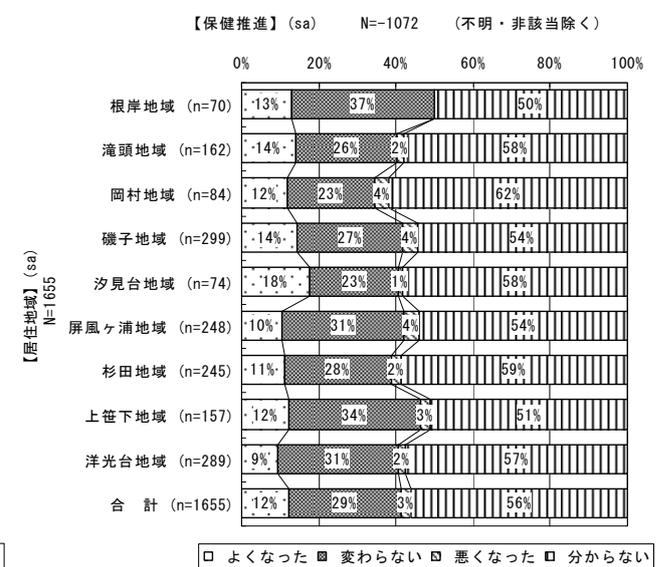
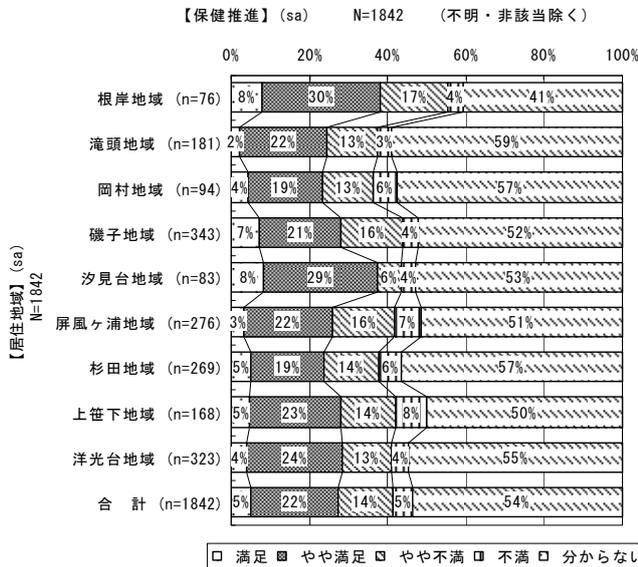
<性・年齢別>



満足度----- 20代~50代までは「分からない」が5割以上を占めている。年齢が高くなるほど満足度が高くなっている。

以前からの変化--- 年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

<居住地域別>

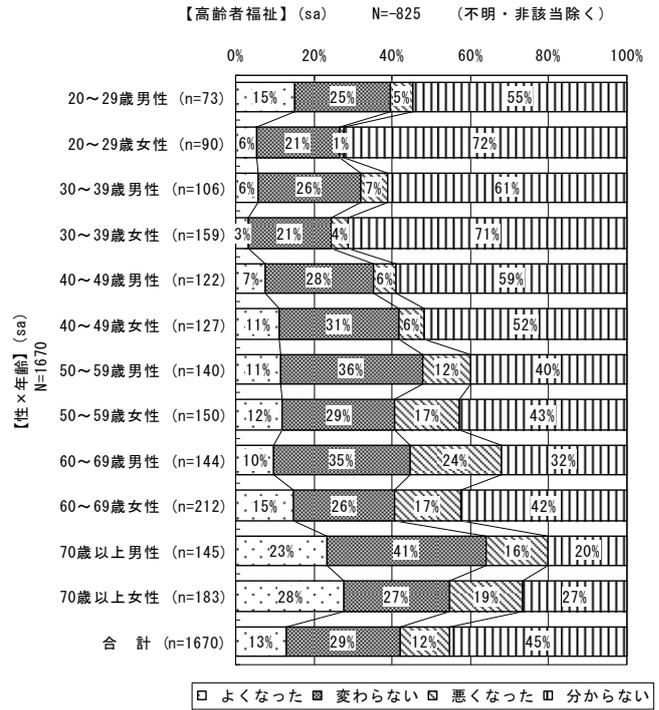
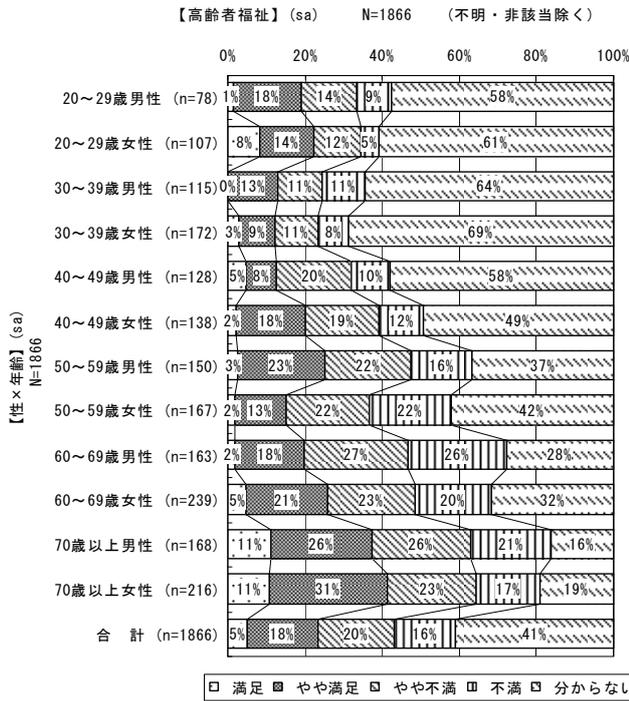


満足度----- 根岸地域、汐見台地域で満足度が高い。

以前からの変化--- 汐見台地域で「よくなった」割合がやや高い。

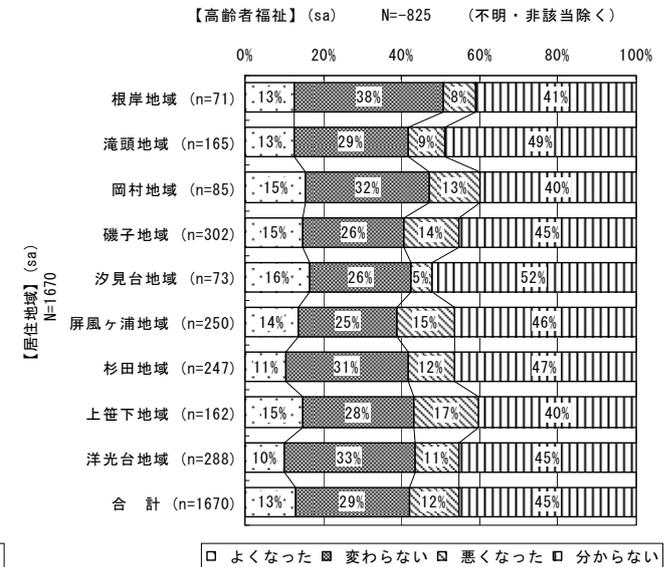
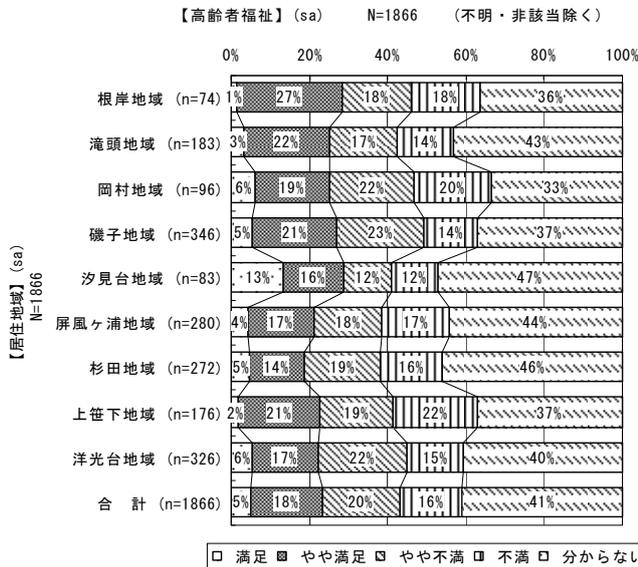
⑭高齢者福祉(問1⑭×F1、F2、F7)

<性・年齢別>



満足度----- 70歳以上で満足度が高いが、それ以上に不満度も高い。50代、60代も満足度よりも不満度が高い。若い世代では、20代より、30代、40代の方が満足度、不満度共に低い。
 以前からの変化--- 年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

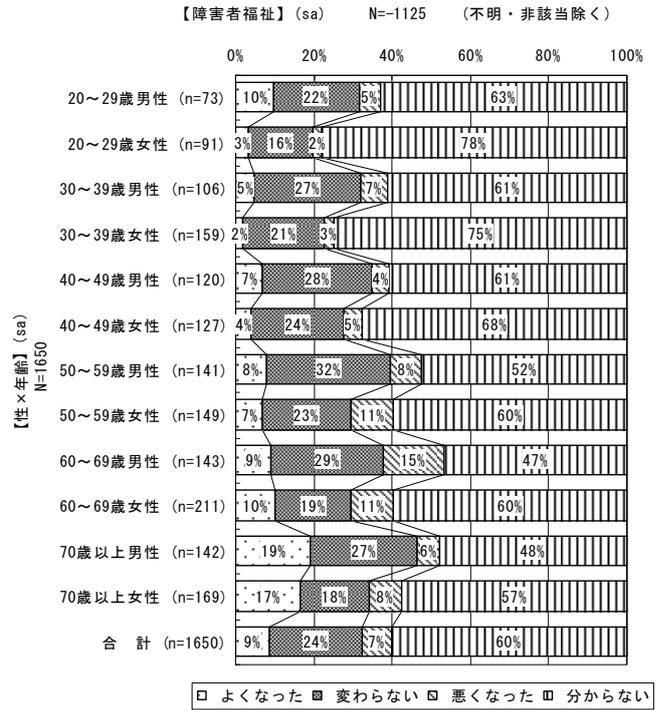
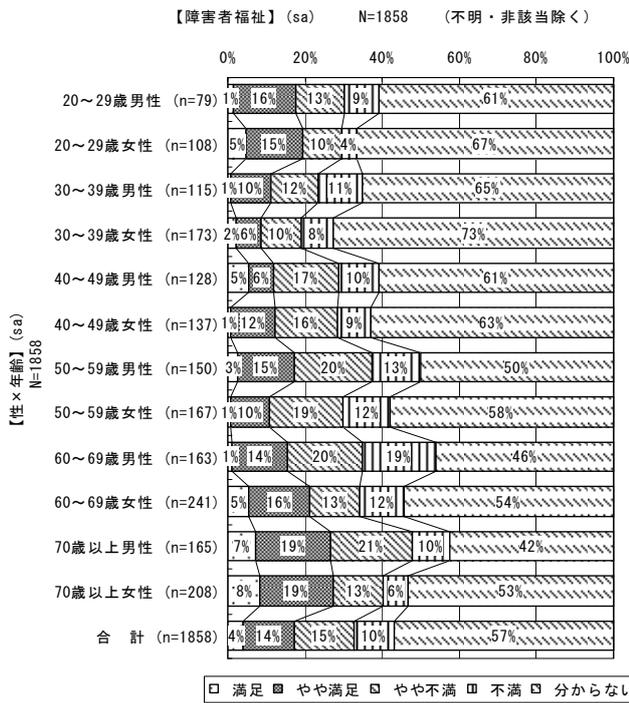
<居住地域別>



満足度----- 汐見台地域で満足度がやや高く、とくに「満足」の割合が高くなっている。
 以前からの変化--- 地域別の大きな差はみられない。

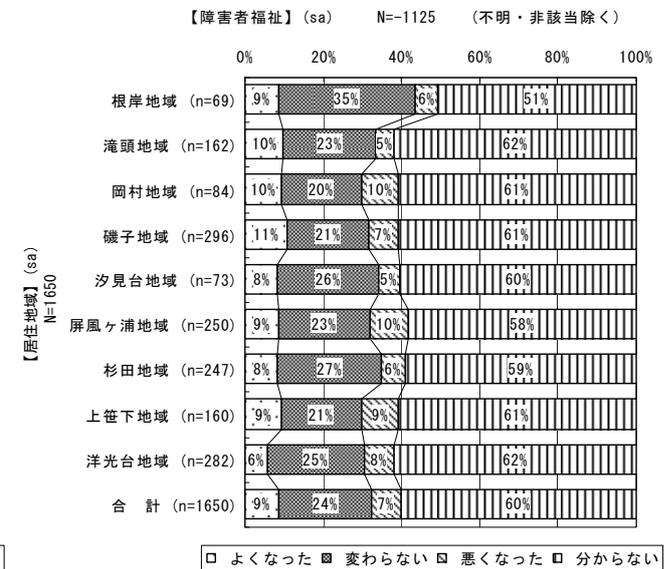
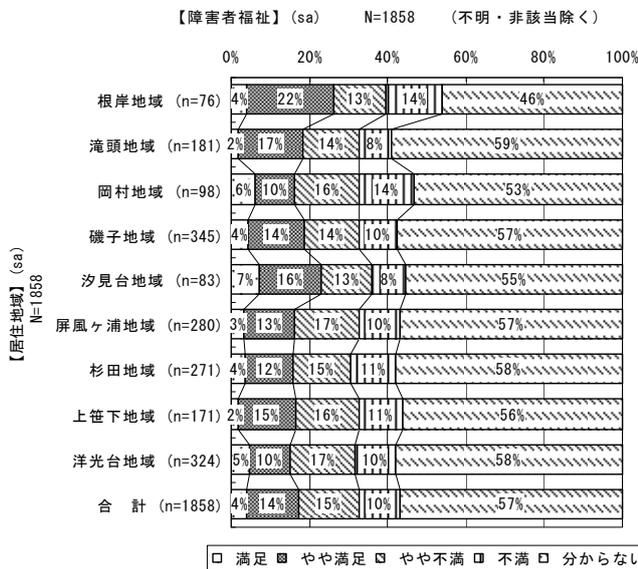
⑮障害者福祉(問1⑮×F1、F2、F7)

<性・年齢別>



満足度----- 全体的に「分からない」割合が高い。20代男女、50代男性、60代、70代で満足度が高い一方で、50代男性60代男性、70歳以上男性で不満度も高くなっている。
 以前からの変化---50代以降、年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

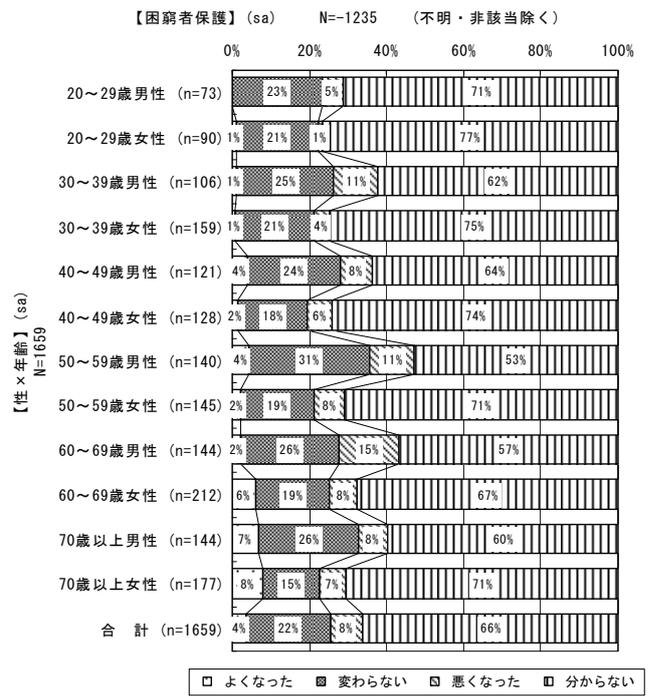
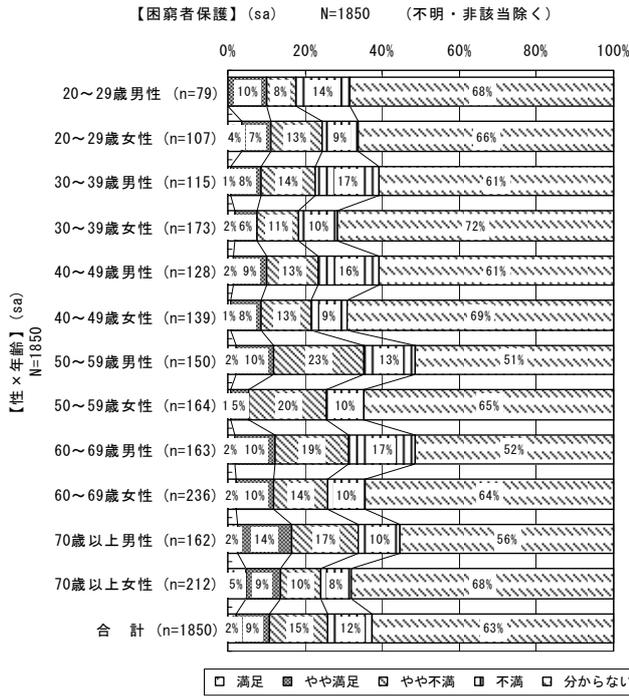
<居住地域別>



満足度----- 汐見台地域を除いて、不満度が満足度を上回っている。根岸地域、汐見台地域で満足度が高い。
 以前からの変化---以前との比較では地域別の大きな差はみられない。

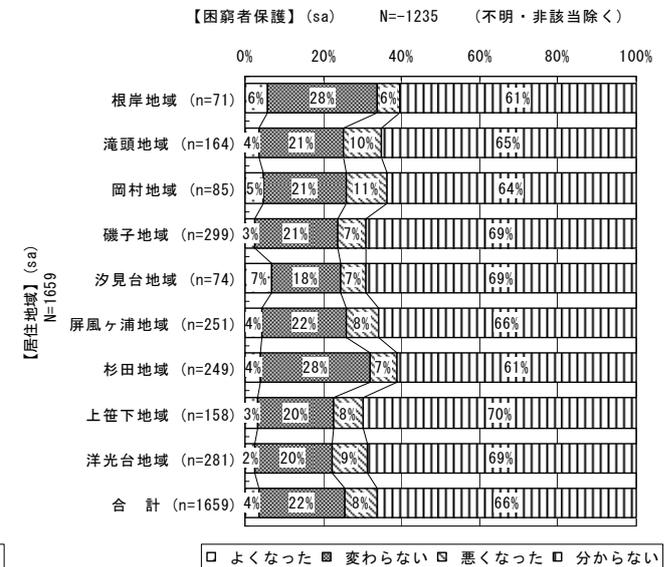
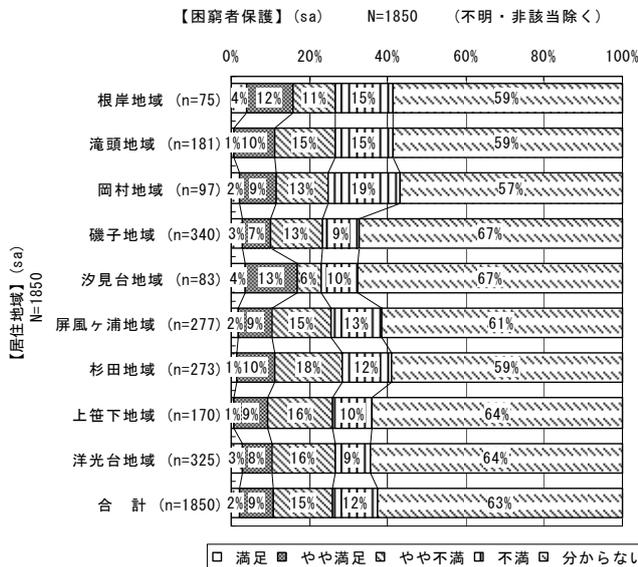
⑩経済的に困っている人の保護(問1⑩×F1、F2、F7)

<性・年齢別>



満足度----- 全体的に「分からない」の割合が高い。50代男性、女性、60代男性の不満足度が高い。
 以前からの変化---30代男性、40代男性、50代男性、60代男性で「悪くなった」割合が高くなっている。

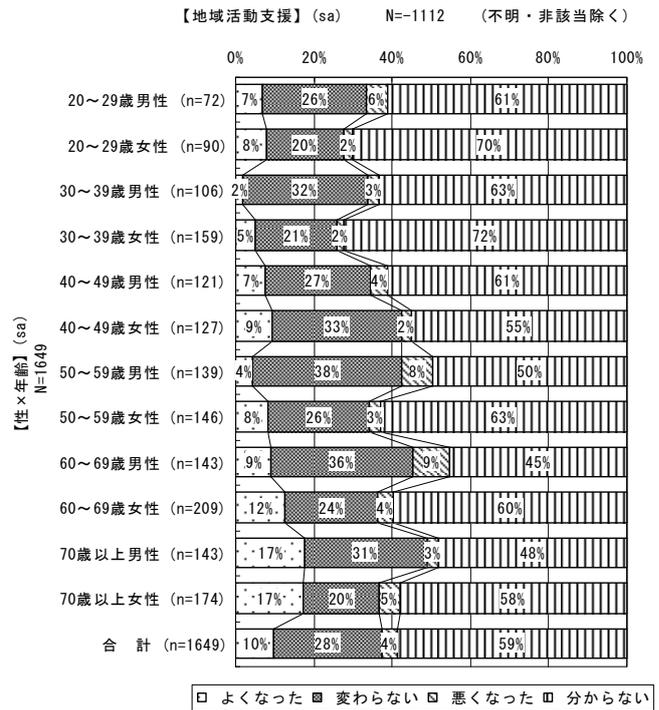
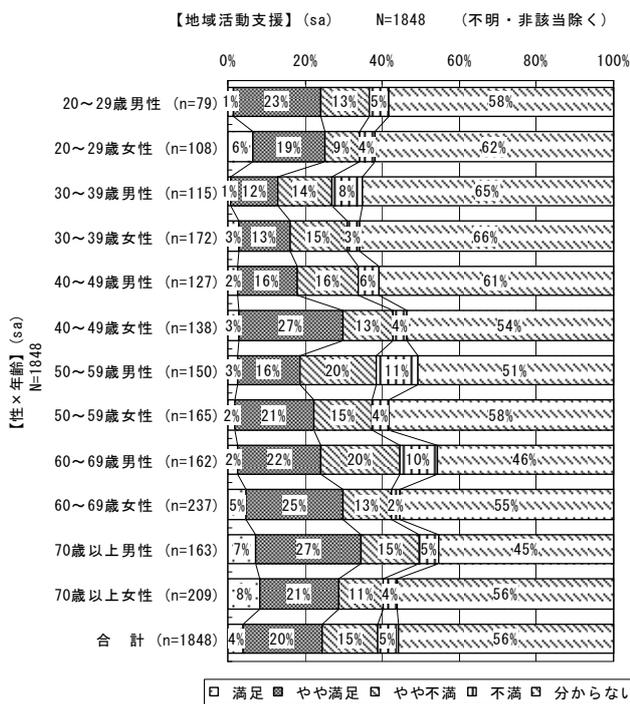
<居住地域別>



満足度----- 汐見台地域を除いて、不満度が満足度を上回っている。とくに、岡村地域で不満度が高くなっている。
 以前からの変化--- 汐見台地域を除いて、不満度が満足度を上回っている。

⑰地域活動支援(問1⑰×F1、F2、F7)

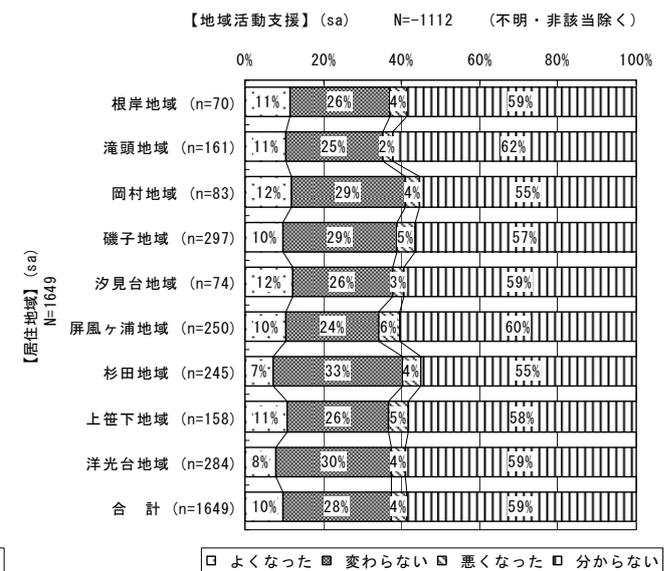
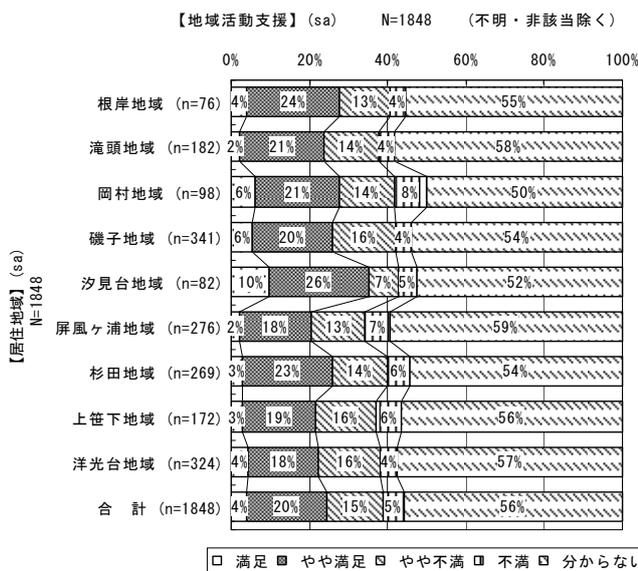
<性・年齢別>



満足度----- 20代男女、40代女性、60代女性、70歳以上で満足度が高い。30代、40代男性、50代男性、60代男性では不満度が満足度を上回っている。

以前からの変化---年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなる傾向をしめしているが、30代男性と50代男性では「よくなった」割合が低く、「悪くなった」割合の方が「よくなった」を上回っている。

<居住地域別>

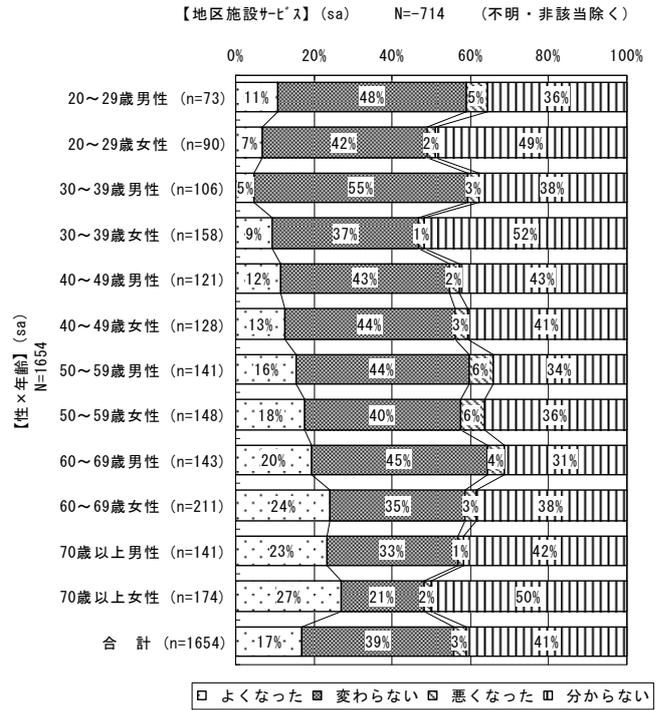
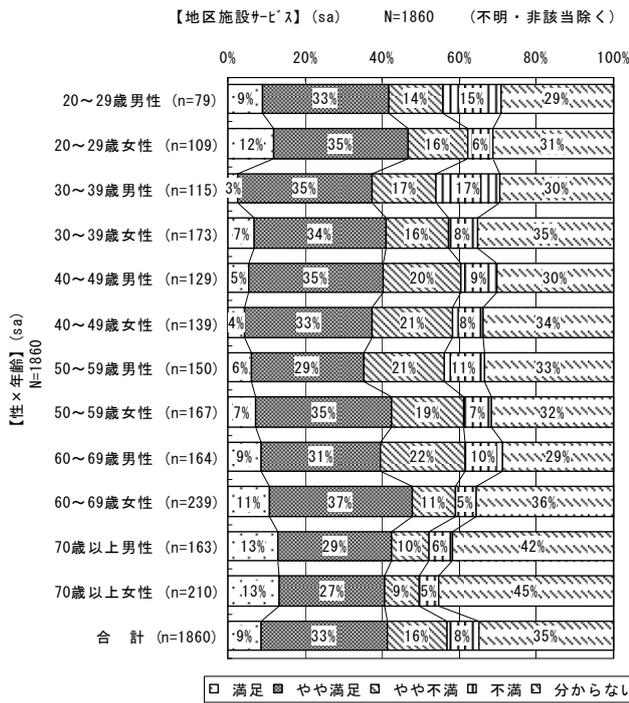


満足度----- 汐見台地域で満足度がとくに高い。

以前からの変化---以前との比較では大きな地域差は見られない。

⑱地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス(問1⑱×F1、F2、F7)

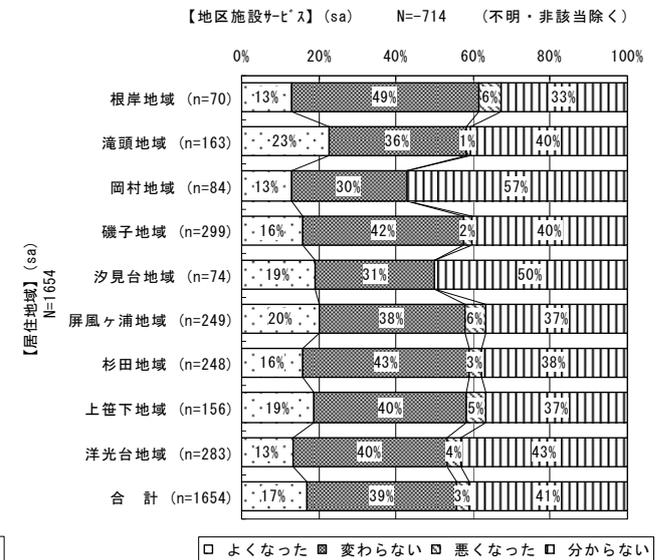
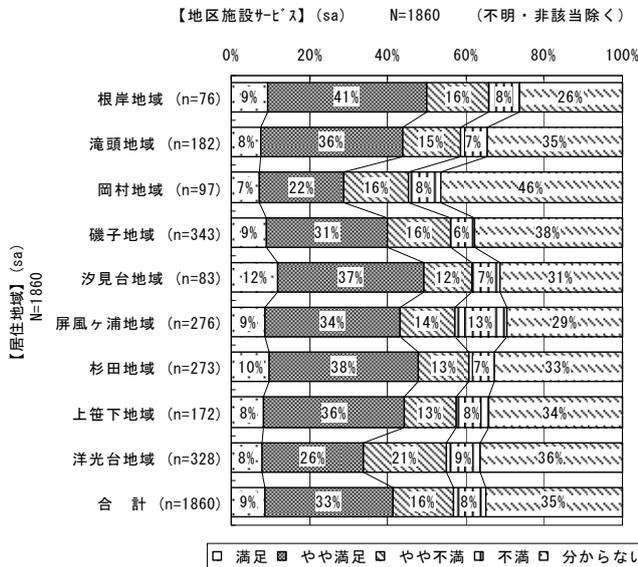
<性・年齢別>



満足度----- 満足度は各年齢共に概ね4割で不満度を上回っているが、30代男性、40代女性、50代男性で満足度がやや低くなっている。

以前からの変化---年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

<居住地域別>

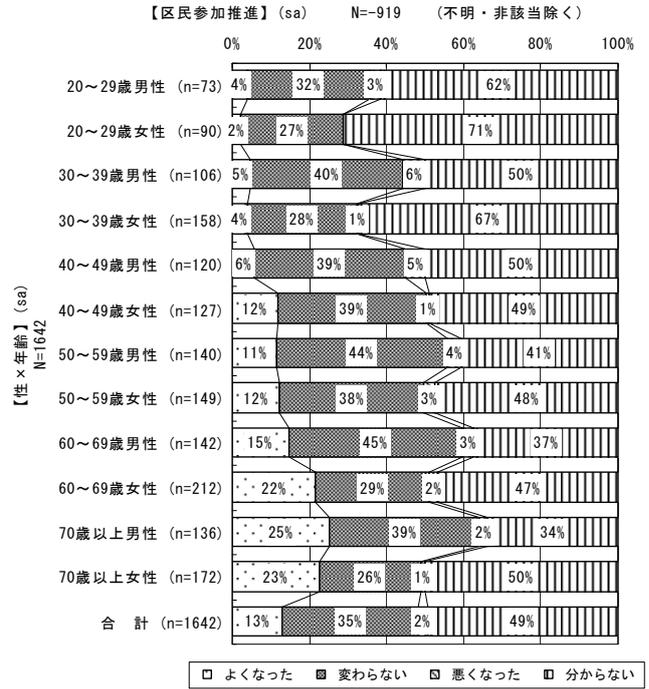
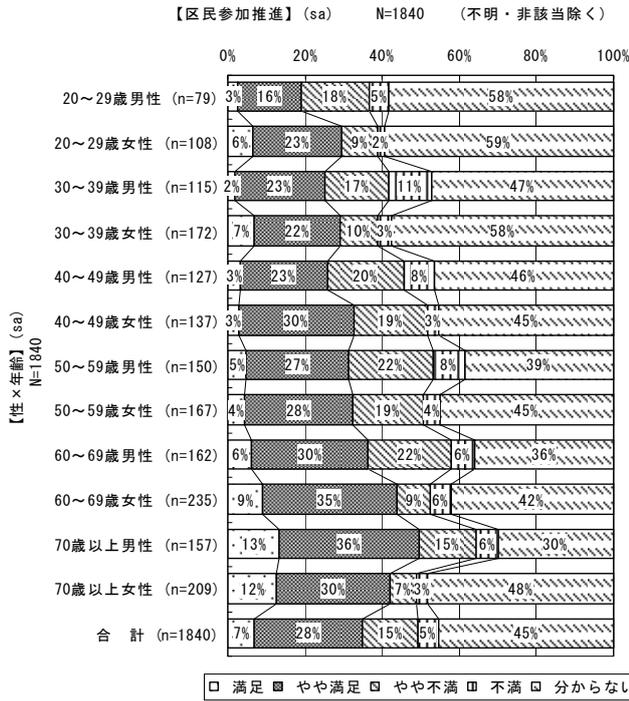


満足度----- 岡村地域、洋光台地域の満足度がとくに低い。

以前からの変化---滝頭地域で「よくなった」割合が高い。

⑱広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進(問1⑱×F1、F2、F7)

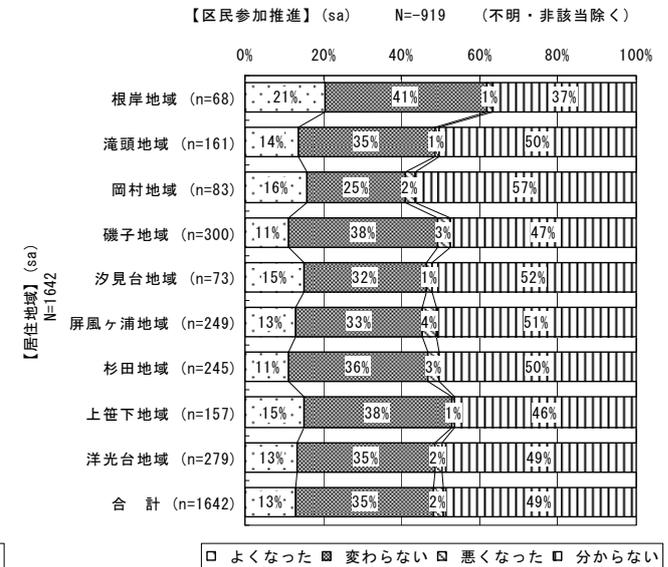
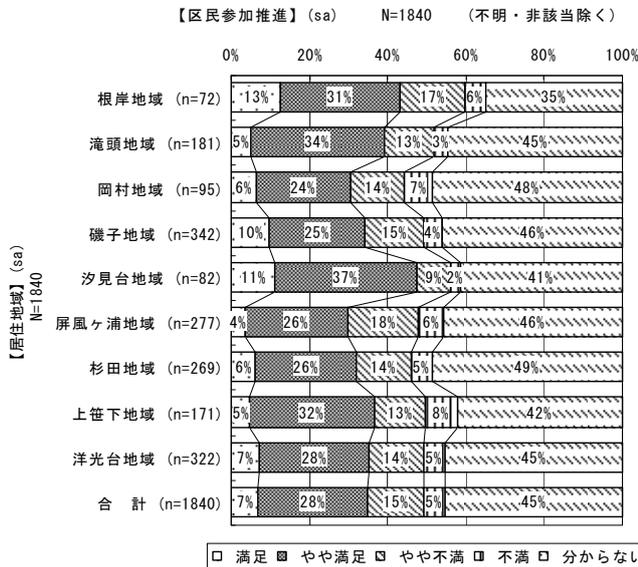
<性・年齢別>



満足度----- 年齢が高くなるほど満足度が高くなる傾向を示しているが、20代~40代では性差がみられ、女性の方が満足度が高くなっている。

以前からの変化--- 年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

<居住地域別>

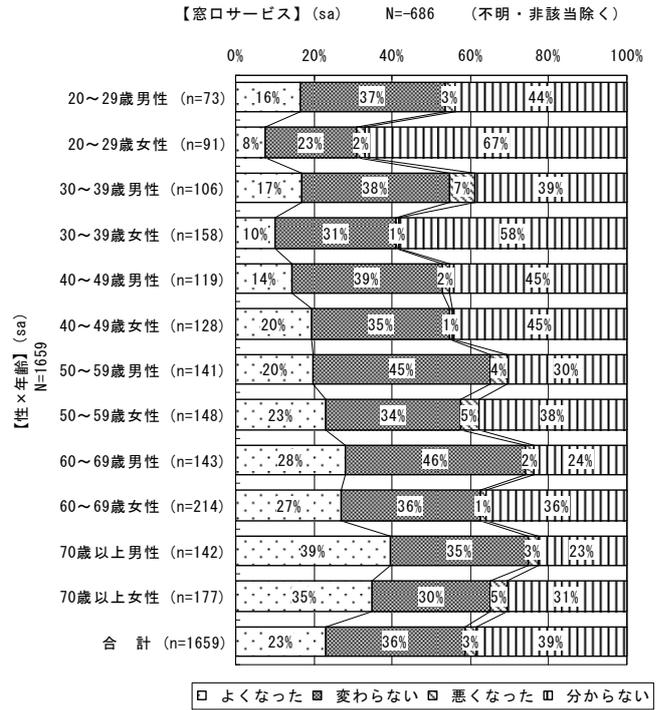
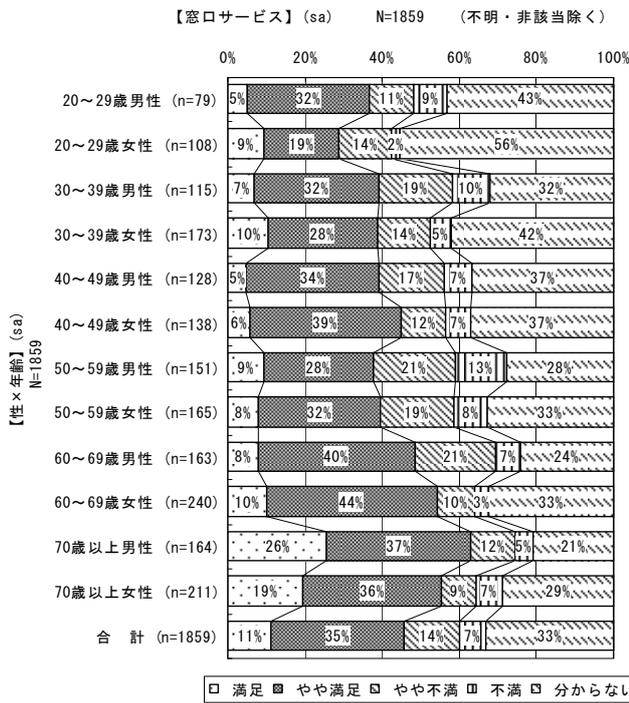


満足度----- 汐見台地域、根岸地域、滝頭地域で満足度高い。

以前からの変化--- 根岸地域で「よくなった」割合がやや高い。

⑳身近な住民窓口サービス(問1㉔×F1、F2、F7)

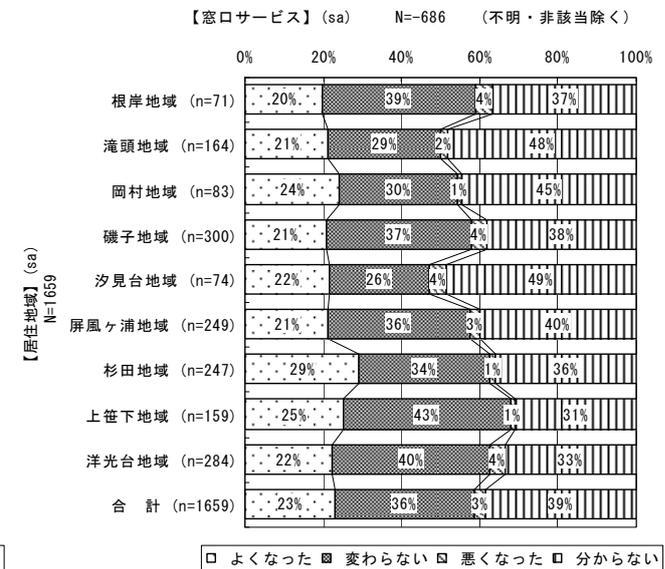
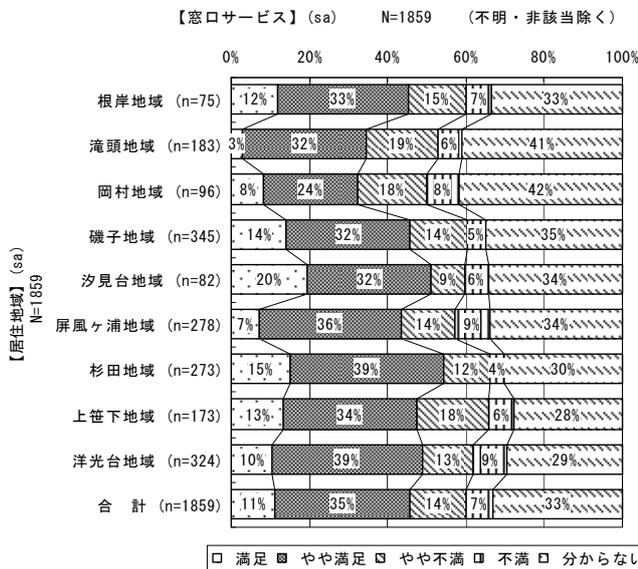
<性・年齢別>



満足度----- 60代以上で満足度が高い。20代女性では「分からない」割合が特に高い。30代~50代では不満度も高い。

以前からの変化---年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

<居住地域別>

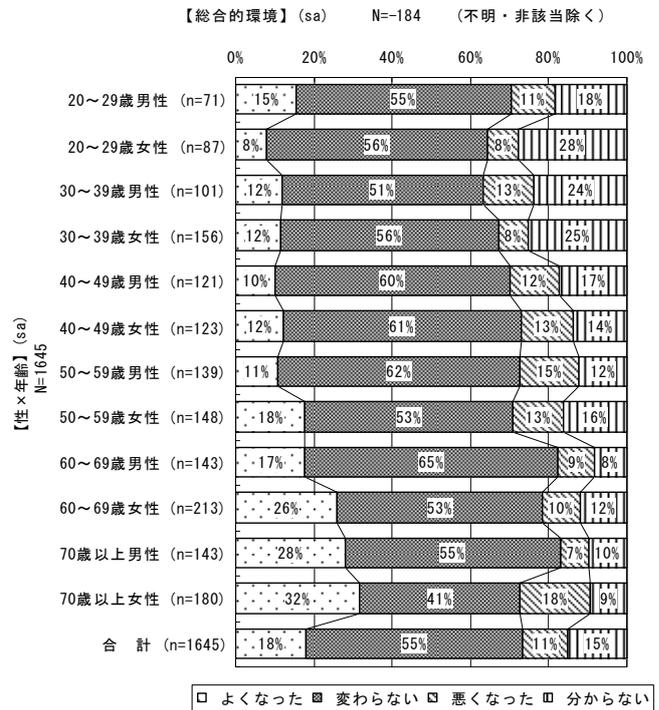
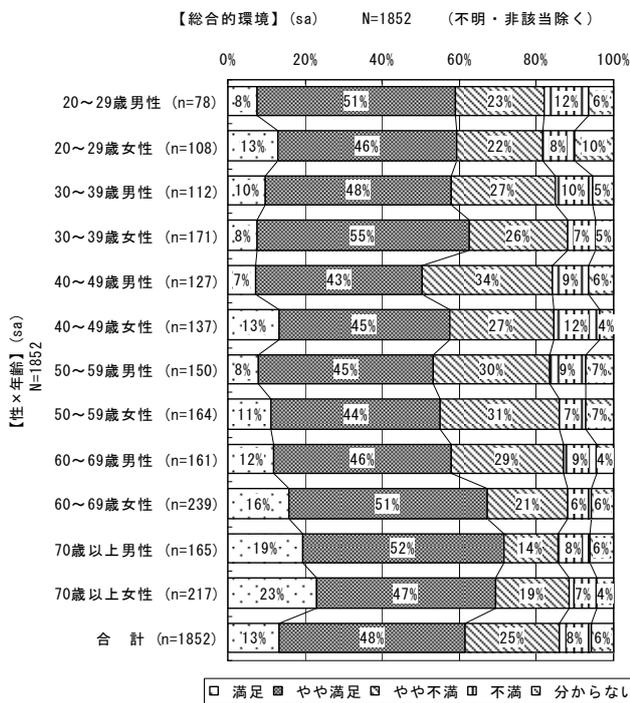


満足度----- 杉田地域、汐見台地域で満足度が高く、滝頭地域、岡村地域で満足度が低い。

以前からの変化---杉田地域で「よくなった」割合が高い。

○ お住まいの周辺の総合的な環境(問1×F1、F2、F7)

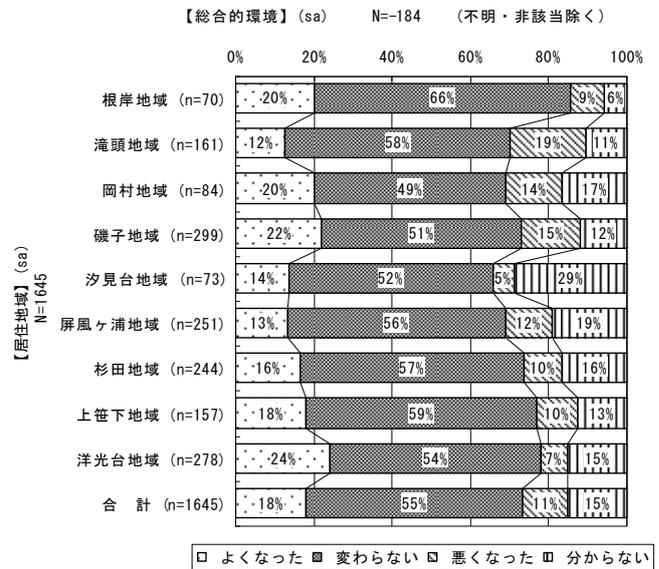
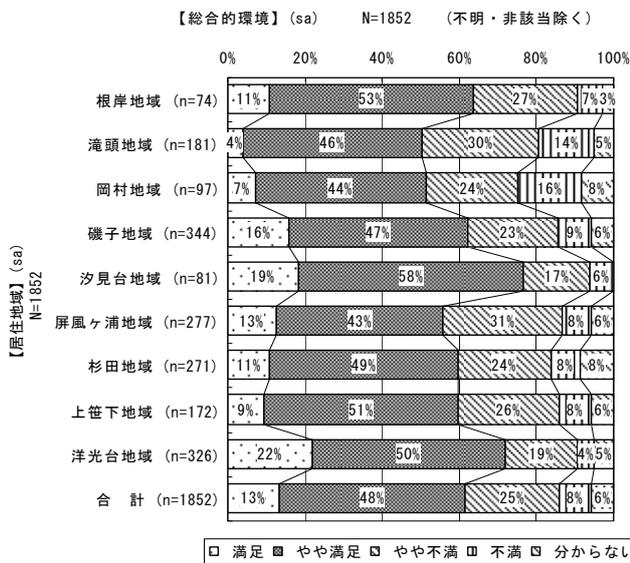
<性・年齢別>



満足度----- 40代女性、60代女性、70歳以上で満足度が6割を超えている。

以前からの変化---以前との比較では「変わらない」が多くなっているが、年齢が高くなるほど「よくなった」割合が高くなっている。

<居住地域別>

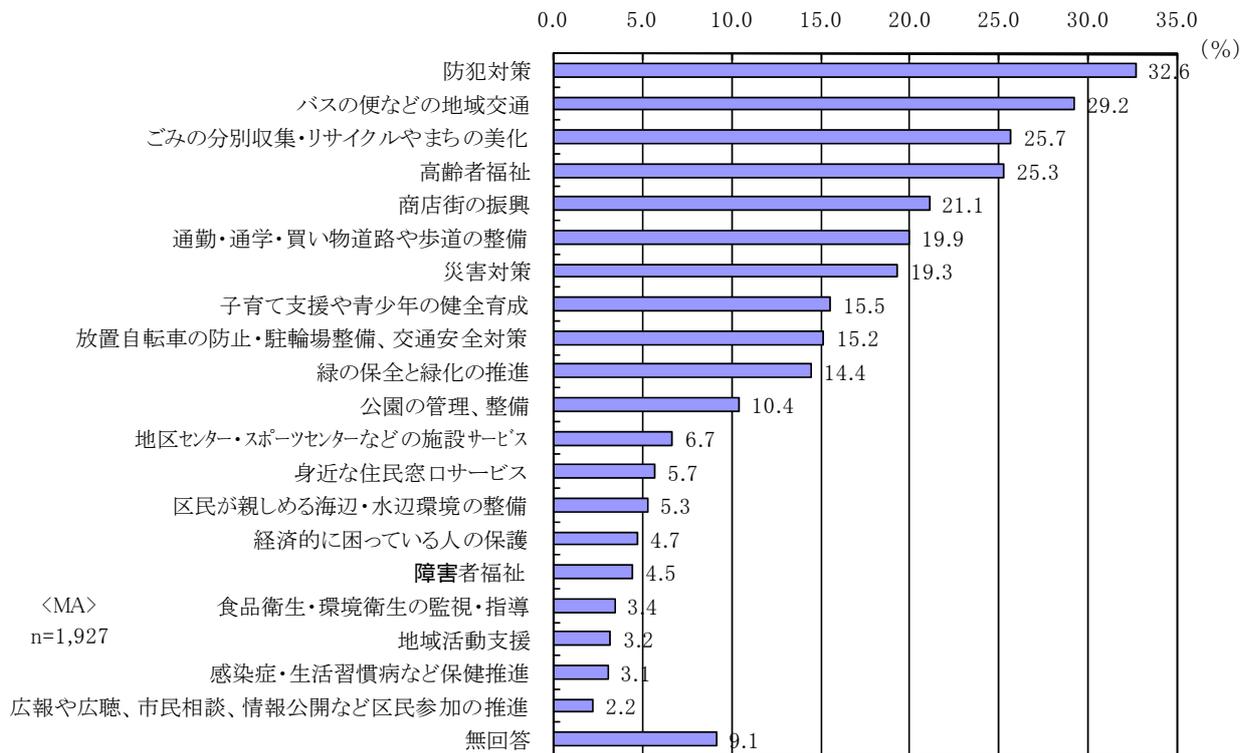


満足度----- 汐見台地域、洋光台地域で満足度がとくに高く、滝頭地域、岡村地域で満足度がやや低い。

以前からの変化---全体に「変わらない」が多いが、洋光台地域、磯子地域、根岸地域、岡村地域で「よくなった」割合がやや高い。

(2)重要度

問2 上記①～⑳の質問項目のうち、あなたのお住まいの周辺の環境にとって、とくに重要度が高いとお考えの項目を3つまでお知らせください。(複数回答)



居住地周辺の環境にとって重要度が高いとされる上位5項目は、「防犯対策」、「バスの便などの地域交通」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「高齢者福祉」、「商店街の振興」で、いずれも2割以上の方が挙げている。

- ・ 上位5項目は、「防犯対策」、「バスの便などの地域交通」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「高齢者福祉」、「商店街の振興」であり、いずれも2割以上の方が挙げている。
- ・ 重要度が低い結果となったのは、「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」、「感染症・生活習慣病など保健推進」、「地域活動支援」、「食品衛生・環境衛生の監視・指導」、「障害者福祉」、「経済的に困っている人の保護」であり、いずれも5%以下であった。

クロス集計

■ 性・年齢別（問2× F1、F2）

	地域交通	道路整備	交通安全対策	水辺環境整備	商店街振興	公園整備	緑化推進	ごみの分別	災害対策	防犯対策	環境衛生	子育て支援	保健推進	高齢者福祉	障害者福祉	困窮者保護	地域活動支援	地区施設サービス	区民参加推進	窓口サービス
20～29歳男性 (n=77)	33.8%	32.5%	20.8%	7.8%	23.4%	20.8%	15.6%	19.5%	20.8%	32.5%	1.3%	23.4%	2.6%	18.2%	2.6%	3.9%	1.3%	16.9%	0.0%	1.3%
30～39歳男性 (n=111)	26.1%	35.1%	13.5%	8.1%	30.6%	12.6%	11.7%	21.6%	13.5%	41.4%	2.7%	31.5%	0.0%	13.5%	5.4%	7.2%	2.7%	8.1%	3.6%	8.1%
40～49歳男性 (n=127)	29.9%	27.6%	23.6%	10.2%	22.8%	14.2%	12.6%	26.0%	21.3%	37.0%	2.4%	19.7%	3.1%	17.3%	8.7%	6.3%	2.4%	5.5%	2.4%	3.9%
50～59歳男性 (n=144)	27.1%	18.1%	18.1%	7.6%	27.8%	11.1%	16.0%	27.1%	27.8%	38.9%	2.1%	16.0%	2.8%	25.0%	4.9%	9.0%	4.2%	4.9%	1.4%	7.6%
60～69歳男性 (n=151)	22.5%	13.9%	17.2%	6.6%	24.5%	13.2%	23.8%	21.9%	23.8%	36.4%	4.6%	12.6%	2.6%	46.4%	4.0%	4.0%	5.3%	4.6%	3.3%	6.6%
70歳以上男性 (n=143)	35.0%	14.0%	16.1%	6.3%	23.1%	7.7%	18.2%	32.9%	20.3%	32.2%	6.3%	11.2%	4.9%	35.0%	4.9%	2.8%	4.9%	4.2%	2.8%	4.9%
20～29歳女性 (n=107)	39.3%	29.0%	14.0%	6.5%	22.4%	11.2%	15.0%	38.3%	14.0%	40.2%	0.0%	21.5%	0.9%	11.2%	4.7%	6.5%	1.9%	12.1%	0.0%	4.7%
30～39歳女性 (n=169)	30.8%	31.4%	11.8%	5.3%	18.9%	19.5%	9.5%	19.5%	18.3%	36.7%	1.2%	38.5%	2.4%	17.8%	4.7%	10.1%	4.1%	11.2%	1.8%	4.1%
40～49歳女性 (n=138)	38.4%	29.7%	15.9%	5.8%	21.0%	8.0%	15.9%	27.5%	24.6%	39.9%	1.4%	21.0%	1.4%	23.2%	2.9%	3.6%	2.9%	8.0%	0.7%	4.3%
50～59歳女性 (n=157)	36.3%	23.6%	19.1%	1.3%	22.9%	8.3%	16.6%	29.3%	21.7%	36.9%	3.2%	12.7%	3.8%	31.8%	4.5%	3.8%	3.2%	5.1%	2.5%	8.3%
60～69歳女性 (n=225)	36.4%	13.8%	16.9%	5.8%	22.2%	8.9%	16.4%	32.0%	21.3%	30.7%	8.0%	6.2%	5.3%	34.7%	6.7%	2.7%	4.9%	8.0%	s	7.6%
70歳以上女性 (n=184)	31.0%	10.3%	14.7%	1.6%	23.4%	7.6%	18.5%	35.3%	23.9%	33.2%	6.5%	6.0%	7.1%	39.1%	3.8%	3.8%	2.2%	4.9%	3.8%	9.8%
合計 (n=1751)	32.2%	21.9%	16.7%	5.8%	23.2%	11.4%	15.9%	28.3%	21.2%	35.9%	3.8%	17.1%	3.4%	27.8%	4.9%	5.2%	3.5%	7.4%	2.5%	6.3%

最大値 平均値の1.5倍以上

- 20代男性、60代女性では「バスの便などの地域交通」が、60代男性、70歳以上女性では「高齢者福祉」が、70歳以上男性では、「バスの便などの地域交通」と「高齢者福祉」が、30代女性では「子育て支援や青少年の健全育成」が最も多く、そのほかの性・年齢では「防犯対策」が最も多くなっている。
- 項目別に重要度が高く(平均値の1.5倍以上)現れているのは、次のとおりである。

20代男性の「公園の管理、整備」「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」
 30代男性の「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」「子育て支援や青少年の健全育成」
 40代男性の「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」「障害者福祉」
 50代男性の「経済的に困っている人の保護」
 60代男性の「緑の保全と緑化の推進」「地域活動支援」
 70代男性の「食品衛生・環境衛生の監視・指導」
 20代女性の「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」
 30代女性の「公園の管理、整備」「経済的に困っている人の保護」「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」
 60代女性の「食品衛生・環境衛生の監視・指導」「感染症・生活習慣病など保健推進」
 70歳以上女性の「食品衛生・環境衛生の監視・指導」「感染症・生活習慣病など保健推進」「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」「身近な住民窓口サービス」

■ 居住地域別(問2× F7)

	地域交通	道路整備	交通安全対策	水辺環境整備	商店街振興	公園整備	緑化推進	ごみの分別	災害対策	防犯対策	環境衛生	子育て支援	保健推進	高齢者福祉	障害者福祉	困窮者保護	地域活動支援	地区施設サービス	区民参加推進	窓口サービス
根岸地域 (n=75)	14.7%	16.0%	34.7%	8.0%	22.7%	10.7%	21.3%	34.7%	25.3%	34.7%	2.7%	14.7%	1.3%	28.0%	6.7%	2.7%	1.3%	8.0%	2.7%	5.3%
滝頭地域 (n=172)	41.3%	23.8%	16.9%	6.4%	29.7%	7.0%	8.1%	27.3%	18.0%	34.3%	4.1%	18.6%	3.5%	24.4%	4.1%	9.3%	5.2%	8.7%	1.2%	5.2%
岡村地域 (n=87)	43.7%	26.4%	10.3%	2.3%	20.7%	10.3%	6.9%	34.5%	21.8%	27.6%	2.3%	13.8%	2.3%	31.0%	6.9%	6.9%	3.4%	9.2%	4.6%	5.7%
磯子地域 (n=319)	38.6%	20.4%	11.9%	8.5%	22.6%	8.5%	19.4%	26.3%	21.0%	34.8%	3.8%	16.6%	3.1%	28.2%	2.8%	6.6%	3.8%	6.0%	3.1%	6.6%
汐見台地域 (n=79)	46.8%	21.5%	3.8%	6.3%	30.4%	19.0%	25.3%	21.5%	22.8%	27.8%	2.5%	30.4%	0.0%	17.7%	2.5%	1.3%	5.1%	7.6%	1.3%	2.5%
屏風ヶ浦地域 (n=263)	24.0%	28.9%	22.4%	4.9%	19.4%	9.5%	13.7%	28.1%	23.2%	36.5%	5.7%	18.3%	3.8%	28.1%	5.3%	4.9%	4.9%	8.0%	1.5%	4.6%
杉田地域 (n=269)	25.3%	29.7%	21.9%	5.9%	21.2%	11.5%	17.5%	30.5%	20.4%	37.2%	4.8%	13.8%	4.5%	24.9%	4.1%	3.3%	1.9%	5.2%	3.3%	5.6%
上笹下地域 (n=159)	45.9%	12.6%	8.2%	6.3%	20.1%	14.5%	13.8%	28.3%	22.6%	30.8%	4.4%	18.2%	2.5%	31.4%	6.9%	9.4%	3.1%	5.7%	2.5%	5.0%
洋光台地域 (n=306)	23.9%	15.0%	17.6%	3.9%	26.5%	15.4%	17.6%	28.4%	18.3%	42.8%	2.0%	15.4%	4.6%	30.4%	6.9%	2.3%	2.6%	9.8%	2.0%	10.5%
合 計 (n=1,751)	32.2%	21.9%	16.7%	5.8%	23.2%	11.4%	15.9%	28.3%	21.2%	35.9%	3.8%	17.1%	3.4%	27.8%	4.9%	5.2%	3.5%	7.4%	2.5%	6.3%
		最大値		平均値の1.5倍以上																

- ・ 滝頭、岡村、磯子、汐見台、上笹下の各地域では「バスの便などの地域交通」、屏風ヶ浦、杉田、洋光台の各地域では「防犯対策」、根岸地域では「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」「防犯対策」「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が同率で、それぞれ最も多くなっている。
- ・ 項目別に重要度が高く(平均値の1.5倍以上)現れているのは、次のとおりである。

滝頭地域の「経済的に困っている人の保護」

岡村地域の「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」

汐見台地域の「公園の管理、整備」「緑の保全と緑化の推進」「子育て支援や青少年の健全育成」

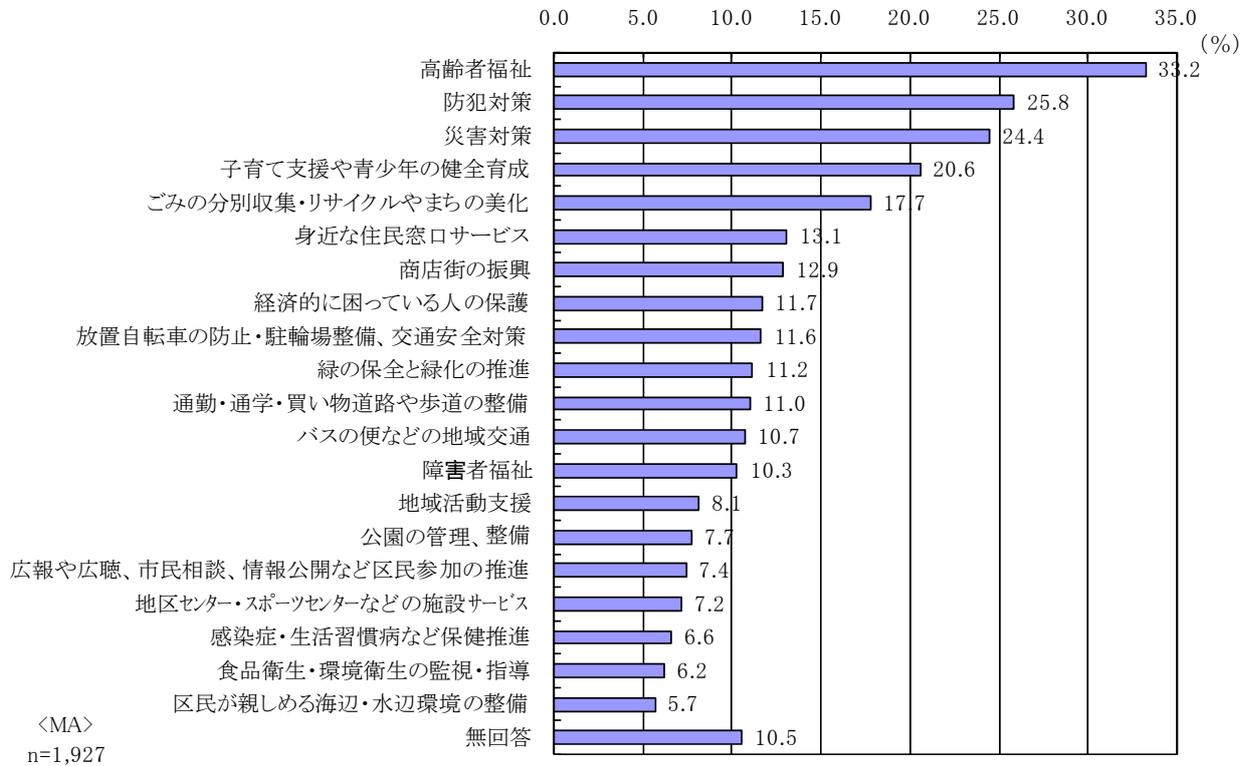
屏風ヶ浦地域の「食品衛生・環境衛生の監視・指導」

上笹下地域の「経済的に困っている人の保護」

洋光台地域の「身近な住民窓口サービス」

(3) 区役所への期待

問3 上記①～⑳の質問項目のうち、磯子区役所が取り組むべき課題として、重要度が高いとお考えの項目を3つまでお知らせください。(複数回答)



磯子区役所が取り組むべき課題として、重要度が高いとされる上位5項目は、「高齢者福祉」、「防犯対策」、「災害対策」、「子育て支援や青少年の健全育成」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」である。高齢者福祉や子育て支援などの福祉関連項目、安全・安心に関わる項目が重要視されている。

- 最も多かったのは「高齢者福祉」で、33.2%の人が挙げている。次いで「防犯対策」が25.8%、「災害対策」が24.4%と、安全・安心に関わる項目が続く。

クロス集計

■ 性・年齢別(問3× F1、F2)

	地域交通	道路整備	交通安全対策	水辺環境整備	商店街振興	公園整備	緑化推進	ごみの分別	災害対策	防犯対策	環境衛生	子育て支援	保健推進	高齢者福祉	障害者福祉	困窮者保護	地域活動支援	地区施設サービス	区民参加推進	窓口サービス
20～29歳男性 (n=77)	18.2%	14.3%	16.9%	7.8%	20.8%	11.7%	13.0%	11.7%	24.7%	33.8%	7.8%	26.0%	1.3%	28.6%	9.1%	18.2%	6.5%	18.2%	3.9%	5.2%
20～29歳女性 (n=104)	15.4%	17.3%	10.6%	12.5%	11.5%	9.6%	14.4%	24.0%	21.2%	30.8%	6.7%	31.7%	4.8%	25.0%	9.6%	14.4%	5.8%	9.6%	3.8%	12.5%
30～39歳男性 (n=110)	12.7%	21.8%	17.3%	11.8%	20.9%	10.0%	10.9%	19.1%	20.0%	33.6%	0.9%	35.5%	3.6%	20.0%	8.2%	15.5%	5.5%	12.7%	5.5%	10.0%
30～39歳女性 (n=167)	15.6%	20.4%	11.4%	3.6%	12.6%	10.8%	9.0%	22.2%	22.2%	34.1%	3.0%	39.5%	6.0%	28.1%	10.2%	13.8%	9.6%	10.2%	5.4%	8.4%
40～49歳男性 (n=125)	11.2%	19.2%	16.0%	11.2%	20.8%	10.4%	16.0%	21.6%	25.6%	34.4%	1.6%	30.4%	4.8%	25.6%	8.8%	9.6%	5.6%	8.0%	5.6%	7.2%
40～49歳女性 (n=136)	19.1%	11.0%	13.2%	5.1%	14.7%	8.8%	11.0%	19.1%	38.2%	27.9%	1.5%	31.6%	6.6%	33.8%	10.3%	8.1%	7.4%	5.9%	7.4%	15.4%
50～59歳男性 (n=142)	8.5%	10.6%	16.9%	5.6%	17.6%	5.6%	14.8%	18.3%	30.3%	34.5%	2.1%	14.1%	4.9%	40.1%	12.7%	14.8%	9.9%	9.9%	12.0%	14.1%
50～59歳女性 (n=159)	6.9%	10.1%	13.2%	4.4%	12.6%	3.1%	9.4%	22.0%	28.3%	23.3%	5.7%	22.0%	11.3%	47.2%	14.5%	15.7%	7.5%	6.3%	8.2%	23.3%
60～69歳男性 (n=150)	8.0%	9.3%	10.7%	6.7%	12.7%	15.3%	14.7%	17.3%	22.0%	32.7%	8.7%	18.7%	5.3%	45.3%	12.7%	10.7%	13.3%	7.3%	7.3%	15.3%
60～69歳女性 (n=221)	14.9%	5.9%	9.5%	6.3%	10.9%	6.8%	17.2%	22.6%	29.9%	21.7%	11.3%	11.8%	9.5%	48.0%	13.1%	12.7%	9.0%	5.0%	10.9%	17.6%
70歳以上男性 (n=137)	8.8%	9.5%	11.7%	4.4%	16.1%	10.9%	11.7%	16.1%	24.8%	24.1%	16.8%	20.4%	12.4%	40.9%	10.9%	8.0%	12.4%	5.8%	10.2%	13.9%
70歳以上女性 (n=177)	7.9%	7.9%	13.0%	1.7%	10.2%	5.1%	7.9%	19.8%	32.8%	25.4%	12.4%	9.6%	11.3%	42.4%	13.0%	16.4%	12.4%	5.1%	13.0%	22.0%
合計 (n=1,724)	11.9%	12.3%	13.0%	6.3%	14.4%	8.6%	12.5%	19.8%	27.3%	28.9%	6.9%	23.0%	7.4%	37.1%	11.5%	13.1%	9.1%	8.0%	8.3%	14.6%

最大値 平均値の1.5倍以上

- ・ 20代は男性では「防犯対策」、女性では「子育て支援や青少年の健全育成」が最も多く、40代は男性では「防犯対策」、女性では「災害対策」が最も多くなっており、性差がみられた。30代では「子育て支援や青少年の健全育成」、50代より上の世代では「高齢者福祉」が最も多くなっており、世代で回答が分かれた。
- ・ 項目別に磯子区役所が取り組むべき課題としての重要度が高く(平均値の1.5倍以上)現れているのは、次のとおりである。

20代男性の「バスの便などの地域交通」「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」

20代女性の「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」

30代男性の「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」

30代女性の「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」

40代男性の「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」

40代女性の「バスの便などの地域交通」

50代女性の「感染症・生活習慣病など保健推進」

60代男性の「公園の管理、整備」

60代女性の「食品衛生・環境衛生の監視・指導」

70代以上男性の「食品衛生・環境衛生の監視・指導」「感染症・生活習慣病など保健推進」

70歳以上女性の「食品衛生・環境衛生の監視・指導」「感染症・生活習慣病など保健推進」「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」

■ 居住地域別(問3× F7)

	地域交通	道路整備	交通安全対策	水辺環境整備	商店街振興	公園整備	緑化推進	ごみの分別	災害対策	防犯対策	環境衛生	子育て支援	保健推進	高齢者福祉	障害者福祉	困窮者保護	地域活動支援	地区施設サービス	区民参加推進	窓口サービス
根岸地域 (n=74)	1.4%	8.1%	18.9%	5.4%	14.9%	13.5%	9.5%	20.3%	35.1%	29.7%	2.7%	23.0%	8.1%	35.1%	8.1%	10.8%	13.5%	10.8%	13.5%	12.2%
滝頭地域 (n=171)	18.7%	15.2%	14.0%	10.5%	18.7%	7.6%	15.2%	19.9%	26.3%	33.9%	6.4%	22.2%	6.4%	28.7%	7.6%	14.6%	6.4%	5.8%	6.4%	9.9%
岡村地域 (n=84)	17.9%	10.7%	10.7%	3.6%	13.1%	3.6%	7.1%	19.0%	33.3%	38.1%	4.8%	16.7%	7.1%	44.0%	11.9%	16.7%	7.1%	4.8%	11.9%	13.1%
磯子地域 (n=308)	12.0%	11.4%	11.0%	8.1%	14.6%	6.5%	17.5%	17.2%	25.3%	26.3%	8.8%	23.4%	7.1%	39.6%	11.0%	14.6%	9.7%	7.8%	7.8%	13.6%
汐見台地域 (n=77)	13.0%	15.6%	2.6%	6.5%	20.8%	11.7%	13.0%	19.5%	26.0%	24.7%	3.9%	29.9%	10.4%	35.1%	11.7%	9.1%	11.7%	9.1%	9.1%	14.3%
屏風ヶ浦地域 (n=263)	9.1%	17.1%	15.6%	7.6%	12.9%	9.5%	9.5%	17.9%	28.5%	28.1%	6.8%	24.7%	7.6%	33.5%	11.8%	10.3%	8.4%	7.6%	9.5%	18.3%
杉田地域 (n=268)	11.2%	17.9%	17.5%	4.5%	12.3%	6.3%	10.1%	22.8%	28.4%	27.6%	10.4%	21.3%	6.7%	39.9%	11.6%	14.2%	7.1%	8.2%	5.6%	9.0%
上笹下地域 (n=158)	19.0%	9.5%	11.4%	5.7%	15.8%	8.9%	10.8%	19.0%	22.8%	25.3%	3.8%	22.8%	8.2%	38.6%	12.7%	17.1%	6.3%	8.2%	9.5%	15.8%
洋光台地域 (n=302)	8.6%	4.3%	11.6%	4.0%	13.2%	10.9%	12.3%	22.2%	27.5%	30.8%	6.0%	22.2%	7.0%	38.1%	13.9%	10.6%	13.2%	9.6%	8.6%	20.5%
合計 (n=1,724)	11.9%	12.3%	13.0%	6.3%	14.4%	8.6%	12.5%	19.8%	27.3%	28.9%	6.9%	23.0%	7.4%	37.1%	11.5%	13.1%	9.1%	8.0%	8.3%	14.6%

最大値 平均値の1.5倍以上

- ・ 滝頭地域で「防犯対策」が最も多く、根岸地域では「災害対策」と「高齢者福祉」が同率である。それ以外の地域では「高齢者福祉」が最も多くなっている。
- ・ 項目別に磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高く(平均値の 1.5 倍以上)現れているのは、次のとおりである。

根岸地域の「公園の管理、整備」「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」

滝頭地域の「バスの便などの地域交通」「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」

岡村地域、上笹下地域の「バスの便などの地域交通」

杉田地域の「食品衛生・環境衛生の監視・指導」

(4) 満足度と以前との比較

20 の生活環境評価項目及び「お住まいの周辺の総合的な環境」についての、満足度と以前との比較をそれぞれ得点化し(注)、比較を行った。

注) 満足度については、回答に「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点を、以前との比較については、回答に「よくなった」1点、「変わらない」0点、「悪くなった」-1点を加算し、加重平均した。「分からない」「無回答」は含まない。(すなわち、「満足」か「不満」か、「よくなった」か、「悪くなった」かを判断した人のなかでの評価の位置を示している。)

また、20 の生活環境評価項目を次の7分野に区分し、分野ごとのまとめりでも評価結果を考察した。

道路・交通 (ハード整備)

「バスの便などの地域交通」

「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」

「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」

商業・経済

「商店街の振興」

「経済的に困っている人の保護」

緑化・水辺環境・ごみ分別(環境配慮)

「公園の管理、整備」

「区民が親しめる海辺・水辺環境の整備」

「緑の保全と緑化の推進」

「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」

防災・防犯

「災害対策」

「防犯対策」

保健・衛生

「食品衛生・環境衛生の監視・指導」

「感染症・生活習慣病など保健推進」

福祉関係

「子育て支援や青少年の健全育成」

「高齢者福祉」

「障害者福祉」

区民サービス

「地域活動支援」

「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」

「広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進」

「身近な住民窓口サービス」

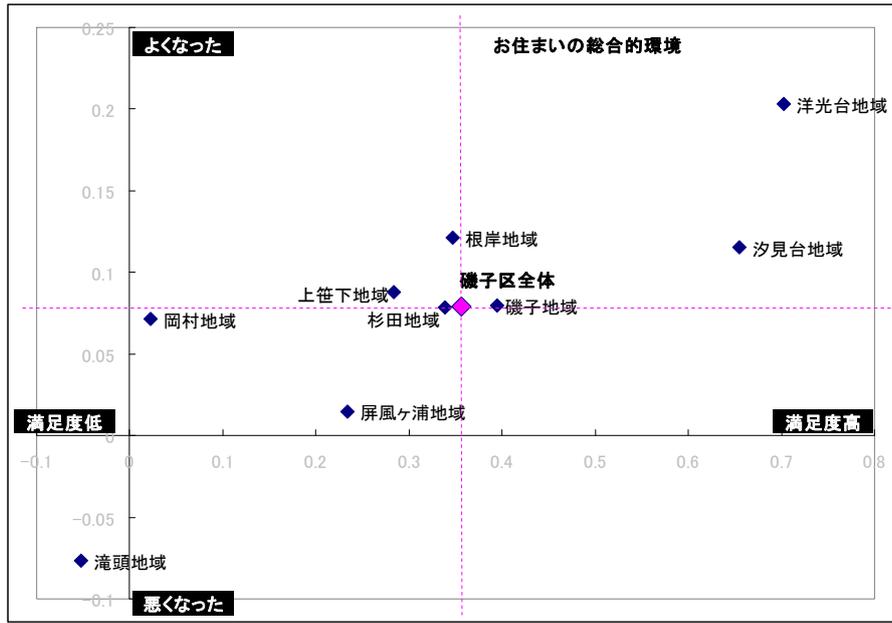
総合評価

「お住まいの周辺の総合的な環境」

参考＜「お住まいの周辺の総合的な環境」の満足度と以前との比較＞

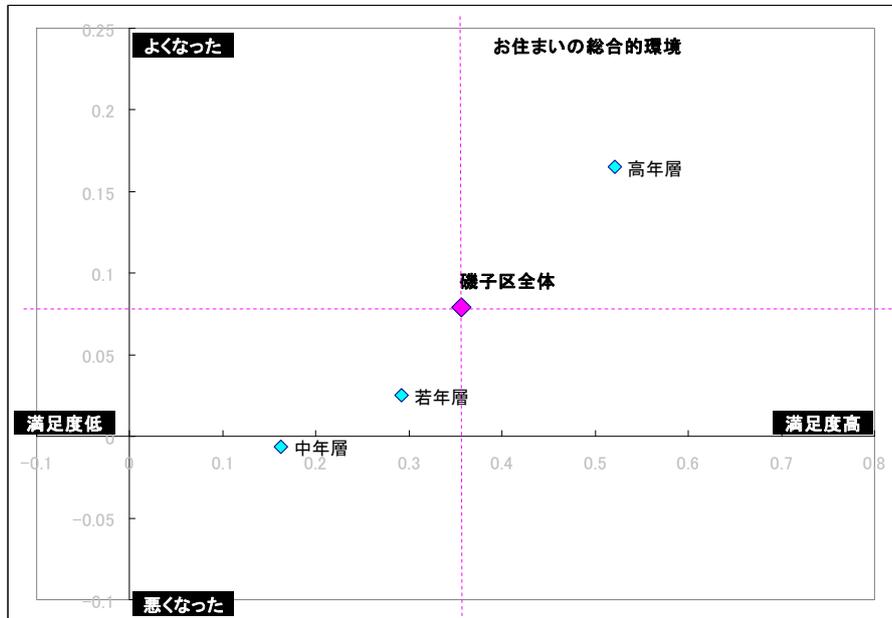
「お住まいの周辺の総合的な環境」について、地域別・年齢層別に満足度と以前との比較の関係をみた。

◆地域別



- ・ 滝頭地域で満足度が低く、以前との比較も「悪くなった」と評価されている。その他の地域ではいずれも満足度が高く、以前との比較も「よくなった」と評価されている。
- ・ 磯子区全体の平均と比較すると、満足度が高く、以前との比較も「よくなった」と評価されているのは、洋光台地域、汐見台地域であり、満足度が低く、以前との比較も「悪くなった」と評価されているのは、屏風ヶ浦地域、岡村地域、滝頭地域である。根岸地域、磯子地域、上笹下地域、杉田地域は概ね磯子区の平均に近づいている。

◆年齢層別



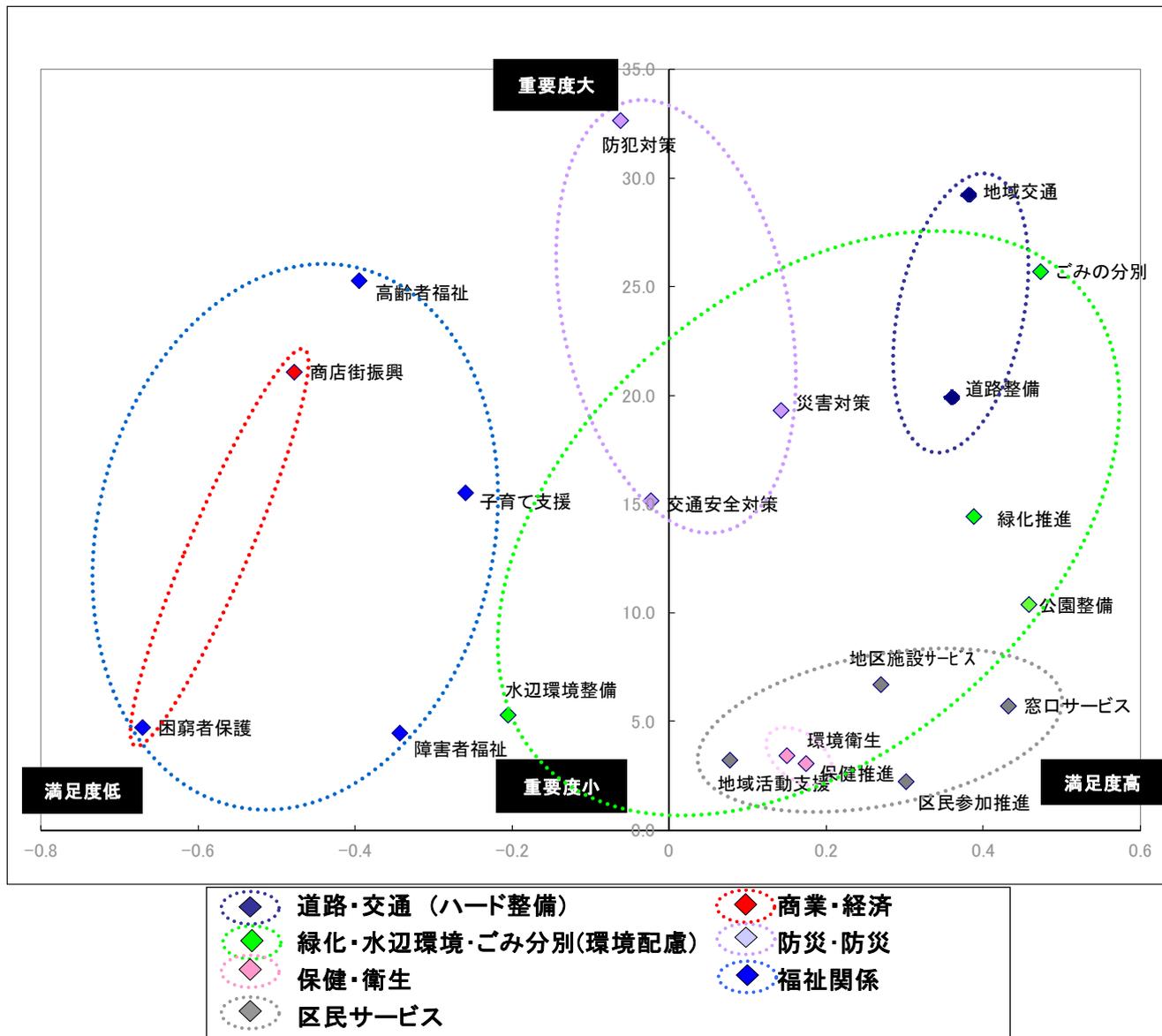
- ・ 中年層(40代、50代)で以前との比較が「悪くなった」と評価されているが、いずれの年齢層でも満足度は高い方に評価されている。
- ・ 磯子区全体の平均と比較すると、満足度が高く、以前との比較でも「よくなった」と評価されているのは高年層(60代、70歳以上)であり、満足度が低く、以前との比較も「悪くなった」と評価されているのは、若年層(20代、30代)、中年層であるが、中年層は若年層よりもその評価が厳しく現れている。

(5) 満足度と重要度

20 の生活環境評価項目について、満足度と重要度をそれぞれ得点化し(注)、比較を行った。

注)満足度については、回答に「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点を加算し、加重平均した。「わからない」「無回答」は含まない。(すなわち、「満足」か「不満」かを判断した人のなかでの評価の位置を示している。)重要度については、回答結果から無回答を除く構成比をプロットした。

20 の生活環境評価項目を7分野(P40 参照)に区分し、分野ごとのまとまりでも評価結果を考察した。



- ・ 重要度が高く、満足度が高い項目としては、「バスの便などの地域交通」「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「災害対策」が顕著である。
- ・ 重要度が高く、満足度が低い項目としては、「子育て支援や青少年の健全育成」「高齢者福祉」「商店街の振興」が顕著である。

分野ごとのまとまりでみると、

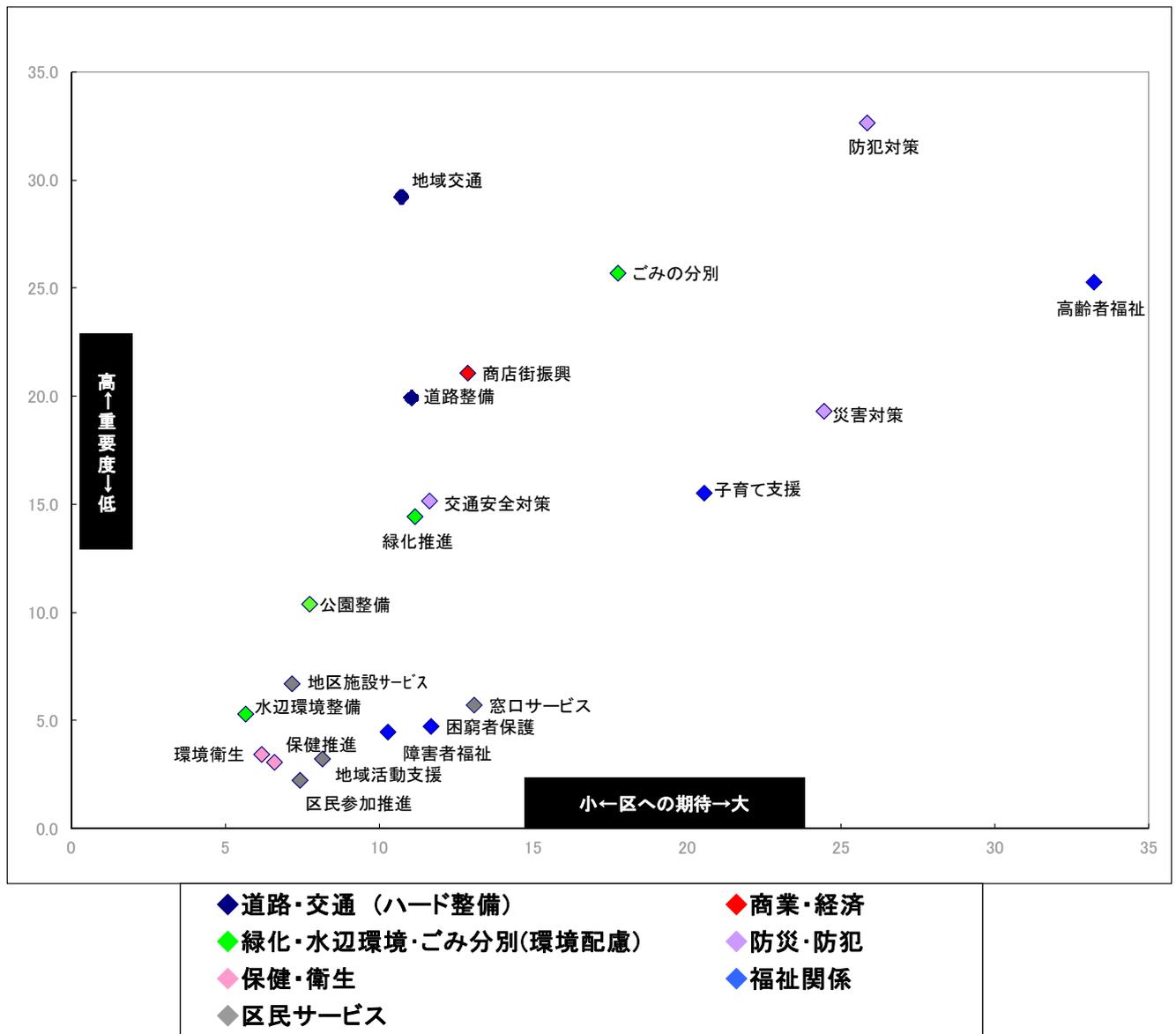
- ・ 「道路・交通(ハード整備)」水辺環境整備を除く「緑化・ゴミ分別(環境配慮)」は、重要度、満足度ともに高い傾向を示している。
- ・ 「防災・防犯」は、重要度は高いが満足度が中位に位置している。
- ・ 「区民サービス」「保健・衛生」は、重要度は低いが満足度が高い。
- ・ 「福祉関係」「商業・経済」は、満足度が低いが重要度は分散している。

(6)重要度と区役所への期待

20 の生活環境評価項目について、重要度と、区役所への期待を得点化(注)し、比較を行った。

注) 重要度と、区役所への期待(磯子区役所が取り組むべき課題として、重要度が高い項目)ともに、回答結果から無回答を除く構成比をプロットした。

20 の生活環境評価項目を7分野(P40 参照)に区分し、分野ごとのまとまりでも評価結果を考察した。

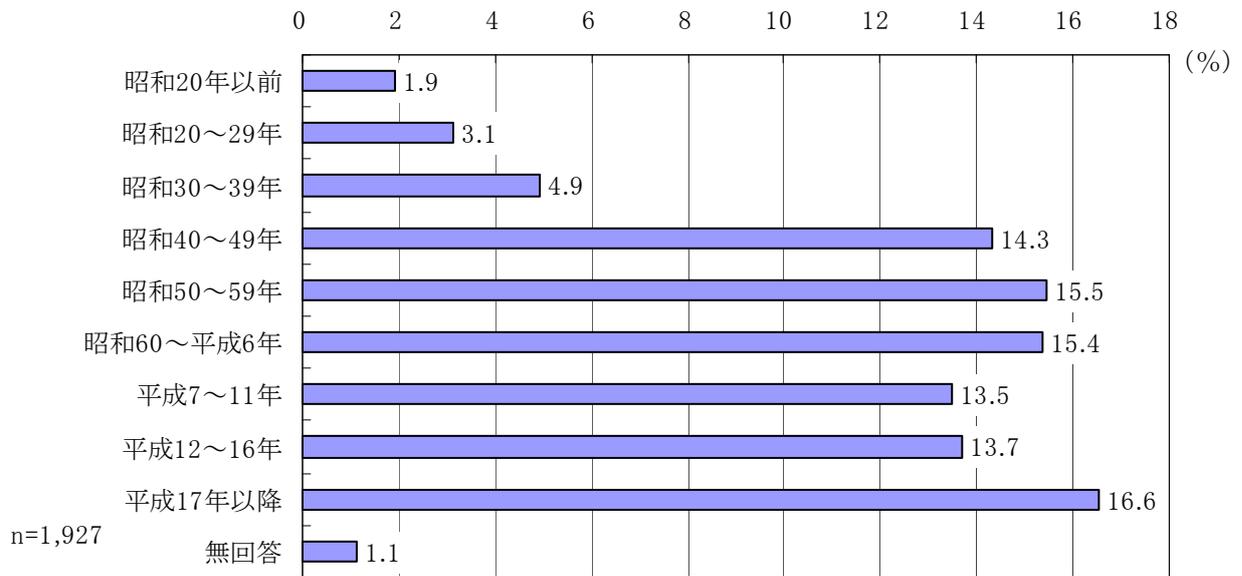


- ・ 重要度が高く、区役所への期待が高い項目としては、「防犯対策」、「災害対策」、「高齢者福祉」、「子育て支援や青少年の健全育成」、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が顕著である。
- ・ 満足度がとくに低かった「商店街の振興」については、重要度が 5 番目、区役所への期待も 6 番目と、比較的高くなっている。
- ・ 「身近な住民窓口サービス」や「地域活動支援」などの区民サービスに関する項目は、重要度も区役所への期待も低く表れている。

2. 居住地の移動について

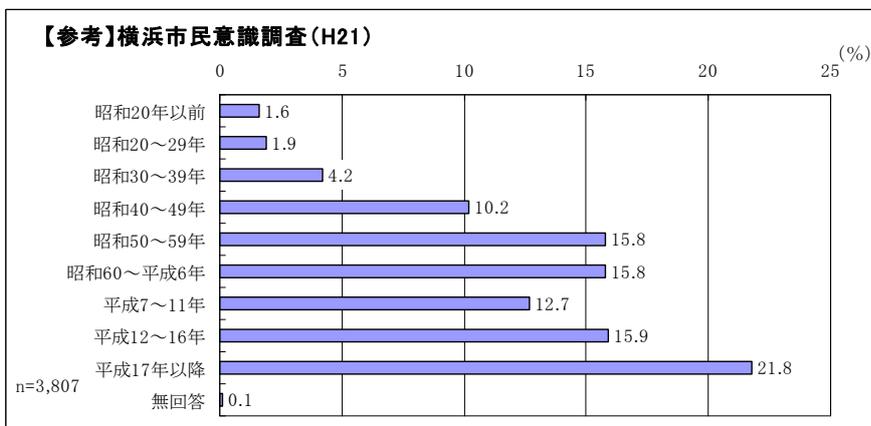
(1) 現住地居住年数

問4 あなたはいまのお住まいにいつごろから住んでいますか。



「平成 17 年以降」が最も多い。昭和 60 年以降に住み始めた人が全体の 6 割を占める。

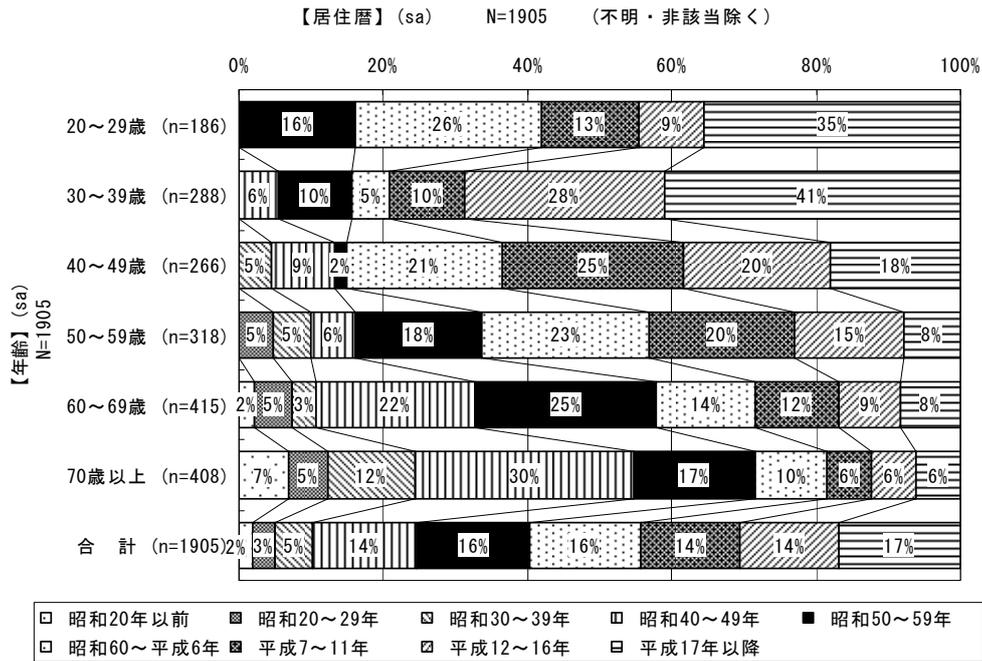
- 最も多いのは「平成 17 年以降」の 16.6% である。次いで「昭和 50～59 年」が 15.5%、「昭和 60～平成 6 年」が 15.4% となっている。以下、「昭和 40～49 年」(14.3%)、「平成 12～16 年」(13.7%)、「平成 7～11 年」(13.5%)、「昭和 30～39 年」(4.9%)、「昭和 20～29 年」(3.1%)、「昭和 20 年以前」(1.9%) の順となっており、昭和 60 年以降に住み始めた人が全体の 6 割を占め、昭和 39 年以前から住んでいる人は全体の 1 割弱である。



- 横浜市民意識調査と比較してみると、最も多いのは「平成 17 年以降」で、「昭和 50～59 年」「昭和 60～平成 6 年」にピークを迎えた後いったん減少し、近年再び増加しており、磯子区は横浜市と同様の傾向である。

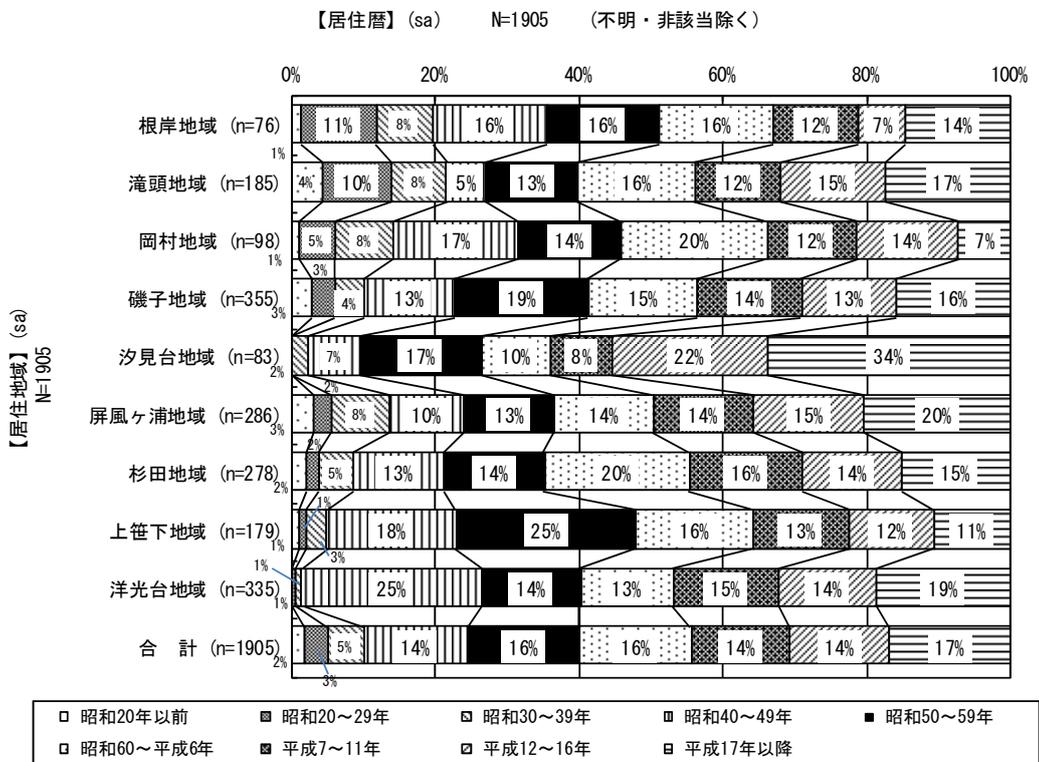
クロス集計

■ 年齢別 (問4 × F2)



- 20代、30代では「平成17年以降」、40代では「平成7~11年」、50代では「昭和60~平成6年」、60代では「昭和50~59年」、70歳以上では「昭和40~49年」が最も多くなっている。また30代では「平成12~16年」も多い。

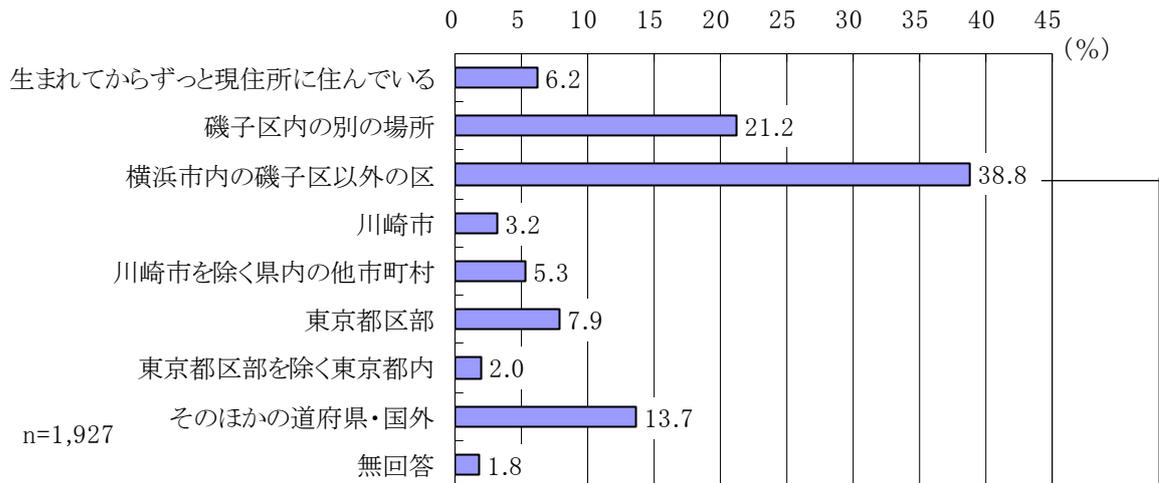
■ 居住地域別(問4 × F7)



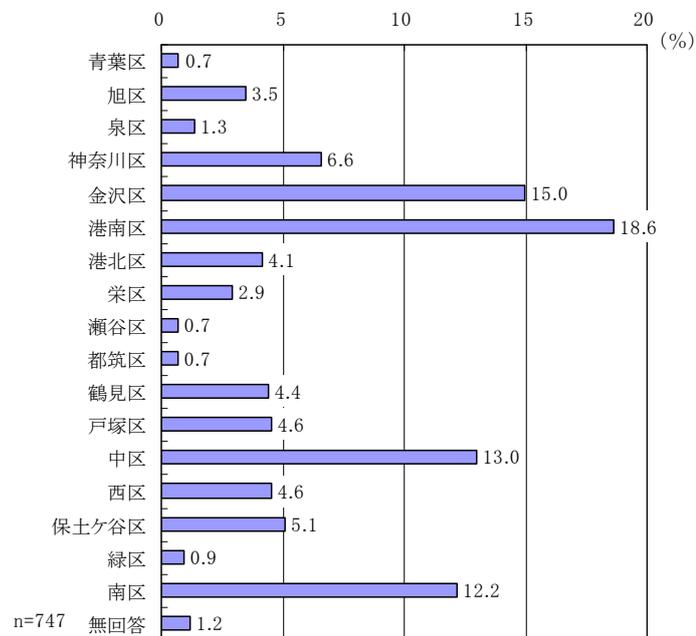
- 洋光台地域で「昭和40~49年」、上笹下地域と磯子地域で「昭和50~59年」、岡村地域と杉田地域で「昭和60~平成6年」が最も多く、根岸地域では「昭和40~49年」、「昭和50~59年」、「昭和60~平成6年」が拮抗している。滝頭・汐見台・屏風ヶ浦の各地域では「平成17年以降」が最も多い。汐見台地域では「平成12~16年」が最も多く、平成12年以降の居住が半数以上となっている。

(2)前住地

問5 あなたが現住所の前に住んでいたところはどちらですか。



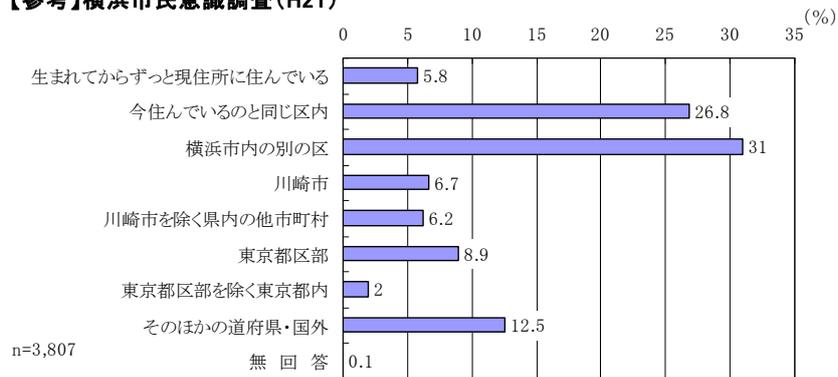
【内訳】横浜市内の磯子区以外の区



「横浜市内の磯子区以外の区」が最も多く、全体の4割弱。「横浜市内の磯子区以外の区」については、隣接している「港南区」が最も多く、次いで「金沢区」、「中区」、「南区」となっており、これら4区で6割弱を占める。

- ・ 「横浜市内の磯子区以外の区」が最も多く 38.8%と、全体の4割弱である。次いで「磯子区内の別の場所」が 21.2%となっている。以下「そのほかの道府県・国外」(13.7%)、「東京都区部」(7.9%)、「生まれてからずっと現住所に住んでいる」(6.2%)、「川崎市を除く県内の他市町村」(5.3%)、「川崎市」(3.2%)、「東京都区部を除く東京都内」(2.0%)の順である。
- ・ 「横浜市内の磯子区以外の区」については、隣接している「港南区」が最も多く 18.6%で、全体の2割弱となっている。次いで「金沢区」(15.0%)、「中区」(13.0%)、「南区」(12.2%)となっており、これら4区で6割弱を占めている。

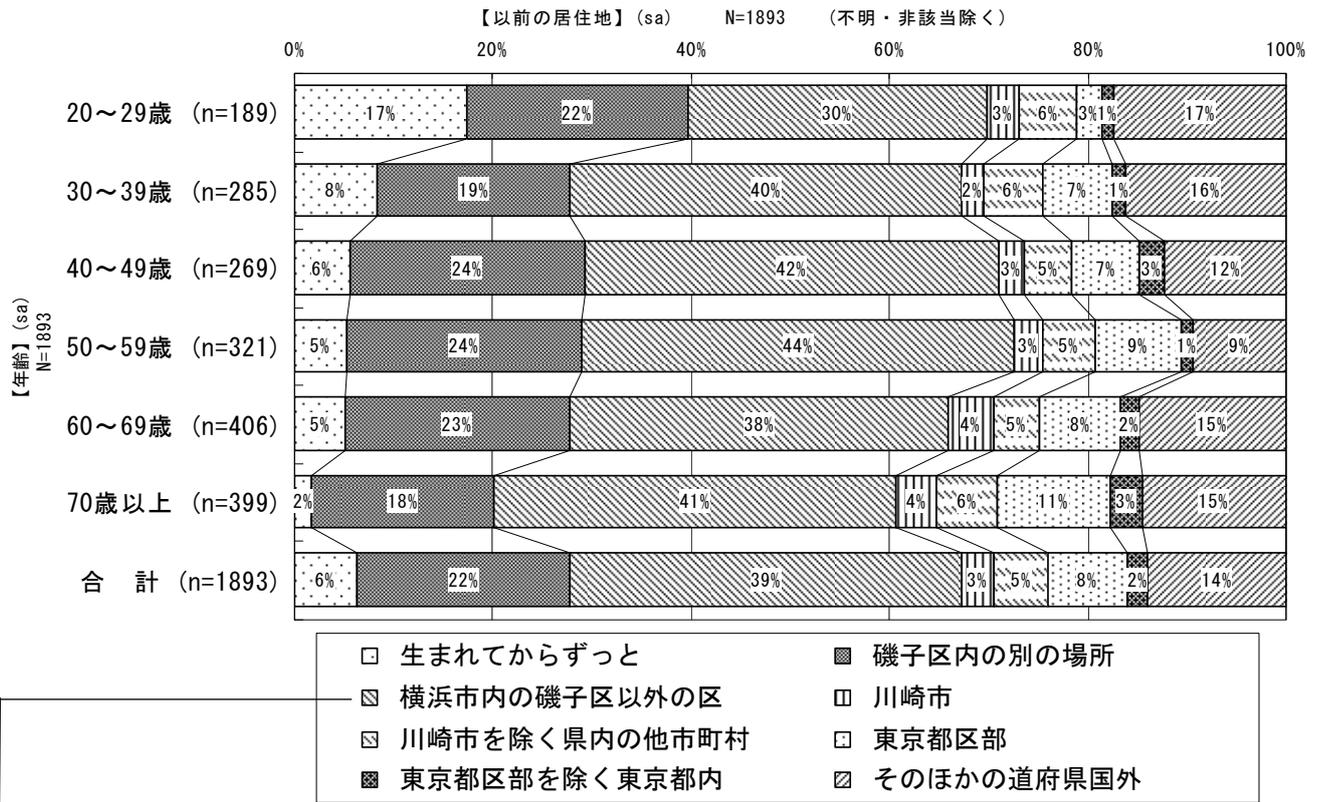
【参考】横浜市民意識調査(H21)



- 横浜市民意識調査と比較すると、最も多いのが「横浜市内の別の区」、次いで「今住んでいるのと同じ区内」となっているのはほぼ同様の傾向であるが、磯子区においては「川崎市」の割合がやや低い。

クロス集計

■ 年齢別 (問5× F2)

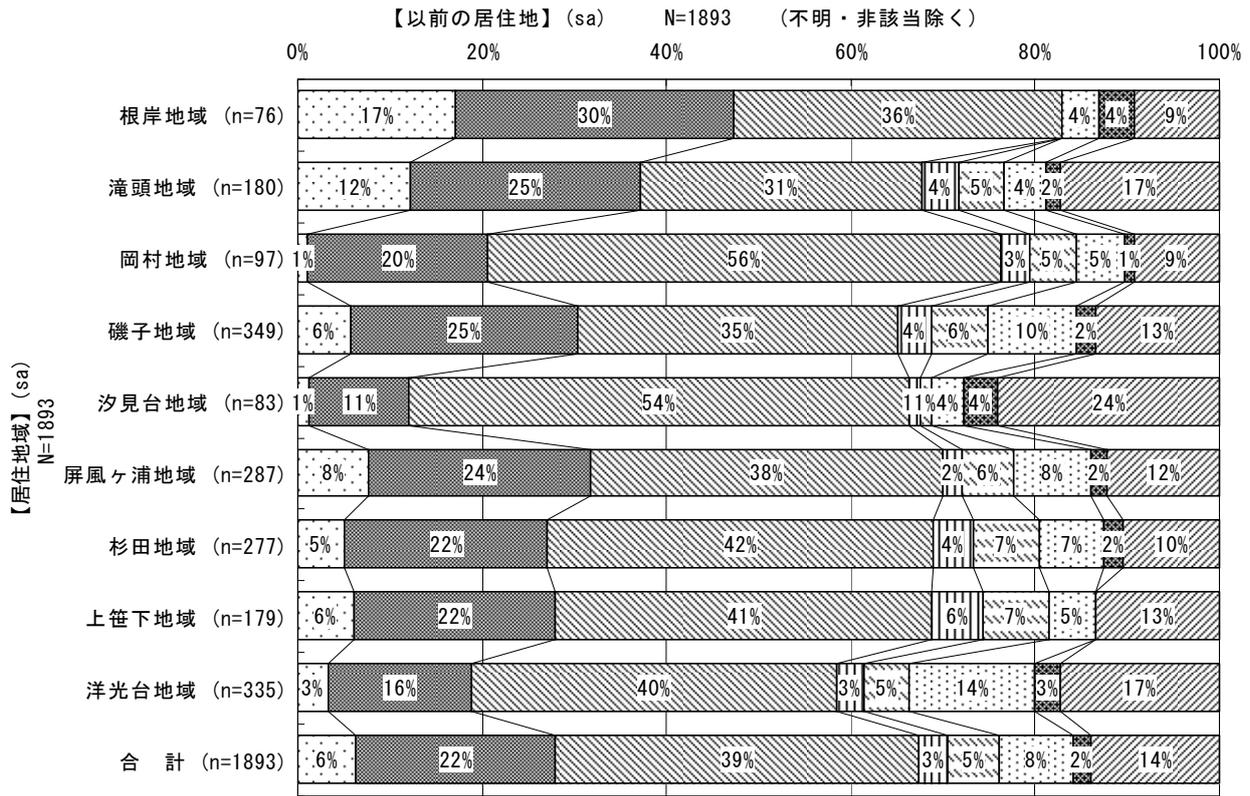


→【内訳】横浜市内の磯子区以外の区

	全体	青葉区	旭区	泉区	神奈川区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ谷区	緑区	南区	無回答	
全体	756	5	26	10	49	112	139	31	22	5	5	33	34	97	34	38	7	91	9	
	100	0.7	3.4	1.3	6.5	14.8	18.4	4.1	2.9	0.7	0.7	4.4	4.5	12.8	4.5	5.0	0.9	12.0	1.2	
F2 年齢																				
20～29歳	57	3.5	7.0	1.8	3.5	19.3	21.1	1.8	3.5	1.8	1.8	3.5	0.0	8.8	5.3	7.0	0.0	10.5	0.0	
30～39歳	111	1.8	2.7	0.9	4.5	17.1	18.9	5.4	6.3	0.0	0.9	4.5	2.7	14.4	4.5	2.7	0.9	11.7	1.8	
40～49歳	111	0.0	2.7	0.0	2.7	16.2	26.1	4.5	0.9	0.0	1.8	1.8	6.3	15.3	1.8	3.6	0.9	15.3	0.9	
50～59歳	138	0.0	2.2	0.7	5.8	14.5	24.6	2.2	5.1	1.4	0.7	3.6	6.5	8.7	2.9	6.5	0.7	13.8	1.4	
60～69歳	154	0.6	5.2	1.3	7.8	15.6	16.9	5.2	1.3	0.6	0.0	4.5	3.2	10.4	6.5	4.5	2.6	13.6	0.6	
70歳以上	159	0.0	3.1	2.5	10.7	12.6	10.7	5.0	1.9	0.6	0.0	7.5	6.3	17.6	5.7	6.3	0.0	9.4	1.9	

- ・ 「生まれてからずっと」の割合は年齢が高くなるほど少なくなっており、「磯子区内の別の場所」を加えても「50～59歳」「60～69歳」で約3割、70歳以上では2割となっている。
- ・ 「東京都区部」からの転入は年齢が高くなるほど多くなっている。
- ・ 「横浜市内の磯子区以外の区」では、港南区、金沢区、中区、南区の順に多い。

■ 居住地域別（問5× F7）



生まれてからずっと
 横浜市内の磯子区以外の区
 川崎市
 東京都区部
 東京都区部を除く東京都内
 磯子区内の別の場所
 そのほかの道府県国外

→【内訳】横浜市内の磯子区以外の区

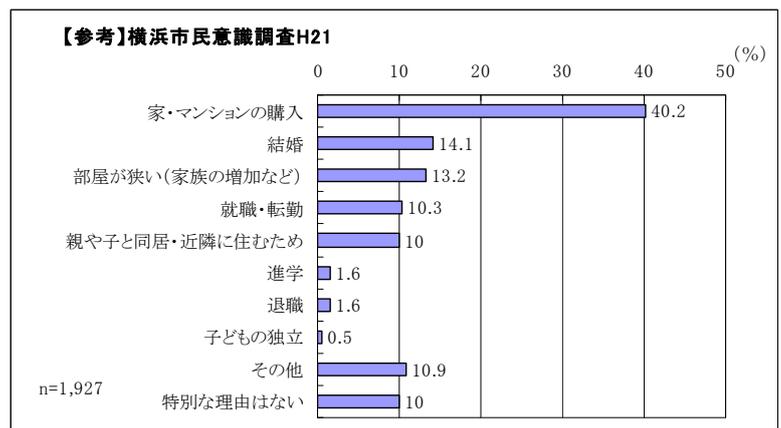
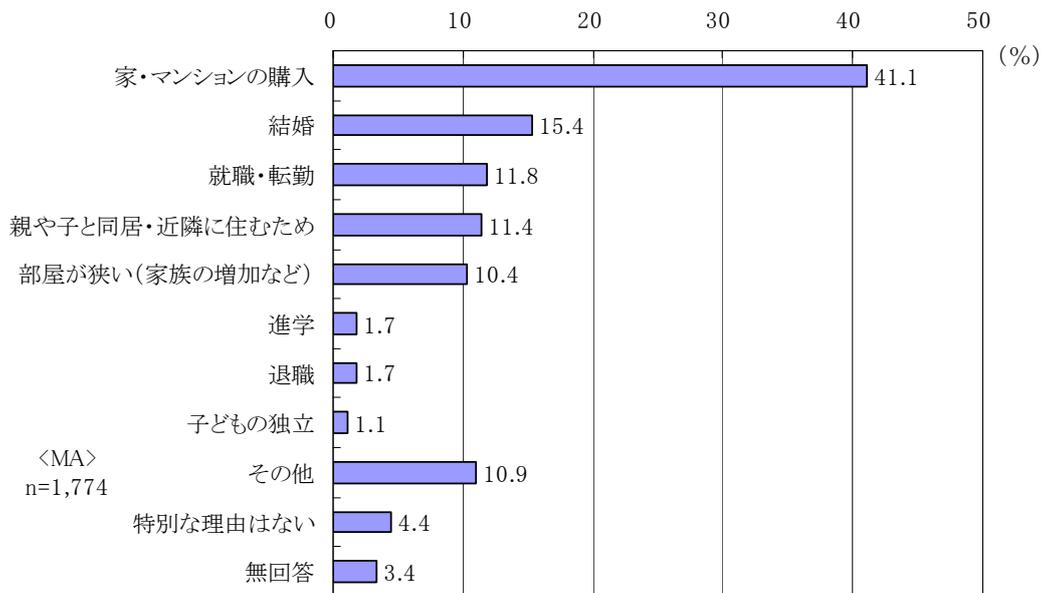
【問5で「横浜市内の磯子区以外の区」と回答した人のみ】

	全体	青葉区	旭区	泉区	神奈川 区	金沢区	港南区	港北区	栄区	瀬谷区	都筑区	鶴見区	戸塚区	中区	西区	保土ヶ 谷区	緑区	南区	無回答
全体	747	5	26	10	49	112	139	31	22	5	5	33	34	97	34	38	7	91	9
F7 居住地域	100	0.7	3.5	1.3	6.6	15.0	18.6	4.1	2.9	0.7	0.7	4.4	4.6	13.0	4.6	5.1	0.9	12.2	1.2
根岸地域	27	3.7	3.7	0.0	3.7	11.1	22.2	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	29.6	3.7	7.4	0.0	3.7	0.0
滝頭地域	55	1.8	5.5	0.0	0.0	5.5	9.1	3.6	1.8	1.8	0.0	5.5	3.6	16.4	3.6	3.6	0.0	38.2	0.0
岡村地域	54	0.0	0.0	1.9	9.3	14.8	11.1	5.6	3.7	1.9	0.0	3.7	0.0	11.1	5.6	5.6	1.9	22.2	1.9
磯子地域	121	0.8	2.5	0.8	6.6	12.4	16.5	2.5	0.8	1.7	0.8	7.4	3.3	17.4	5.0	7.4	0.0	10.7	3.3
汐見台地域	45	2.2	4.4	2.2	0.0	11.1	37.8	2.2	6.7	0.0	0.0	0.0	2.2	8.9	6.7	2.2	2.2	11.1	0.0
屏風ヶ浦地域	110	0.0	1.8	0.9	6.4	19.1	17.3	2.7	3.6	0.0	0.9	5.5	7.3	11.8	3.6	5.5	0.0	11.8	1.8
杉田地域	116	0.0	6.0	0.9	9.5	28.4	18.1	3.4	2.6	0.0	0.9	0.9	5.2	9.5	2.6	2.6	1.7	6.9	0.9
上笹下地域	73	1.4	2.7	1.4	8.2	20.5	20.5	1.4	4.1	0.0	1.4	5.5	4.1	11.0	5.5	5.5	1.4	5.5	0.0
洋光台地域	133	0.0	3.8	3.0	7.5	6.0	22.6	9.0	3.8	0.8	0.0	4.5	6.0	11.3	4.5	5.3	1.5	9.8	0.8
無回答	13	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	15.4	7.7	15.4	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0

- どの地域も「横浜市内の磯子区以外の区」が最も多い。また、汐見台地域では「その他の道府県・国外」が他に比べて高い数値となっているほか、根岸地域では「生まれてからずっと現住所に住んでいる」の数値がやや高い。
- 「横浜市内の磯子区以外の区」については、根岸・磯子地域では「中区」、滝頭・岡村地域では「南区」、汐見台・洋光台地域では「港南区」、屏風ヶ浦・杉田地域では「金沢区」が最も多く、上笹下地域では「港南区」「金沢区」が同率でなっており、それぞれの地域と隣接した区からの転入が多くなっている。

(3) 前住地からの移転のきっかけ(「ずっと現住所」以外の人)

問5-1 あなたが、直前にお住まいの場所から移転したきっかけは何ですか。(複数回答)

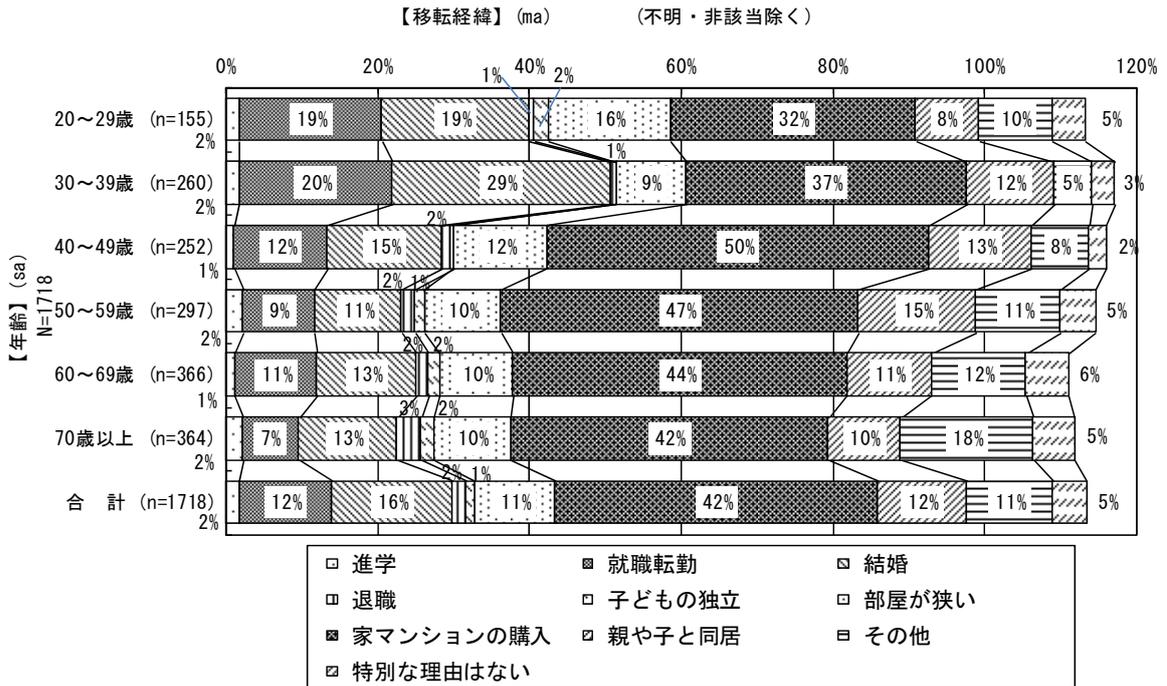


「家・マンションの購入」が最も多く、4割強の人が挙げている。

- ・ 「家・マンションの購入」が 41.1%で最も多く、4割強の人が挙げている。次いで「結婚」(15.4%)、「就職・転勤」(11.8%)、「親や子と同居・近隣に住むため」(11.4%)、「その他」(10.9%)、「部屋が狭い(家族の増加など)」(10.4%)、「進学」「退職」(共に 1.7%)、「子どもの独立」(1.1%)の順となっている。「特別な理由はない」は 4.4%である。
- ・ 横浜市民意識調査においても、同様に「家・マンションの購入」が最も多く、次いで「結婚」となっている。但し、その次に「部屋が狭い(家族の増加など)」、「就職・転勤」、「親や子と同居・近隣に住むため」と続いており、磯子区よりも部屋の狭さをきっかけとして挙げる率が高くなっている。

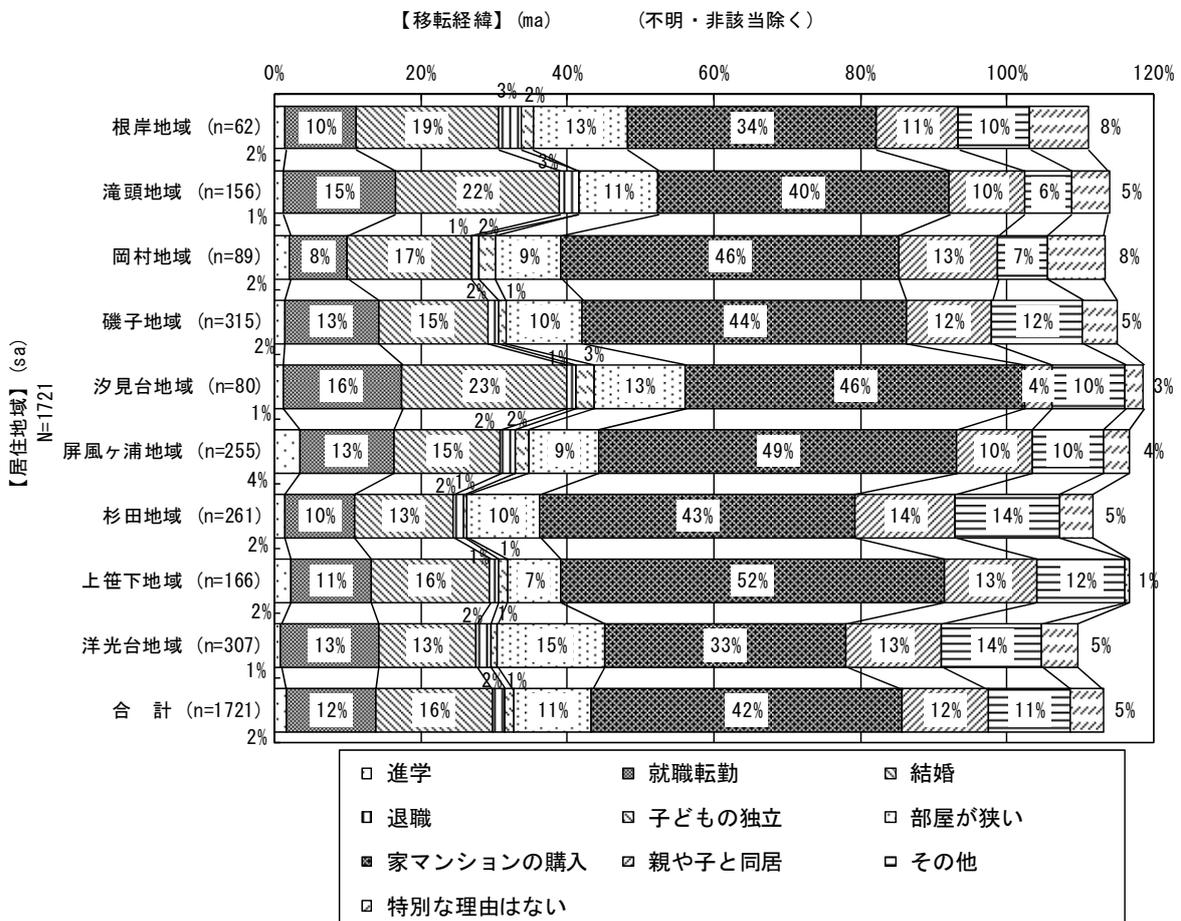
クロス集計

■ 年齢別(問5-1 × F2)



- ・ いずれの世代も「家・マンションの購入」が最も多くなっている。また 30代では他に比べて「結婚」の数値が他世代に比べて高くなっている。

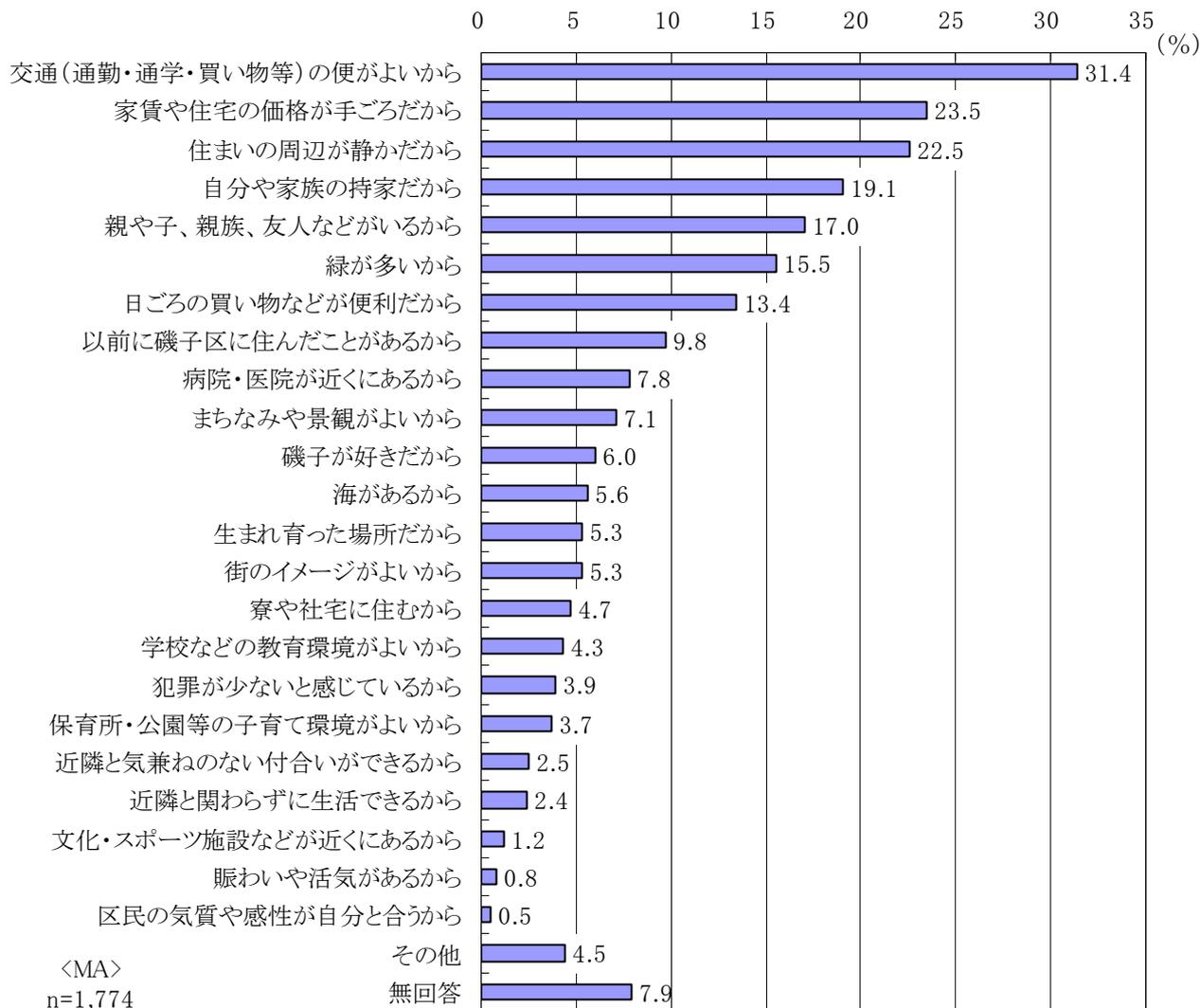
■ 居住地域別(問5-1 × F7)



- ・ いずれの地域でも「家・マンションの購入」が最も多くなっている。

(4) 現住所を選んだ理由(「ずっと現住所」以外の人)

問5-2 あなたが、移転先として現住所を選んだ理由は何ですか。(複数回答)



「交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから」が最も多く全体の3割強の人が挙げている。次いで「家賃や住宅の価格が手ごろだから」、「住まいの周辺が静かだから」、「自分や家族の持家だから」が2割前後である。

- ・ 「交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから」が最も多く31.4%と、全体の3割強の人が挙げている。
- ・ 次いで「家賃や住宅の価格が手ごろだから」が23.5%、「住まいの周辺が静かだから」が22.5%で2割強である。
- ・ 「自分や家族の持家だから」(19.1%)、「親や子、親族、友人などがいるから」(17.0%)、「緑が多いから」(15.5%)、「日ごろの買い物などが便利だから」(13.4%)が1割を超えている。そのほかの項目は1割未満であった。

【参考】横浜市民意識調査（H21）との比較

磯子区民意識調査		横浜市民意識調査(H21)	
交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから	31.4	交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから	38.2
家賃や住宅の価格が手ごろだから	23.5	家賃や住宅の価格が手ごろだから	23.9
住まいの周辺が静かだから	22.5	住まいの周辺が静かだから	21.7
自分や家族の持家だから	19.1	自分や家族の持家だから	19.4
親や子、親族、友人などがあるから	17.0	自然環境が身近にあるから	18.9
緑が多いから	15.5	横浜が好きだから	17.6
日ごろの買い物などが便利だから	13.4	親や子、親族、友人などがあるから	16.3
以前に磯子区に住んだことがあるから	9.8	日ごろの買い物などが便利だから	14.2
病院・医院が近くにあるから	7.8	病院・医院が近くにあるから	8.9
まちなみや景観がよいから	7.1	街のイメージがよいから	8.3
磯子が好きだから	6.0	まちなみや景観がよいから	8.0
海があるから	5.6	その他	7.2
生まれ育った場所だから	5.3	学校などの教育環境がよいから	6.7
街のイメージがよいから	5.3	保育所・公園等の子育て環境がよいから	5.4
寮や社宅に住むから	4.7	生まれ育った場所だから	5.3
学校などの教育環境がよいから	4.3	寮や社宅に住むから	3.7
犯罪が少ないと感じているから	3.9	犯罪が少ないと感じているから	2.6
保育所・公園等の子育て環境がよいから	3.7	文化・スポーツ施設などが近くにあるから	1.8
近隣と気兼ねのない付き合いができるから	2.5	市民の気質や感性が自分と合うから	1.5
近隣と関わらずに生活できるから	2.4	賑わいや活気があるから	1.4
文化・スポーツ施設などが近くにあるから	1.2	無回答	0.9
賑わいや活気があるから	0.8	注) 網掛けは区単独の選択肢	
区民の気質や感性が自分と合うから	0.5		
その他	4.5		
無回答	7.9		

- 横浜市民意識調査と比較すると、「交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから」、「家賃や住宅の価格が手ごろだから」、「住まいの周辺が静かだから」、「自分や家族の持家だから」が上位4項目に来ている点では同様の傾向となっている。一方、「横浜が好きだから」は2割近くで6位となっているが、「磯子が好きだから」は6.0%で11位と、やや数値が低い。

クロス集計

■ 居住地域別（問5-2×F7）

	生まれ育った場所だから	以前住んだことがあるから	自分や家族の持家だから	寮や社宅に住むから	親や子親族友人などがいるから	家賃や住宅の価格が手ごろ	交通の便がよいから	買い物などが便利だから	子育て環境がよいから	教育環境がよいから	文化スポーツ施設が近い	病院医院が近くにある
根岸地域 (n=59)	13.6%	13.6%	35.6%	3.4%	35.6%	8.5%	44.1%	11.9%	3.4%	1.7%	0.0%	5.1%
滝頭地域 (n=148)	7.4%	15.5%	25.0%	9.5%	21.6%	20.9%	18.9%	8.8%	2.7%	1.4%	0.0%	4.7%
岡村地域 (n=88)	4.5%	11.4%	26.1%	1.1%	14.8%	33.0%	17.0%	5.7%	2.3%	6.8%	0.0%	9.1%
磯子地域 (n=299)	6.7%	12.7%	20.4%	5.4%	17.1%	20.4%	29.8%	12.4%	4.7%	5.4%	2.3%	8.4%
汐見台地域 (n=77)	6.5%	10.4%	9.1%	24.7%	11.7%	29.9%	19.5%	9.1%	7.8%	10.4%	0.0%	29.9%
屏風ヶ浦地域 (n=251)	6.8%	10.8%	21.1%	3.2%	17.9%	27.9%	53.0%	21.1%	4.0%	3.6%	1.2%	10.8%
杉田地域 (n=246)	3.7%	7.7%	17.9%	3.3%	17.1%	25.2%	41.5%	21.1%	2.4%	4.9%	2.4%	5.3%
上笹下地域 (n=155)	5.2%	12.3%	23.2%	2.6%	16.8%	32.9%	17.4%	4.5%	3.2%	3.9%	1.3%	2.6%
洋光台地域 (n=291)	4.1%	6.9%	17.9%	3.4%	20.6%	27.5%	40.9%	18.6%	5.8%	5.8%	0.7%	8.9%
合 計 (n=1641)	5.7%	10.5%	20.6%	5.1%	18.4%	25.4%	33.9%	14.5%	4.0%	4.7%	1.3%	8.4%
	住まいの周辺が静かだから	海があるから	緑が多いから	まちなみや景観がよいから	賑わいや活気があるから	犯罪が少ないと感じているから	街のイメージがよいから	磯子が好きだから	気質や感性が自分と合うから	気兼ねのない付き合いができる	近隣と関わらずに生活できる	その他
根岸地域 (n=59)	6.8%	3.4%	3.4%	0.0%	0.0%	1.7%	1.7%	6.8%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
滝頭地域 (n=148)	17.6%	4.1%	10.1%	4.7%	0.7%	2.7%	1.4%	8.1%	0.7%	3.4%	1.4%	7.4%
岡村地域 (n=88)	28.4%	1.1%	20.5%	4.5%	0.0%	1.1%	2.3%	4.5%	0.0%	5.7%	2.3%	1.1%
磯子地域 (n=299)	26.1%	11.0%	17.1%	11.4%	1.3%	7.7%	6.7%	11.4%	0.7%	2.3%	3.3%	5.4%
汐見台地域 (n=77)	36.4%	2.6%	46.8%	20.8%	1.3%	7.8%	3.9%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%	10.4%
屏風ヶ浦地域 (n=251)	18.7%	9.2%	9.2%	5.6%	1.6%	4.4%	4.4%	9.2%	0.8%	3.6%	2.4%	2.0%
杉田地域 (n=246)	24.4%	6.9%	14.6%	5.3%	1.6%	3.3%	4.1%	5.7%	0.4%	2.8%	2.0%	5.3%
上笹下地域 (n=155)	32.3%	3.2%	25.2%	3.9%	0.0%	3.2%	1.3%	1.9%	0.6%	1.3%	3.9%	5.8%
洋光台地域 (n=291)	27.1%	3.4%	18.2%	11.0%	0.0%	3.8%	14.4%	3.8%	0.7%	2.1%	3.1%	5.2%
合 計 (n=1641)	24.4%	6.1%	16.8%	7.7%	0.9%	4.3%	5.7%	6.5%	0.5%	2.7%	2.6%	4.8%

数値

地域別第一要因

数値

要因別にみた割合の高い(平均の1.5倍以上)地域

- ・ 根岸、磯子、屏風ヶ浦、杉田、洋光台の各地域では「交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから」、滝頭地域では「自分や家族の持家だから」、岡村、上笹下の両地域では「家賃や住宅の価格が手ごろだから」、汐見台地域では「緑が多いから」がそれぞれ最も多くなっており、地域による特徴がみられた。
- ・ 要因別に割合が高く現れている(平均値の1.5倍以上)のは、次のとおりである。

根岸地域の「生まれ育った場所だから」「親や子、親族、友人などがいるから」

滝頭地域の「寮や社宅に住むから」

岡村地域の「近隣と気兼ねのない付き合いができるから」

磯子地域の「文化・スポーツ施設などが近くにあるから」「海があるから」「犯罪が少ないと感じているから」「磯子が好きだから」

汐見台地域の「寮や社宅に住むから」「保育所・公園等の子育て環境がよいから」「学校などの教育環境がよいから」「病院・医院が近くにあるから」「まちなみや景観がよいから」「犯罪が少ないと感じているから」

屏風ヶ浦地域の「海があるから」「賑わいや活気があるから」

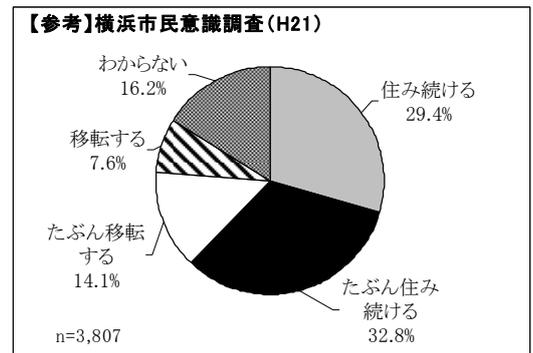
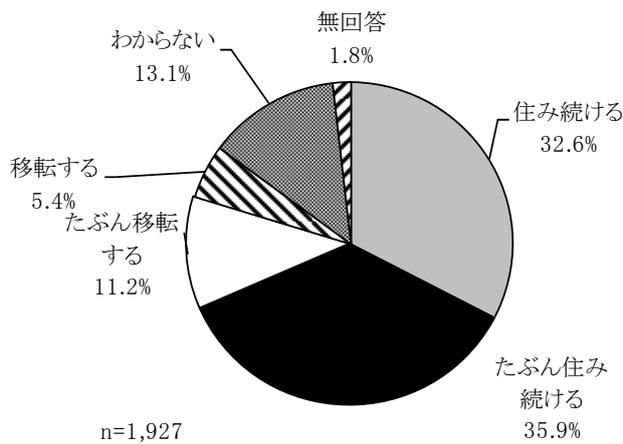
杉田地域の「文化・スポーツ施設などが近くにあるから」「賑わいや活気があるから」

上笹下地域の「緑が多いから」「近隣と関わらずに生活できるから」

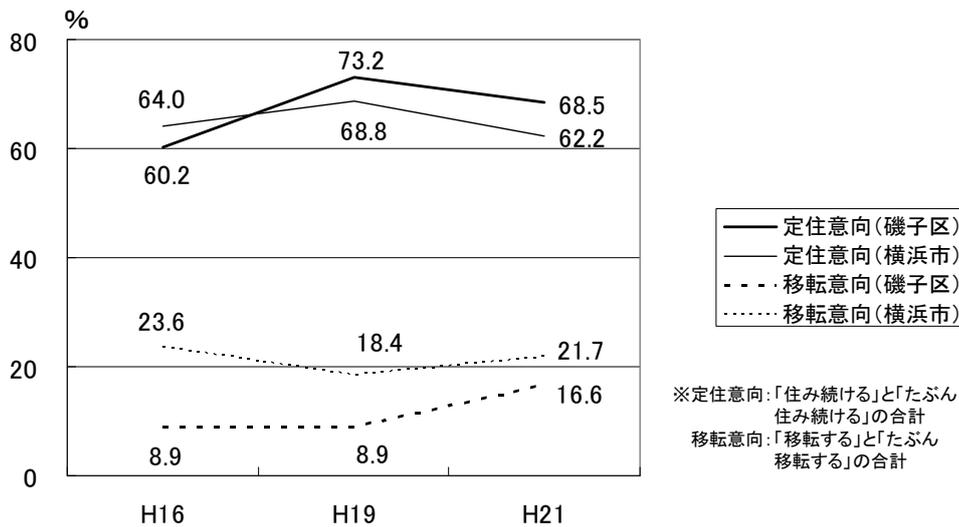
洋光台地域の「街のイメージがよいから」

(5) 定住意向

問6 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。



【参考】横浜市民意識調査との経年比較



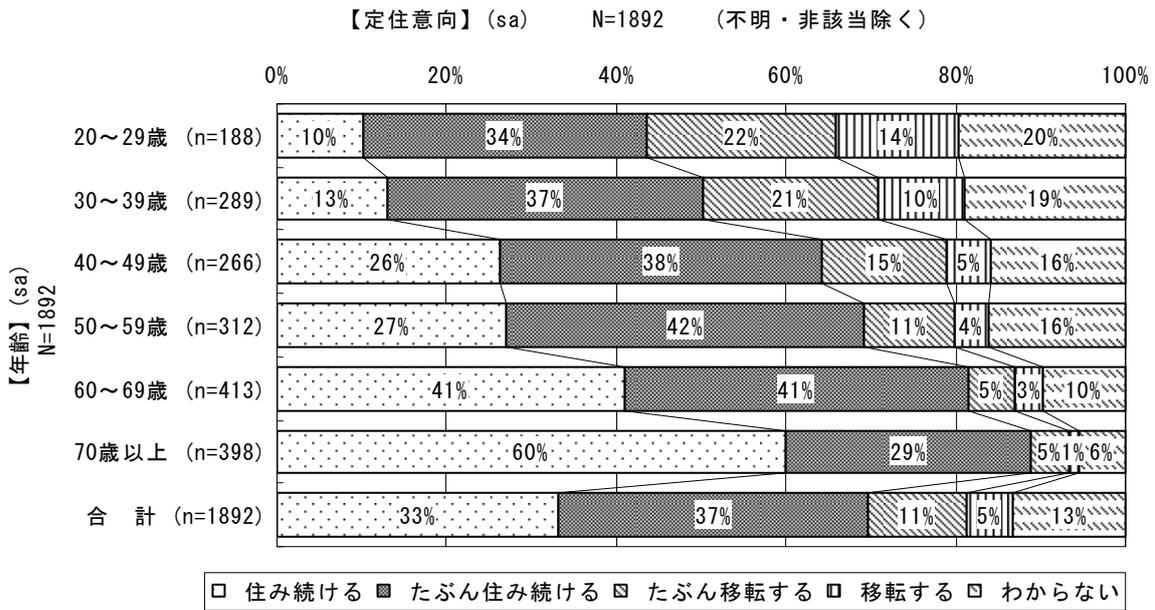
「たぶん住み続ける」が最も多く、次いで「住み続ける」となっており、磯子区への定住意向を持っている人が7割弱を占める。

磯子区は横浜市全体よりも定住意向が高く、移転意向が低い。

- 「たぶん住み続ける」が最も多く 35.9%、次いで「住み続ける」が 32.6%と、磯子区への定住意向を持っている人が7割弱を占める。以下「わからない」(13.1%)、「たぶん移転する」(11.2%)、「移転する」(5.4%)となっており、移転意向は2割に満たない。
- 横浜市民意識調査では、定住意向が6割強、移転意向が2割強となっており、磯子区は横浜市全体よりも定住意向が高く、移転意向が低くなっている。
- 過去の定住意向を区調査と市調査と比較してみると、定住意向では近年磯子区は横浜市全体を上回っており、かつ、移転意向では磯子区は横浜市全体を大きく下回っている。

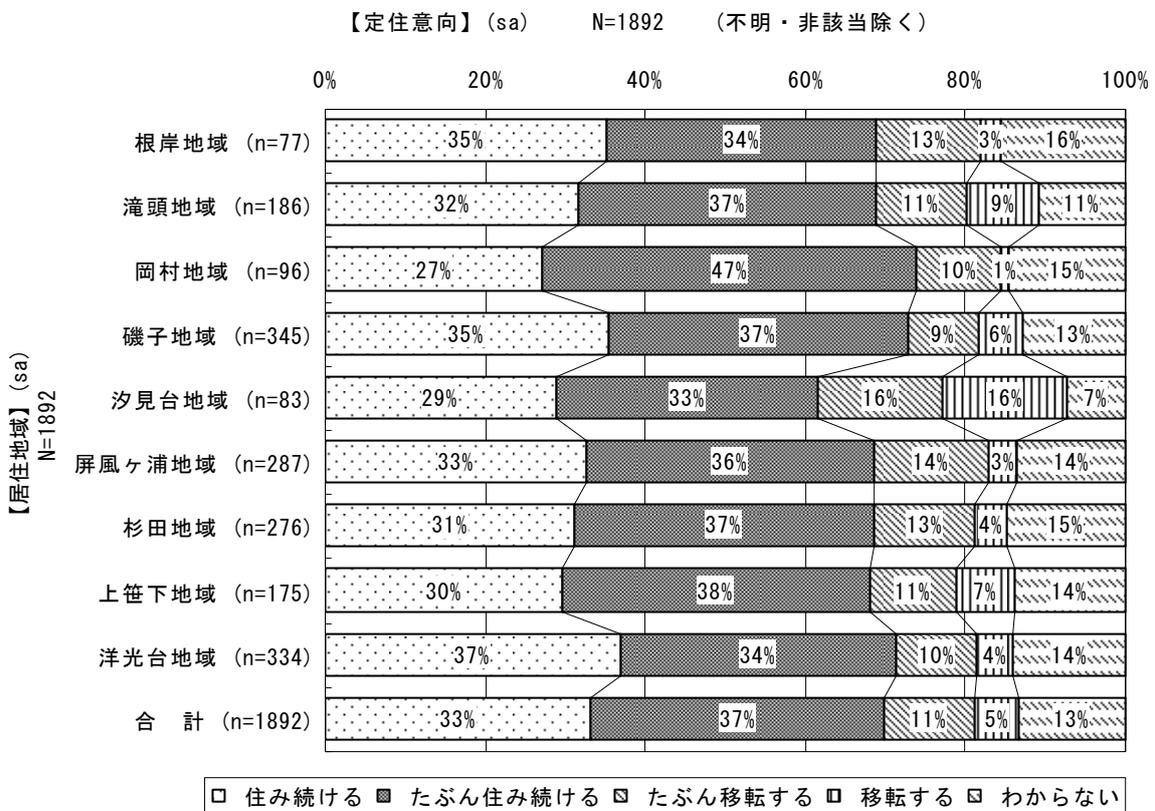
クロス集計

■ 年齢別 (問6× F2)



- 20代から50代までの世代では「たぶん住み続ける」が最も多く、60代では「住み続ける」と「たぶん住み続ける」が同率、70歳以上では「住み続ける」が最も多く、年齢が高いほど定住意向は強い。また、20代、30代では「たぶん移転する」、「移転する」の割合が他に比べて高い。

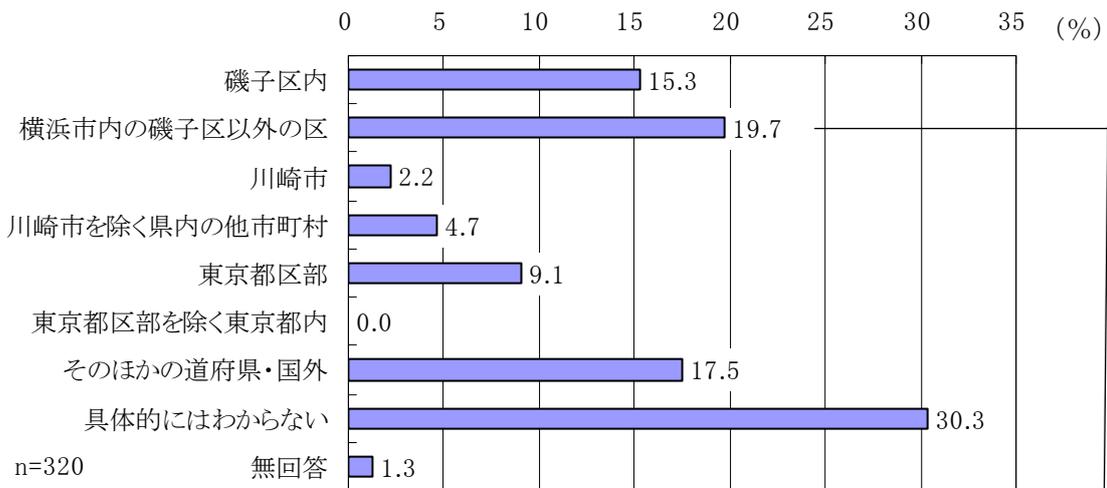
■ 居住地域別 (問6× F7)



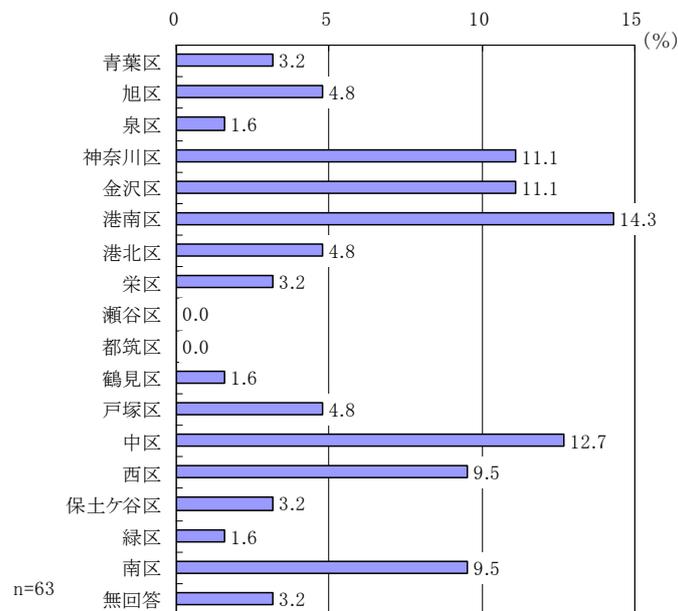
- 根岸地域と洋光台地域で「住み続ける」が、それ以外の地域では「たぶん住み続ける」が最も多くなっている。また、汐見台地域で「移転する」の割合が他に比べてやや高い。

(6) 希望する移転先(移転意向の人)

問6-1 現実の問題は別として、次の移転先としては、磯子区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。



【内訳】横浜市内の磯子区以外の区

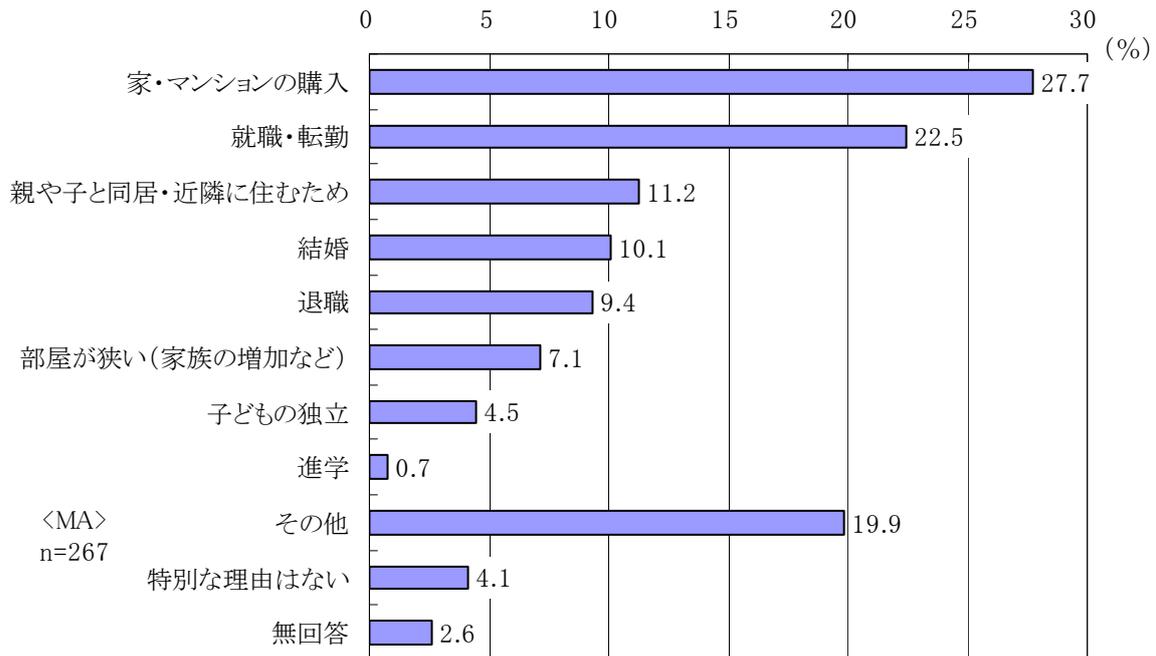


最も多いのは「具体的にはわからない」で全体の約3割。具体的に地名が上がった中では「横浜市内の磯子区以外の区」が全体の約2割であり、港南区、中区をはじめとする隣接区への希望が多い。

- ・ 転出を希望する人に希望の移転先を聞いたところ、最も多かったのは「具体的にはわからない」の30.3%で全体の約3割、具体的に地名が上がった中で最も多かったのは「横浜市内の磯子区以外の区」の19.7%で全体の約2割である。以下「そのほかの道府県・国外」(17.5%)、「磯子区内」(15.3%)、「東京都区部」(9.1%)、「川崎市を除く県内の他市町村」(4.7%)、「川崎市」(2.2%)の順となっている。
- ・ また「横浜市内の磯子区以外の区」を選んだ人に具体的な区名を尋ねたところ、最も多かったのは「港南区」(14.3%)、次いで「中区」(12.7%)、「神奈川区」「金沢区」(共に11.1%)、「西区」「南区」(共に9.5%)などの順となっている。

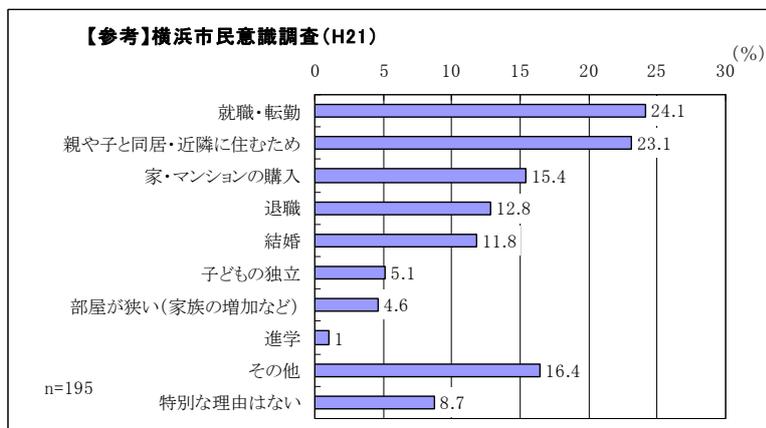
(7) 磯子区から移転するきっかけ(区外への移転意向の人)

問6-2 あなたが磯子区から移転する場合、そのきっかけは何ですか。(複数回答)



最も多いのは「家・マンションの購入」で、全体の3割近くが理由として挙げている。

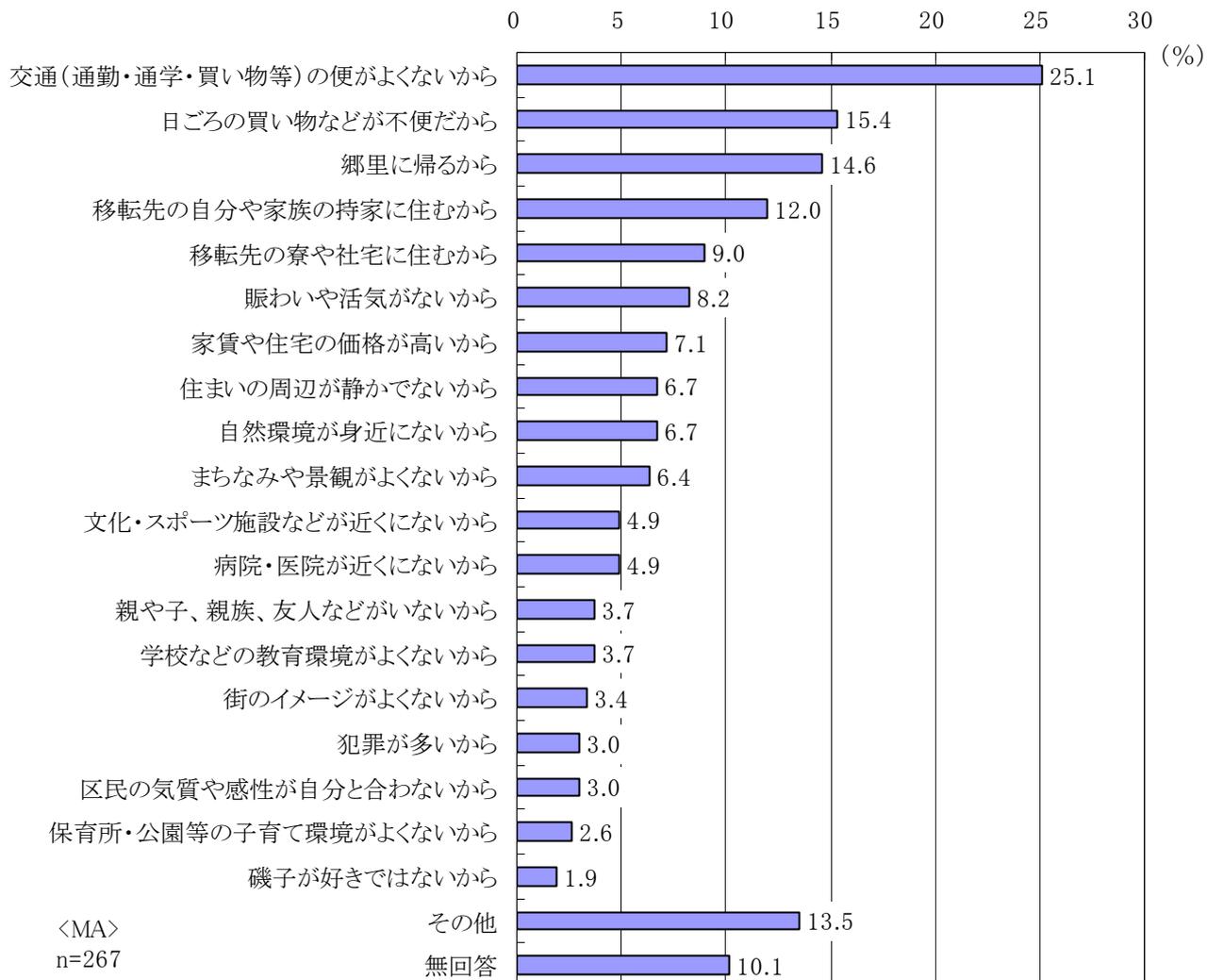
- ・ 移転先として磯子区以外を選んだ人にその理由を聞いたところ、最も多かったのは「家・マンションの購入」の27.7%で、全体の3割近くが理由として挙げており、次いで「就職・転勤」の22.5%、以下「その他」(19.9%)、「親や子と同居・近隣に住むため」(11.2%)、「結婚」(10.1%)、「退職」(9.4%)、「部屋が狭い(家族の増加など)」(7.1%)、「子どもの独立」(4.5%)、「進学」(0.7%)の順となっており、「特別な理由はない」は4.1%であった。



- ・ 横浜市民意識調査で第3位であった「家・マンションの購入」が、磯子区民意調査では第1位になっており、磯子区から移転するきっかけは「住まいの場」を求める割合が高いことがわかる。

(8) 移転先として磯子区を選ばない理由(区外への移転意向の人)

問6-3 あなたが、移転先として磯子区を選ばない理由は何ですか。(複数回答)



「交通(通勤・通学・買い物等)の便がよくないから」を全体の4分の1の人が挙げている。次いで「日ごろの買い物などが不便だから」と、利便性の悪さを理由に挙げる人が多い。

- ・ 移転先として磯子区内を選ばなかった人にその理由を聞いたところ、最も多かったのは「交通(通勤・通学・買い物等)の便がよくないから」の 25.1%で、全体の4分の1の人が挙げている。次いで「日ごろの買い物などが不便だから」(15.4%)で、利便性の悪さを理由に挙げる人が多い。

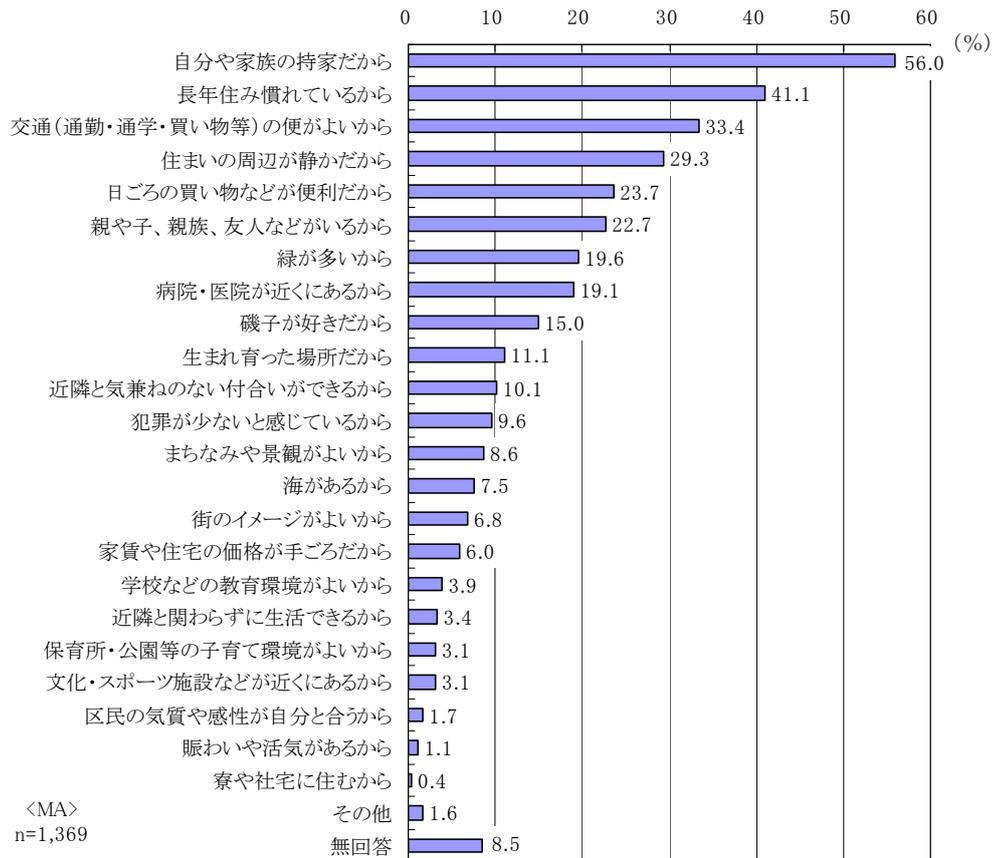
【参考】横浜市民意識調査(H21)との比較

磯子区民意識調査		横浜市民意識調査(H21)	
交通(通勤・通学・買い物等)の便がよくないから	25.1	郷里に帰るから	27.7
日ごろの買い物などが不便だから	15.4	家賃や住宅の価格が高いから	21.5
郷里に帰るから	14.6	交通(通勤・通学・買い物等)の便がよくないから	20.5
移転先の自分や家族の持家に住むから	12.0	移転先の自分や家族の持家に住むから	15.4
移転先の寮や社宅に住むから	9.0	親や子、親族、友人などがいないから	7.2
賑わいや活気がないから	8.2	移転先の寮や社宅に住むから	6.7
家賃や住宅の価格が高いから	7.1	住まいの周辺が静かでないから	6.7
住まいの周辺が静かでないから	6.7	自然環境が身近にないから	5.6
自然環境が身近にないから	6.7	保育所・公園等の子育て環境がよくないから	4.6
まちなみや景観がよくないから	6.4	市民の気質や感性が自分と合わないから	4.6
文化・スポーツ施設などが近くにないから	4.9	文化・スポーツ施設などが近くにないから	3.6
病院・医院が近くにないから	4.9	まちなみや景観がよくないから	3.6
親や子、親族、友人などがいないから	3.7	賑わいや活気がないから	3.6
学校などの教育環境がよくないから	3.7	横浜が好きではないから	3.1
街のイメージがよくないから	3.4	日ごろの買い物などが不便だから	2.6
犯罪が多いから	3.0	犯罪が多いから	2.1
区民の気質や感性が自分と合わないから	3.0	学校などの教育環境がよくないから	1.5
保育所・公園等の子育て環境がよくないから	2.6	病院・医院が近くにないから	1.5
磯子が好きではないから	1.9	街のイメージがよくないから	1.5
その他	13.5	その他	18.5
無回答	10.1		

- ・ 横浜市内で1位の「郷里に帰るから」は、磯子区では3位である。また、横浜市内で2位の「家賃や住宅の価格が高いから」については、磯子区では7位となっている。一方、横浜市内では 13 位の「賑わいや活気がないから」は、磯子区では6位である。

(9) 区内に住み続ける理由(区内定住意向の人)

問7 あなたが磯子区に住み続ける意向がある理由は何ですか。(複数回答)



「自分や家族の持家だから」を過半数の人が挙げている。次いで「長年住み慣れているから」が4割強である。

- ・ 磯子区への定住意向がある人にその理由を聞いたところ、最も多かったのは「自分や家族の持家だから」の56.0%で、過半数の人が挙げている。次いで「長年住み慣れているから」の41.1%である。
- ・ 次いで2割以上の人が挙げているのは、「交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから」(33.4%)、「住まいの周辺が静かだから」(29.3%)、「日ごろの買い物などが便利だから」(23.7%)、「親や子、親族、友人などがいるから」(22.7%)である。
- ・ 「学校などの教育環境がよいから」(3.9%)、「近隣と関わらずに生活できるから」(3.4%)、「保育所・公園等の子育て環境がよいから」「文化・スポーツ施設などが近くにあるから」(3.1%)、「区民の気質や感性が自分と合うから」(1.7%)、「その他」(1.6%)、「賑わいや活気があるから」(1.1%)、「寮や社宅に住むから」(0.4%)は5%以下と少なかった。

【参考】横浜市民意識調査(H21)との比較

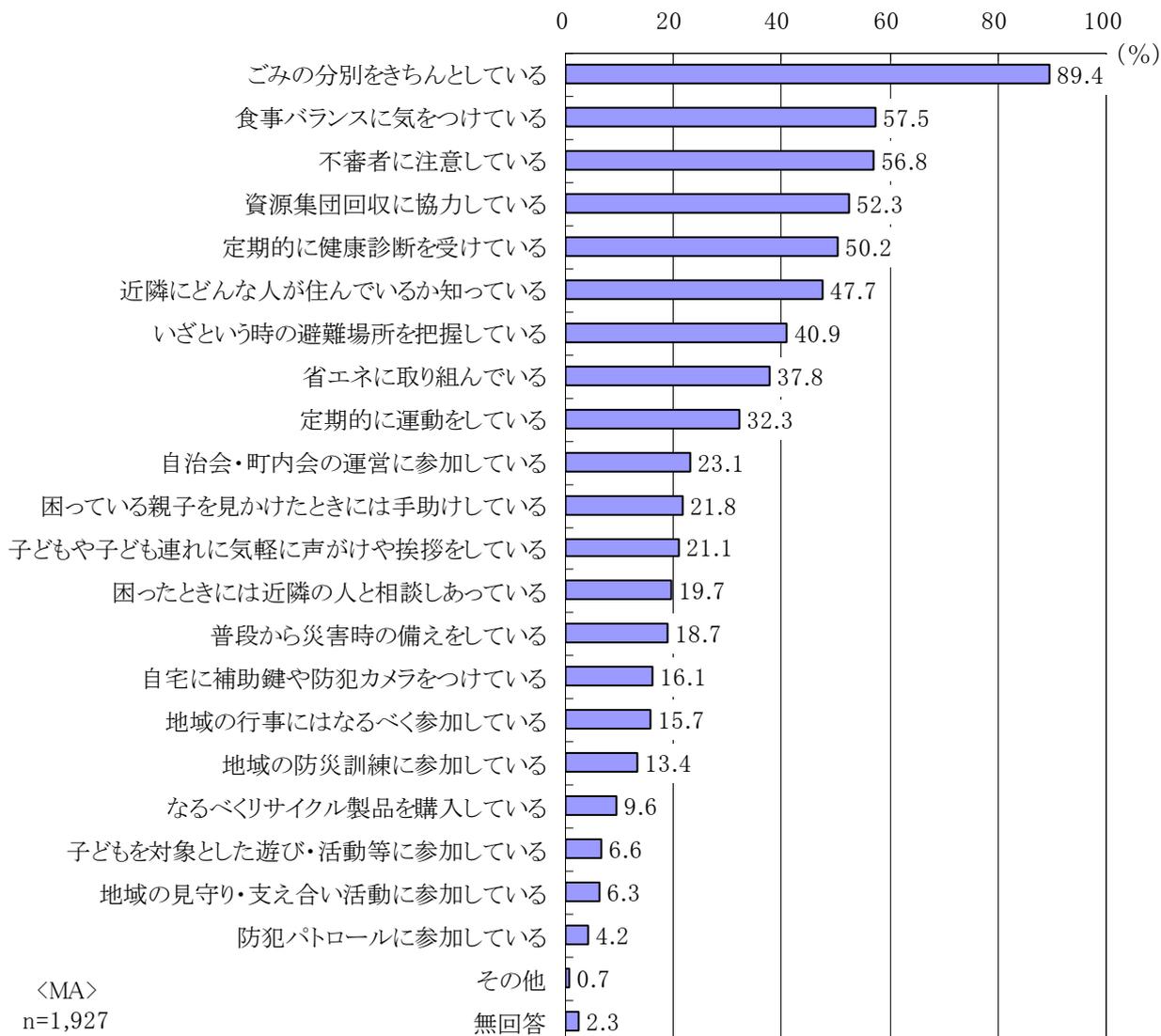
磯子区民意識調査		横浜市民意識調査(H21)	
自分や家族の持家だから	56.0	自分や家族の持家だから	52.9
長年住み慣れているから	41.1	交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから	42.4
交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから	33.4	横浜が好きだから	38.5
住まいの周辺が静かだから	29.3	親や子、親族、友人などがいるから	30.2
日ごろの買い物などが便利だから	23.7	日ごろの買い物などが便利だから	26.1
親や子、親族、友人などがいるから	22.7	住まいの周辺が静かだから	25
緑が多いから	19.6	自然環境が身近にあるから	23.4
病院・医院が近くにあるから	19.1	生まれ育った場所だから	21.2
磯子が好きだから	15.0	病院・医院が近くにあるから	20.3
生まれ育った場所だから	11.1	街のイメージがよいから	12.2
近隣と気兼ねのない付き合いができるから	10.1	まちなみや景観がよいから	11.6
犯罪が少ないと感じているから	9.6	家賃や住宅の価格が手ごろだから	6.1
まちなみや景観がよいから	8.6	犯罪が少ないと感じているから	5.8
海があるから	7.5	市民の気質や感性が自分と合うから	4.9
街のイメージがよいから	6.8	文化・スポーツ施設などが近くにあるから	4.5
家賃や住宅の価格が手ごろだから	6.0	賑わいや活気があるから	4.2
学校などの教育環境がよいから	3.9	保育所・公園等の子育て環境がよいから	3.8
近隣と関わらずに生活できるから	3.4	学校などの教育環境がよいから	3.8
保育所・公園等の子育て環境がよいから	3.1	その他	2.7
文化・スポーツ施設などが近くにあるから	3.1	寮や社宅に住むから	0.5
区民の気質や感性が自分と合うから	1.7	無回答	0.2
賑わいや活気があるから	1.1	注) 網掛けは区単独の選択肢	
寮や社宅に住むから	0.4		
その他	1.6		
無回答	8.5		

- 横浜市民意識調査と比較すると、横浜市で1位の「自分や家族の持家だから」は、磯子区でも同様に1位である。また、全市で3位の「横浜が好きだから」を4割近くの人が挙げているのに対し、「磯子が好きだから」は15%(9位)となっている。一方、全市では6位の「住まいの周辺が静かだから」は、磯子区では4位に挙がっている。

3. 普段の生活や考えについて

(1) 心がけていること

問8 あなたが普段の生活で行っていること、心がけていることは何ですか。(複数回答)



「ごみの分別をきちんとしている」を9割近くの人が挙げており、圧倒的に多い。ごみ問題、防犯、健康に関する問題への関心が高い。

- 最も多かったのは「ごみの分別をきちんとしている」の 89.4%で、9割近くの人が挙げており、圧倒的に多くなっている。次いで「食事バランスに気をつけている」(57.5%)、「不審者に注意している」(56.8%)、「資源集団回収に協力している」(52.3%)、「定期的に健康診断を受けている」(50.2%)で、ここまでは過半数の人が挙げており、ごみ問題や防犯、健康に関する問題への関心の高さが伺われる。
- 「なるべくリサイクル製品を購入している」(9.6%)、「子どもを対象とした遊び・活動等に参加している」(6.6%)、「地域の見守り・支え合い活動に参加している」(6.3%)、「防犯パトロールに参加している」(4.2%)、「その他」(0.7%)は1割以下であり、関心が低い。

クロス集計

■ 性別（問8× F1）

	不審者に注意している	防犯パトロールに参加	防犯カメラ等をつけている	避難場所を把握している	災害時の備えをしている	地域の防災訓練に参加	ごみ分別をきちんとしている	資源集団回収に協力している	省エネに取り組んでいる	リサイクル品を購入している	子どもに声がけしている
男性 (n=793)	50.1%	3.9%	13.0%	40.5%	18.0%	11.3%	89.5%	44.5%	30.9%	9.8%	14.9%
女性 (n=1069)	64.2%	4.7%	18.9%	43.1%	20.2%	15.4%	93.1%	60.4%	44.6%	9.9%	26.5%
合計 (n=1882)	58.2%	4.3%	16.5%	41.9%	19.2%	13.7%	91.6%	53.6%	38.7%	9.8%	21.6%
	困っている親子の手助け	子どもの遊びに参加	定期健康診断を受けている	食事バランスに気をつける	定期的に運動をしている	近隣の人を知っている	近隣の人と相談しあっている	支え合い活動に参加している	地域の行事に参加している	自治会町内会の運営に参加	その他
男性 (n=793)	18.5%	5.2%	53.2%	50.9%	34.7%	39.6%	12.5%	6.6%	14.8%	21.2%	0.8%
女性 (n=1069)	25.0%	8.1%	50.1%	64.6%	32.2%	55.5%	25.8%	6.4%	17.1%	25.5%	0.7%
合計 (n=1882)	22.3%	6.8%	51.4%	58.9%	33.0%	48.8%	20.2%	6.5%	16.1%	23.6%	0.7%

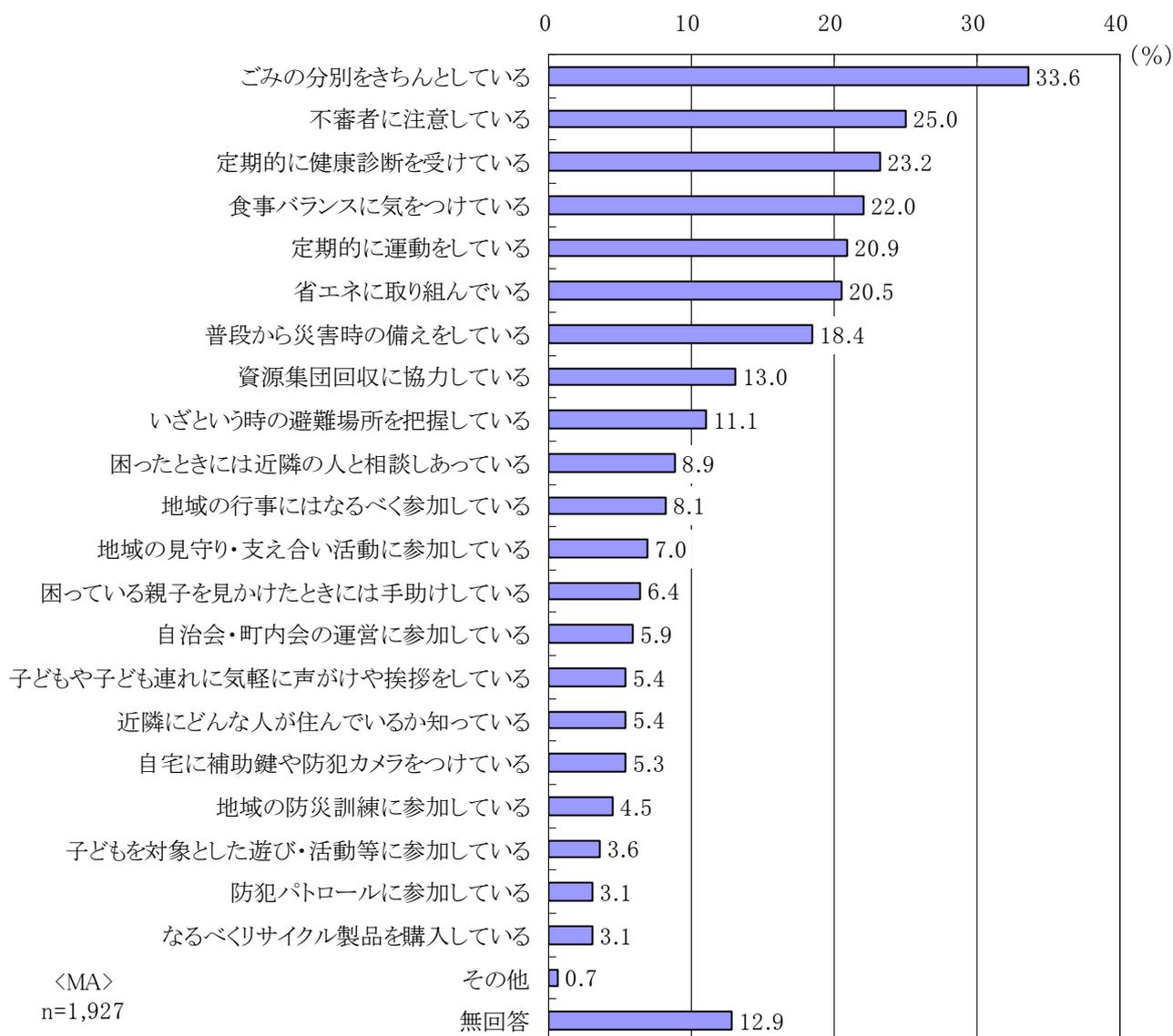
- ・ 男女ともに「ごみの分別をきちんとしている」を9割前後の人が挙げており、最も多い。
- ・ 女性が男性を10ポイント以上上回った項目としては「資源集団回収に協力している」(15.9ポイント)、「近隣にどんな人が住んでいるか知っている」(15.9ポイント)、「不審者に注意している」(14.1ポイント)、「食事バランスに気をつけている」(13.7ポイント)、「省エネに取り組んでいる」(13.7ポイント)、「困ったときには近隣の人と相談しあっている」(13.3ポイント)、「子どもや子ども連れに気軽に声がけや挨拶をしている」(11.6ポイント)があり、女性は男性に比べてリサイクル問題や地域コミュニティへの意識が特に高いことがわかる。
- ・ 男性が女性を上回った項目は、「定期健康診断を受けている」「定期的に運動をしている」「支え合い活動に参加している」の3項目だけであった。

■ 年齢別（問8× F2）

	不審者に注意している	防犯パトロールに参加	防犯カメラ等をつけている	避難場所を把握している	災害時の備えをしている	地域の防災訓練に参加	ごみ分別をきちんとしている	資源集団回収に協力している	省エネに取り組んでいる	リサイクル品を購入している	子どもに声がけしている
20～29歳 (n=183)	60.1%	1.1%	8.7%	23.5%	11.5%	1.6%	84.2%	31.7%	33.3%	12.0%	13.1%
30～39歳 (n=284)	59.5%	3.5%	17.6%	30.3%	18.3%	5.3%	91.9%	43.7%	37.7%	4.9%	21.1%
40～49歳 (n=259)	59.5%	3.5%	22.8%	41.3%	18.9%	9.3%	93.1%	55.6%	42.9%	8.9%	18.5%
50～59歳 (n=317)	56.5%	3.5%	16.7%	45.4%	19.9%	14.5%	90.5%	55.8%	34.7%	12.0%	15.5%
60～69歳 (n=411)	55.5%	5.4%	14.4%	49.9%	16.5%	18.2%	94.2%	61.8%	40.9%	11.7%	25.1%
70歳以上 (n=407)	59.7%	6.6%	16.5%	48.6%	26.0%	22.6%	91.9%	59.2%	40.3%	9.3%	28.7%
合計 (n=1882)	58.2%	4.3%	16.5%	41.9%	19.2%	13.7%	91.6%	53.6%	38.7%	9.8%	21.6%
	困っている親子の手助け	子どもの遊びに参加	定期健康診断を受けている	食事バランスに気をつける	定期的に運動をしている	近隣の人を知っている	近隣の人と相談しあっている	支え合い活動に参加している	地域の行事に参加している	自治会町内会の運営に参加	その他
20～29歳 (n=183)	15.8%	7.7%	20.2%	44.3%	33.9%	33.9%	8.7%	1.6%	3.3%	4.9%	0.0%
30～39歳 (n=284)	23.9%	15.8%	32.7%	44.0%	23.6%	43.0%	14.4%	3.2%	13.7%	12.0%	0.7%
40～49歳 (n=259)	22.4%	11.2%	54.8%	56.8%	26.6%	50.2%	14.7%	3.5%	17.4%	18.9%	1.2%
50～59歳 (n=317)	23.7%	5.4%	57.1%	57.1%	34.7%	42.3%	18.0%	4.4%	14.5%	26.2%	0.9%
60～69歳 (n=411)	24.8%	3.4%	56.0%	63.5%	40.1%	57.4%	25.8%	8.8%	18.5%	33.1%	0.5%
70歳以上 (n=407)	20.1%	2.2%	67.8%	73.5%	35.9%	55.0%	28.7%	12.0%	21.6%	31.9%	1.0%
合計 (n=1882)	22.3%	6.8%	51.4%	58.9%	33.0%	48.8%	20.2%	6.5%	16.1%	23.6%	0.7%

- ・ どの世代も「ごみの分別をきちんとしている」を9割前後の人が挙げており、最も多い。
- ・ 世代で特徴の出た項目は、30代の「子どもを対象とした遊び・活動等に参加している」、60代の「資源集団回収に協力している」「近隣にどんな人が住んでいるか知っている」「自治会・町内会の運営に参加している」が、他の世代に比べてやや高くなっている。また、70歳以上では「定期的に健康診断を受けている」「食事バランスに気をつけている」が特に高く、「地域の防災訓練に参加している」もやや高い。なお、20代で「定期的に健康診断を受けている」が特に低い数値となっているなど、健康問題に関しては高年層ほど数値が高く、若年層ほど低くなっている。また、防災、地域コミュニティに関する項目も、若年層ほど数値が低い。

問8-1 上記 1~22 の質問項目のうち、今後とくに行っていきたいと思っている項目（継続を含む）を3つまでお答えください。（複数回答）



「ごみの分別をきちんとしている」を全体の3分の1が挙げている。前項と同様、ごみ問題、防犯、健康に関する問題への意欲が高い。

- 最も多かったのは「ごみの分別をきちんとしている」の 33.6%で、3分の1の人が挙げており、前項でも関心が高かったごみ分別に関する意向が高くなっている。次いで「不審者に注意している」が 25.0%で、4分の1が挙げている。
- 次いで「定期的に健康診断を受けている」(23.2%)、「食事バランスに気をつけている」(22.0%)、「定期的に運動をしている」(20.9%)、以下「省エネに取り組んでいる」(20.5%)が2割以上の回答があった。
- 「地域の防災訓練に参加している」(4.5%)、「子どもを対象とした遊び・活動等に参加している」(3.6%)、「防犯パトロールに参加している」「なるべくリサイクル製品を購入している」(共に 3.1%)、「その他」(0.7%)は5%未満と少なかった。

クロス集計

■ 性別（問8-1× F1）

	不審者に注意している	防犯パトロールに参加	防犯カメラ等をつけている	避難場所を把握している	災害時の備えをしている	地域の防災訓練に参加	ごみ分別をきちんとしている	資源集団回収に協力している	省エネに取り組んでいる	リサイクル品を購入している	子どもに声がけしている
男性 (n=719)	26.0%	4.6%	6.1%	13.4%	19.6%	5.6%	39.2%	13.8%	21.7%	4.6%	6.5%
女性 (n=948)	30.7%	2.7%	6.1%	12.1%	22.4%	4.9%	38.0%	15.9%	24.9%	2.7%	6.0%
合計 (n=1679)	28.6%	3.5%	6.1%	12.7%	21.1%	5.1%	38.6%	14.9%	23.5%	3.5%	6.2%
	困っている親子の手助け	子どもの遊びに参加	定期健康診断を受けている	食事バランスに気をつけている	定期的に運動をしている	近隣の人を知っている	近隣の人と相談しあっている	支え合い活動に参加している	地域の行事に参加している	自治会町内会の運営に参加	その他
男性 (n=719)	8.5%	3.6%	26.6%	24.8%	28.1%	5.6%	8.3%	8.2%	9.5%	6.0%	1.0%
女性 (n=948)	6.5%	4.6%	26.7%	25.6%	20.9%	6.8%	11.6%	7.7%	9.3%	7.3%	0.6%
合計 (n=1679)	7.4%	4.2%	26.7%	25.3%	24.0%	6.2%	10.2%	8.0%	9.4%	6.7%	0.8%

- ・ 男女とも「ごみの分別をきちんとしている」が最も多く、大きな性差は見られない。次いで、男性は「定期的に運動をしている」「定期的に健康診断を受けている」「不審者に注意している」、女性は「不審者に注意している」「定期的に健康診断を受けている」「食事バランスに気をつけている」の順で続いている。

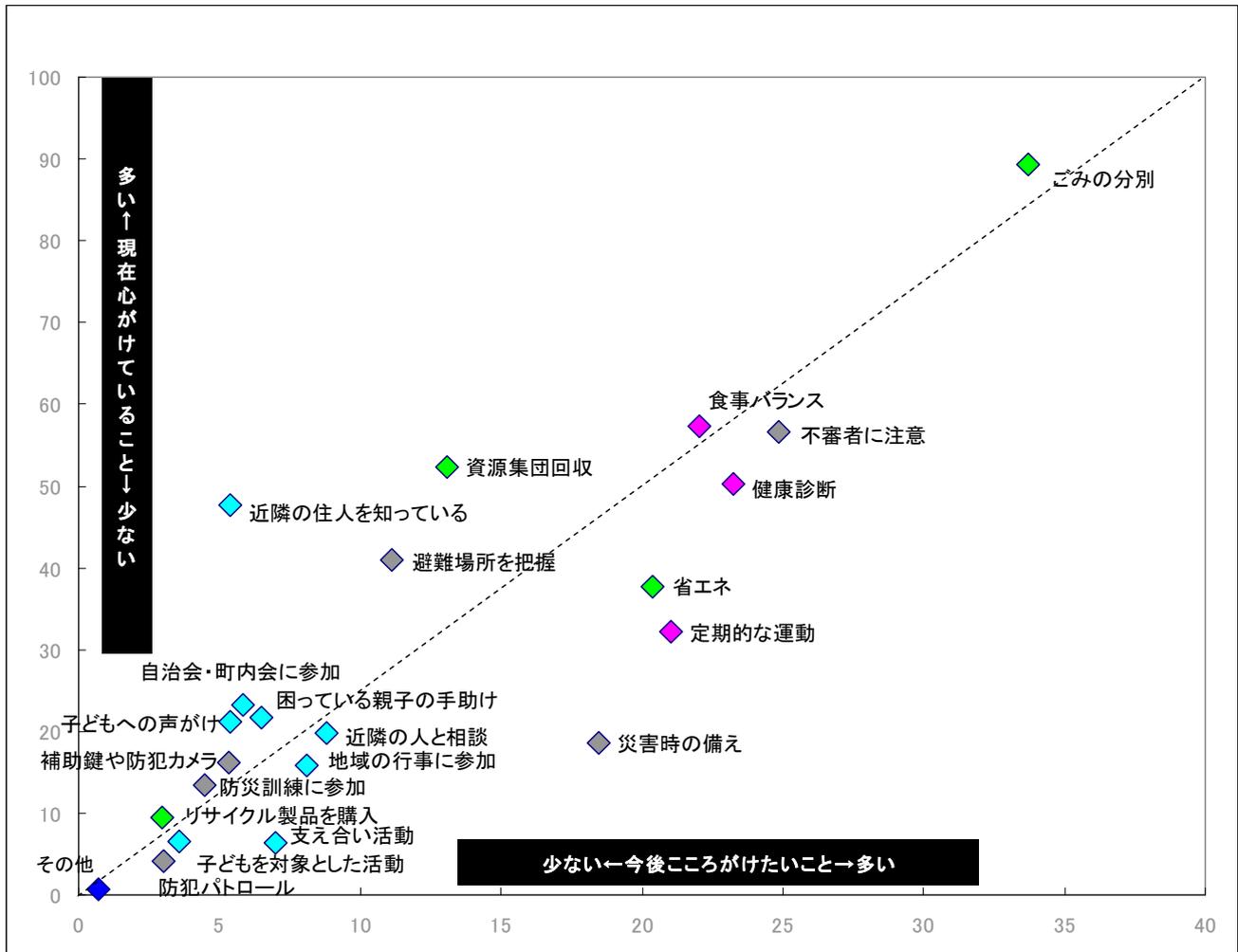
■ 年齢別（問8-1× F2）

	不審者に注意している	防犯パトロールに参加	防犯カメラ等をつけている	避難場所を把握している	災害時の備えをしている	地域の防災訓練に参加	ごみ分別をきちんとしている	資源集団回収に協力している	省エネに取り組んでいる	リサイクル品を購入している	子どもに声がけしている
20～29歳 (n=178)	32.6%	3.4%	5.6%	13.5%	25.3%	5.6%	41.0%	9.6%	29.8%	7.9%	5.6%
30～39歳 (n=272)	34.2%	2.6%	7.4%	15.4%	23.5%	2.2%	38.2%	11.4%	23.2%	1.5%	7.0%
40～49歳 (n=245)	30.6%	3.7%	9.4%	11.8%	25.3%	5.7%	36.3%	10.2%	25.7%	1.6%	6.1%
50～59歳 (n=291)	26.1%	2.7%	3.4%	11.7%	23.0%	6.2%	38.1%	17.9%	27.5%	2.7%	6.9%
60～69歳 (n=360)	25.3%	3.9%	5.0%	13.9%	18.3%	5.6%	37.2%	17.5%	20.6%	4.4%	5.8%
70歳以上 (n=319)	26.3%	4.7%	6.6%	10.0%	15.4%	5.6%	40.8%	19.1%	18.2%	4.1%	6.0%
合計 (n=1679)	28.6%	3.5%	6.1%	12.7%	21.1%	5.1%	38.6%	14.9%	23.5%	3.5%	6.2%
	困っている親子の手助け	子どもの遊びに参加	定期健康診断を受けている	食事バランスに気をつけている	定期的に運動をしている	近隣の人を知っている	近隣の人と相談しあっている	支え合い活動に参加している	地域の行事に参加している	自治会町内会の運営に参加	その他
20～29歳 (n=178)	13.5%	9.6%	6.7%	23.0%	24.7%	10.7%	10.7%	4.5%	9.0%	1.1%	0.0%
30～39歳 (n=272)	8.1%	11.0%	18.0%	21.7%	23.9%	9.6%	7.7%	9.6%	10.7%	5.1%	0.4%
40～49歳 (n=245)	6.9%	2.4%	27.3%	26.1%	22.9%	6.1%	10.6%	9.8%	9.4%	4.5%	0.8%
50～59歳 (n=291)	6.5%	2.4%	29.6%	24.7%	24.4%	3.4%	7.6%	7.9%	10.3%	8.2%	1.0%
60～69歳 (n=360)	7.8%	1.9%	32.2%	27.2%	25.8%	3.3%	10.0%	7.2%	9.7%	10.0%	0.6%
70歳以上 (n=319)	4.1%	0.9%	35.7%	27.3%	22.3%	6.9%	14.4%	7.8%	7.2%	7.8%	1.6%
合計 (n=1679)	7.4%	4.2%	26.7%	25.3%	24.0%	6.2%	10.2%	8.0%	9.4%	6.7%	0.8%

- ・ いずれの世代も「ごみの分別をきちんとしている」が最も多く、20代で「定期的に健康診断を受けている」の数値が低くなっていることを除き、大きな年齢差はみられない。

現在心がけていることと今後心がけたいこと

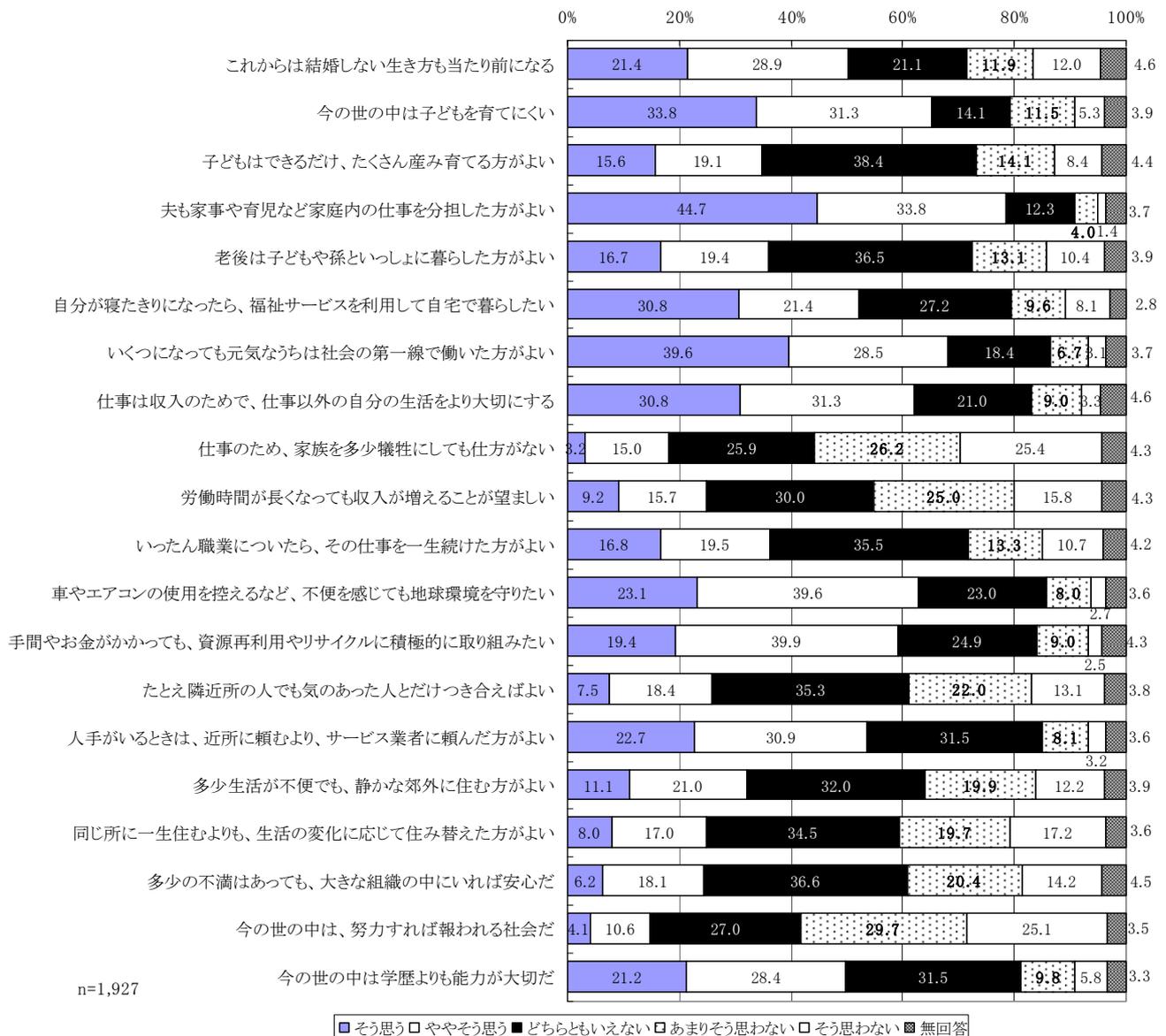
普段の生活で心がけていることの割合を縦軸に、今後心がけたいことの割合を横軸にして、それぞれの項目を比較した。



- ・ 現在心がけていること、今後心がけたいことともに最も多かったのは、「ごみの分別をきちんとしている」である。
- ・ 現在心がけている割合は少ないが、今後心がけたいとする割合が比較的高かったのは、「普段から災害時の備えをしている」「不審者に注意している」等、安全・安心に関わる項目、「定期的に健康診断を受けている」「定期的に運動をしている」など健康に関わる項目、「省エネに取り組んでいる」など環境に関わる項目である。
- ・ 現在心がけていること、今後心がけたいことともに少なかったのは、地域活動に関する項目のうちの「子どもを対象とした遊び・活動等に参加している」「地域の見守り・支え合い活動に参加している」「地域の行事にはなるべく参加している」などと、防災・防犯に関する項目のうち「地域の防災訓練に参加している」「防犯パトロールに参加している」「自宅に補助鍵や防犯カメラをつけている」など、及び「なるべくリサイクル製品を購入している」である。

(2)生活価値観

問9 あなたは次にあげる①～⑳の意見についてどう思われますか。右欄の「そう思う」から「そう思わない」までのなかから選んで記号に○をつけてください。

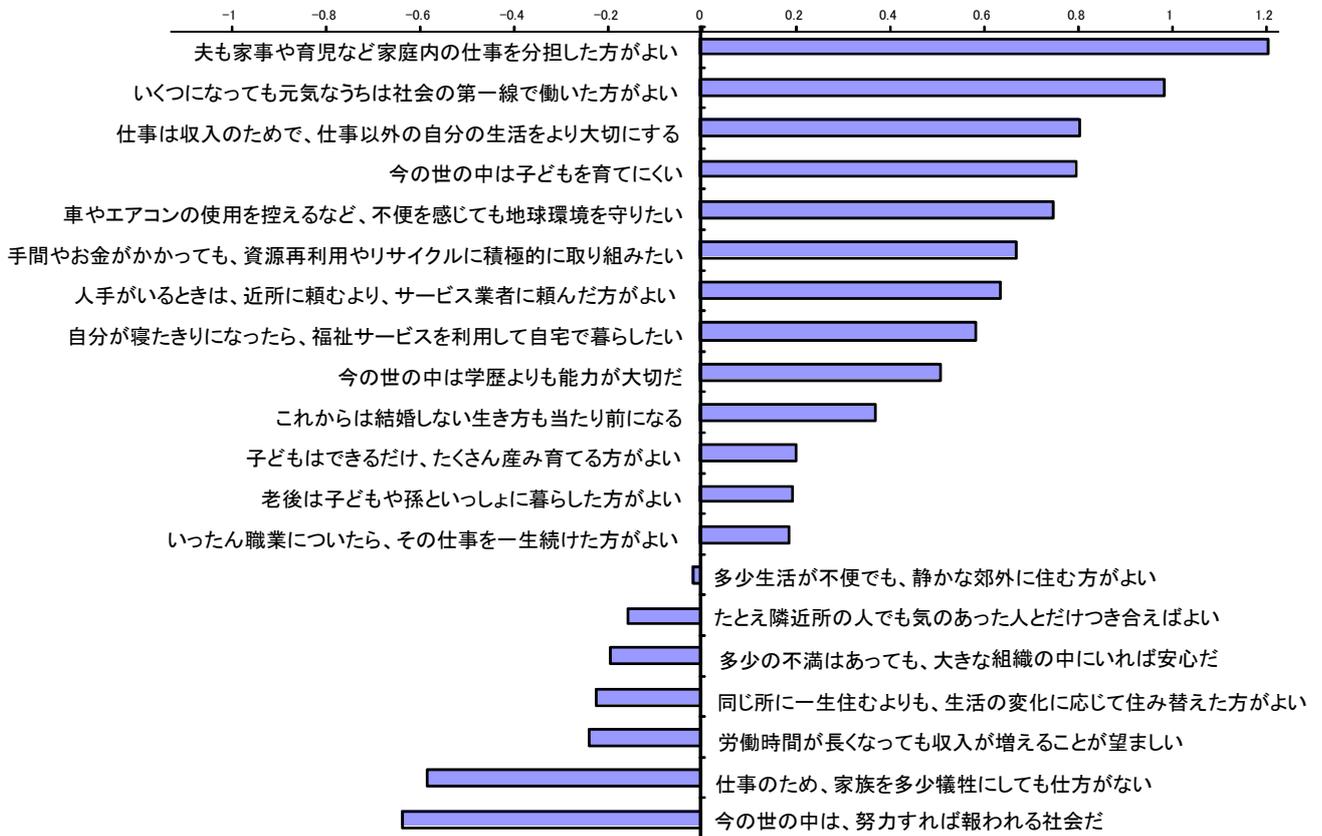


「そう思う」が最も多いのは「今の世の中は子どもを育てにくい」「夫も家事や育児など家庭内の仕事を分担した方がよい」「自分が寝たきりになったら、福祉サービスを利用して自宅で暮らしたい」「いくつになっても元気なうちは社会の第一線で働いた方がよい」

- ・ 「そう思う」が最も多いのは、「今の世の中は子どもを育てにくい」「夫も家事や育児など家庭内の仕事を分担した方がよい」「自分が寝たきりになったら、福祉サービスを利用して自宅で暮らしたい」「いくつになっても元気なうちは社会の第一線で働いた方がよい」の4項目である。
- ・ 「ややそう思う」が最も多いのは、「これからは結婚しない生き方も当たり前になる」「仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活をより大切にする」「車やエアコンの使用を控えるなど、多少の不便さを感じても地球環境を守りたい」「手間やお金がかかっても、資源再利用やリサイクルに積極的に取り組みたい」の4項目である。
- ・ 「あまりそう思わない」が最も多いのは「仕事のため、家族を多少犠牲にしても仕方がない」「今の世の中は、努力すれば報われる社会だ」である。
- ・ 上記以外の項目では「どちらともいえない」が最も多くなっている。なお、「そう思わない」が最も多かった項目はなかった。

<生活価値観 平均点>

「そう思う」2点、「ややそう思う」1点、「あまりそう思わない」-1点、「そう思わない」-2点を加算して加重平均し、得点順に並べた。「そう思う」「ややそう思う」の合計が「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計よりも大きい項目は右側に、小さい項目は左側に位置する。

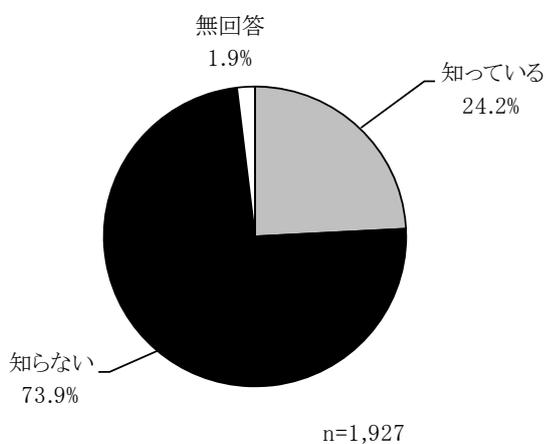


- 上位5項目は「夫も家事や育児など家庭内の仕事を分担した方がよい」(1.21)、「いくつになっても元気なうちは社会の第一線で働いた方がよい」(0.99)、「仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活をより大切にする」(0.81)、「今の世の中は子どもを育てにくい」(0.80)、「車やエアコンの使用を控えるなど、不便を感じても地球環境を守りたい」(0.75)となっている。
- 下位5項目は「今の世の中は、努力すれば報われる社会だ」(-0.63)、「仕事のため、家族を多少犠牲にしても仕方がない」(-0.58)、「労働時間が長くなっても収入が増えることが望ましい」(-0.24)、「同じ所に一生住むよりも、生活の変化に応じて住み替えた方がよい」(-0.22)、「多少の不満はあっても、大きな組織の中にいれば安心だ」(-0.19)となっている。

4. 磯子区で取り組んでいる施策について

(1) CO-DO30

問 10 あなたは「CO-DO30」を知っていますか。

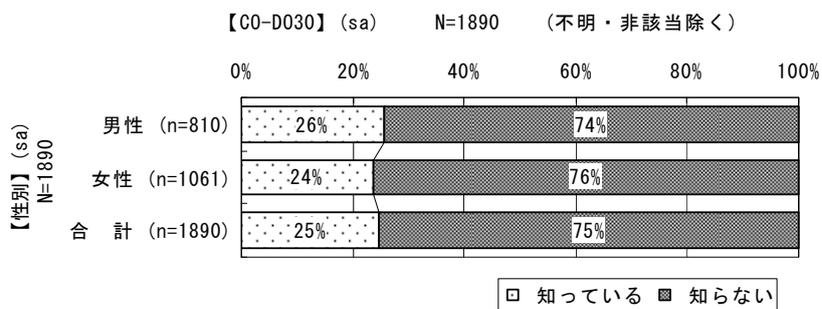


認知度は、ほぼ4分の1に留まっている。

- ・ 「知らない」が73.9%で全体のほぼ4分の3、「知っている」は24.2%でほぼ4分の1に留まっており、認知度は高くない。

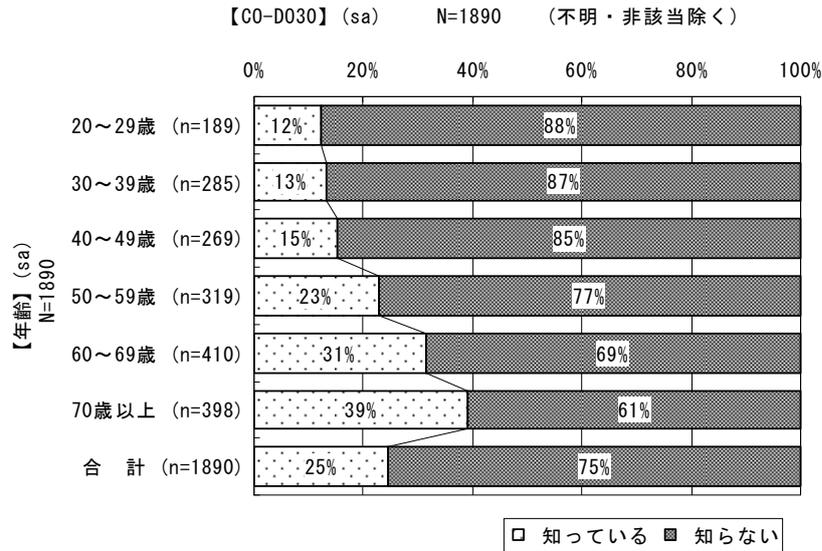
クロス集計

■ 性別(問10× F1)



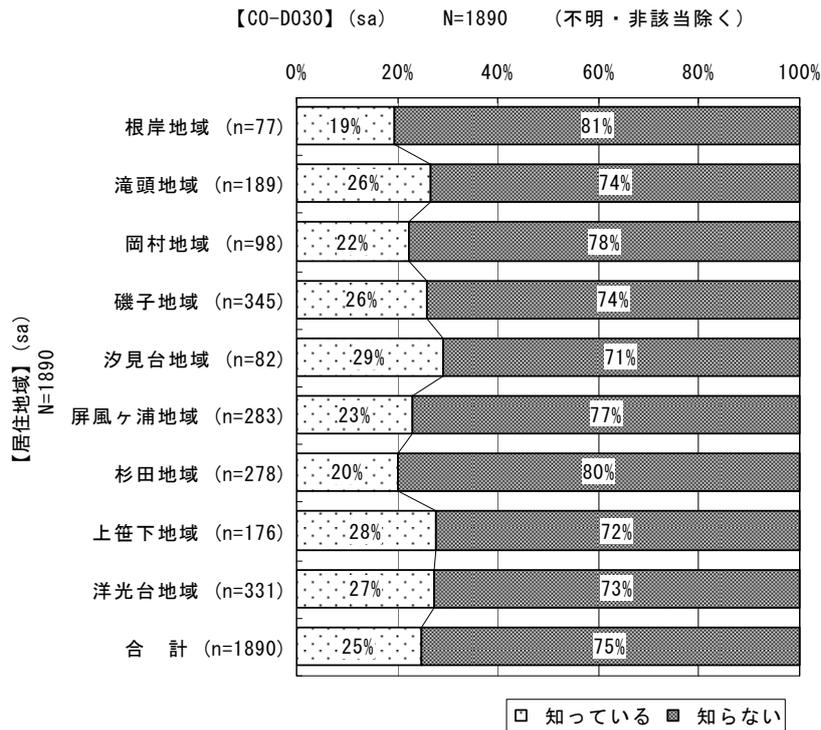
- ・ 男性の方が女性より「知っている」割合が2%高い。

■ 年齢別(問10× F2)



- いずれの世代においても「知らない」の方が多くっており、20代から40代までの世代では8割を超える。また、70歳以上で「知っている」の数値が高くなっているなど、高年層での認知度はやや高い。

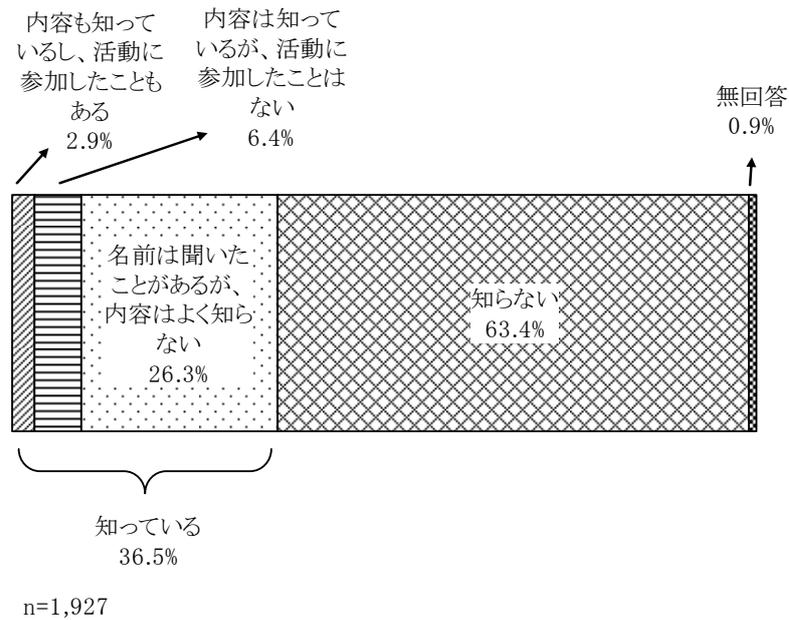
■ 居住地域別(問10× F7)



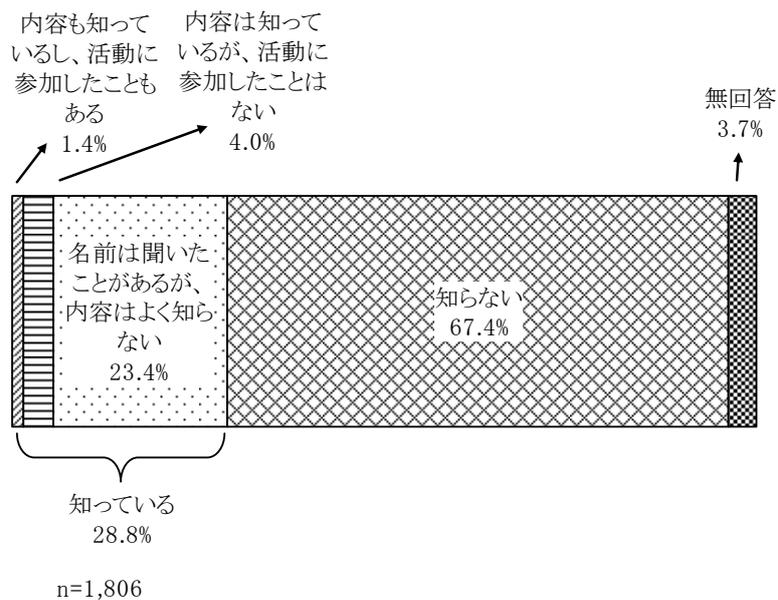
- いずれの地域においても「知らない」の方が多いが、滝頭、磯子、汐見台、上笹下、洋光台の各地域は「知っている」の割合がやや高く、根岸、岡村、屏風ヶ浦、杉田の各地域では「知っている」の割合がやや低い。

(2) 磯子区地域福祉保健計画「スイッチ ON 磯子」

問 11 あなたは磯子区地域福祉保健計画「スイッチ ON 磯子」を知っていますか、また活動に参加していますか。



【参考】磯子区区民意識調査(H19)

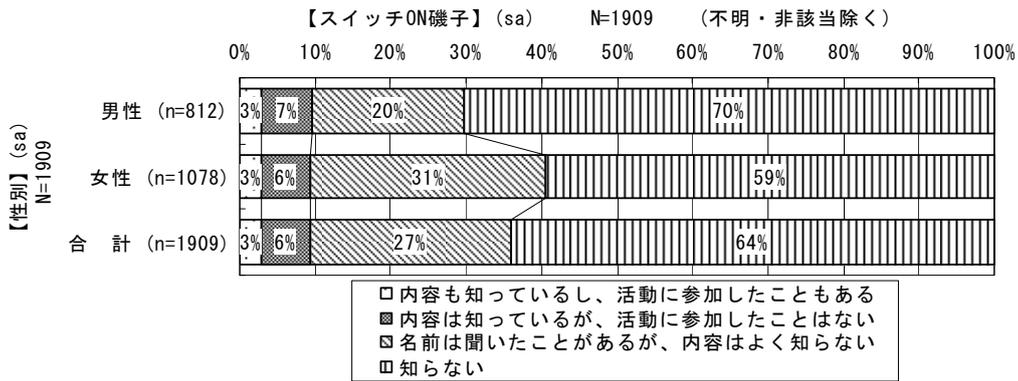


「知らない」が6割強と、認知度はまだ低いが、2年前と比較して少しずつ取り組みが進んでいる。

- ・ 「知らない」が最も多く 63.4%となっている。次いで「名前はあるが、内容はよく知らない」が 26.3%、「内容は知っているが、活動に参加したことはない」が 6.4%、「内容も知っているし、活動に参加したこともある」が 2.9%となっている。
- ・ 平成 19 年度調査の結果と比較すると、「知っている」とする割合は 28.8%から 35.6%と増加しており、そのうちの「内容も知っており、活動に参加したことがある」割合が 1.4% (H19)から 2.9% (H21)、「内容は知っているが、活動に参加したことはない」割合が 4.0% (H19)から 6.4% (H21)へと増加している。全体としての認知度はまだ低いが、少しずつ取り組みが進んでいることがわかる。

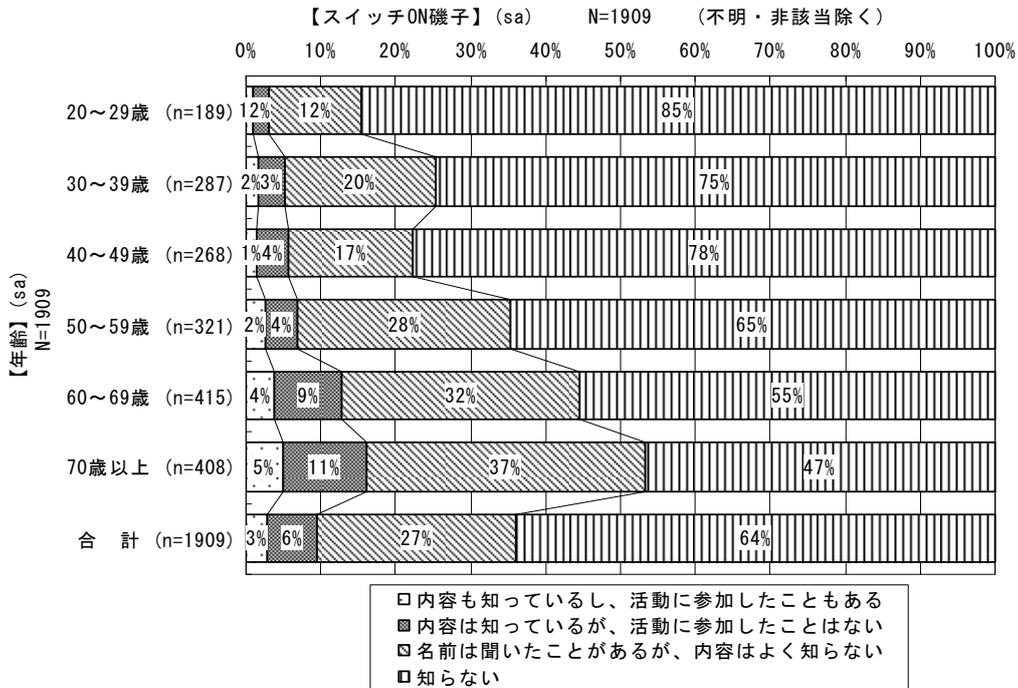
クロス集計

■ 性別(問11× F1)



- ・ 「知らない」は、男性が7割であるのに対して、女性が6割となっている。「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」は、女性の方が男性よりも11ポイント多くなっている。

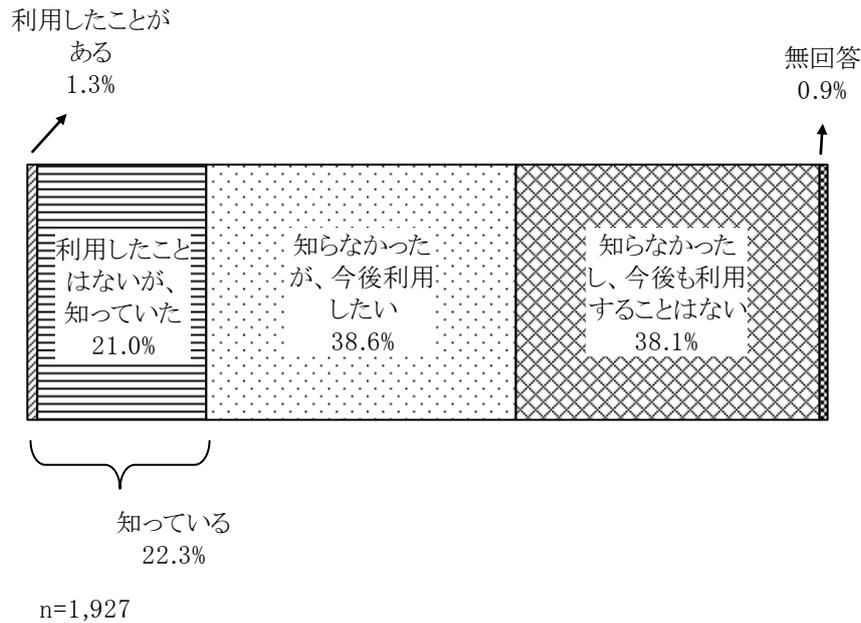
■ 年齢別(問11× F2)



- ・ いずれの世代においても「知らない」が最も多くなっており、20代で8割を超える。50代以降では年齢が高くなるほど「知らない」の割合が低下し、70歳以上では「知らない」の割合は5割を下回っている。

(3)いそご区民活動支援センター

問 12 いそご区民活動支援センターがオープンしたことを知っていましたか。

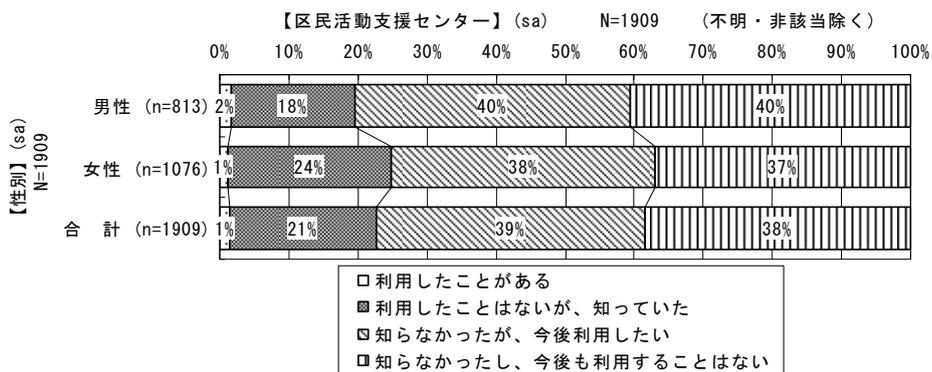


調査時点での認知度は2割強だが、利用意向は4割近い。

- 「知らなかったが、今後利用したい」が最も多く、38.6%である。僅差で「知らなかったし、今後も利用することはない」が続く(38.1%)。「利用したことはないが、知っていた」は 21.0%、「利用したことがある」は 1.3%に留まっている。調査時点での認知度は2割強であるが、利用意向は4割近い。

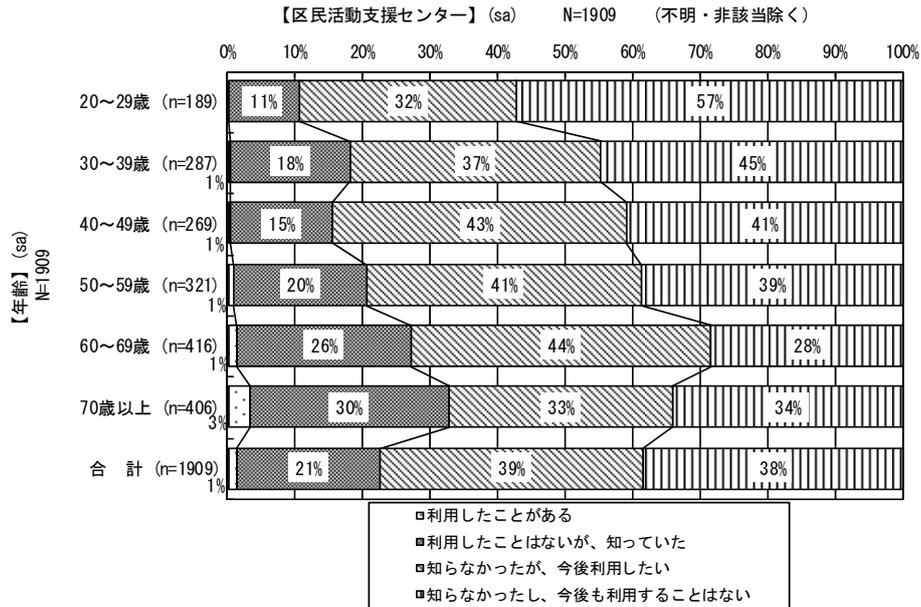
クロス集計

■ 性別(問12× F1)



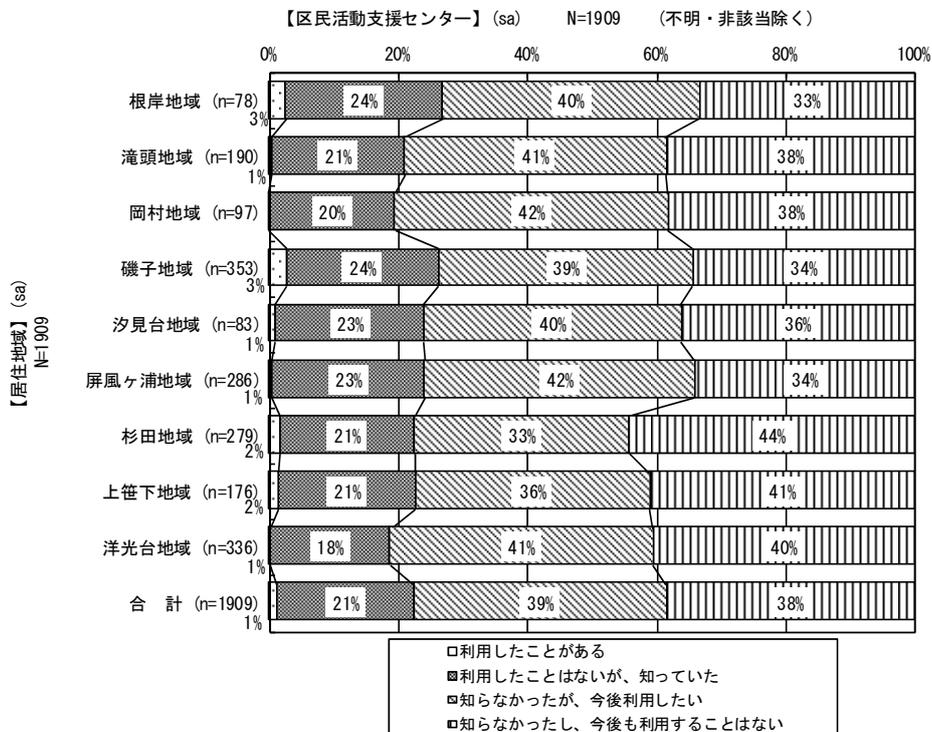
- 「利用したことがある」は男女とも少ないが、男性の方が女性より割合が少し高い。「利用したことはないが、知っていた」では女性の方が男性よりも 6 ポイント高い。男性では「知らなかったが、今後利用したい」と「知らなかったし、今後も利用することはない」の割合が同じであるのに対し、女性では「知らなかったが、今後利用したい」の方がわずかに高い。

■ 年齢別(問12× F2)



- ・ 20代、30代、70歳以上では「知らなかったし、今後も利用することはない」が最も多くなっている。
- ・ 40代から60代までの世代では「知らなかったが、今後利用したい」が最も多くなっており、認知度こそ低いものの、今後の利用意向が高くなっている。
- ・ 70歳以上では「利用したことはないが、知っていた」が多少高い数値となっており、わずかながら高年層の認知度が高くなっている。

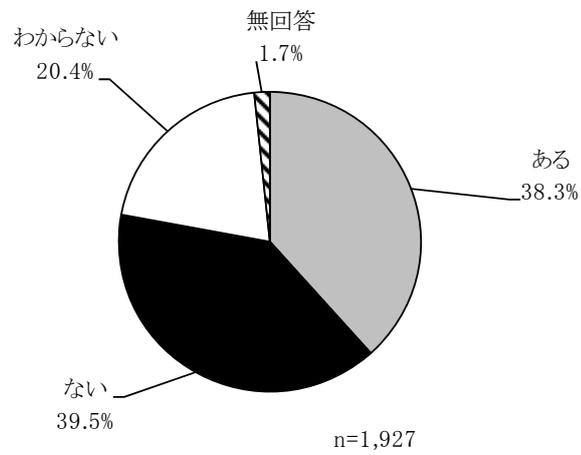
■ 居住地域別(問12× F7)



- ・ 杉田、上笹下の両地域で「知らなかったし、今後も利用することはない」が最も多く、それ以外の地域では「知らなかったが、今後利用したい」が最も多くなっている。

(4) 区政広報ポスター

問 13 自治会・町内会の掲示板等で区政広報ポスターを見たことがありますか。

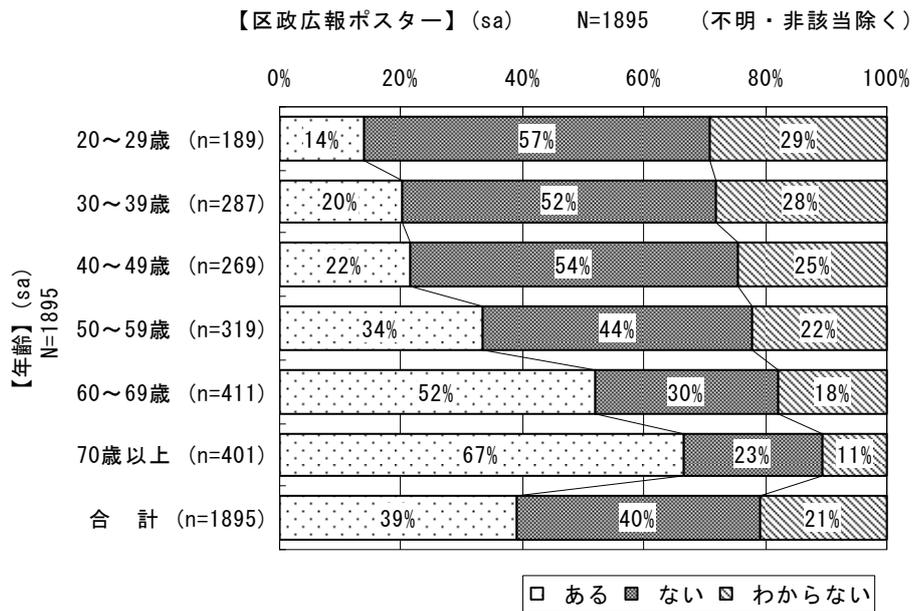


見たことが「ある」「ない」がほぼ拮抗している。

- ・ 「ない」が 39.5%、「ある」が 38.3%で、ほぼ拮抗している。「わからない」は 20.4%である。

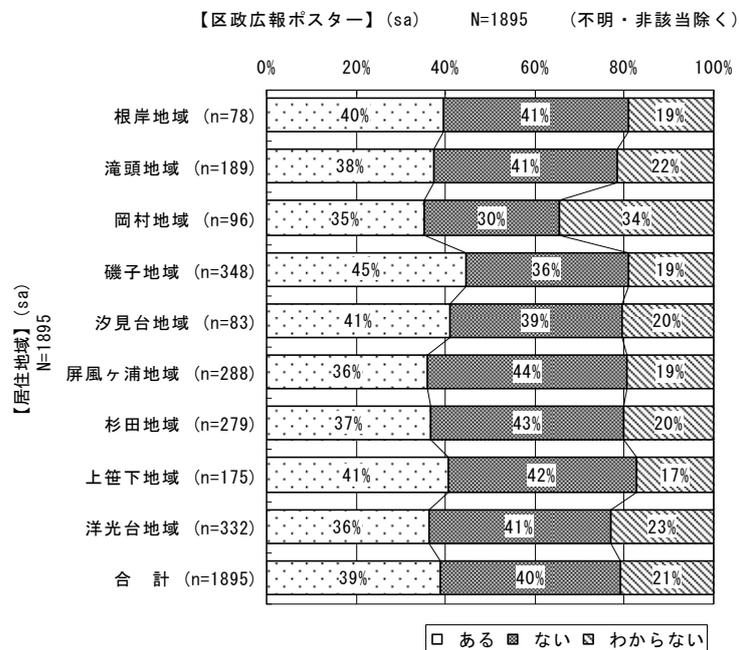
クロス集計

■ 年齢別(問13× F2)



- 20代から50代までの世代では見たことが「ない」が最も多くなっているが、60代、70歳以上の世代では「ある」が最も多くなっており、60代を境に認知度が大きく上がっている。また20代を中心に、若い世代ほど「わからない」の数値も高い。

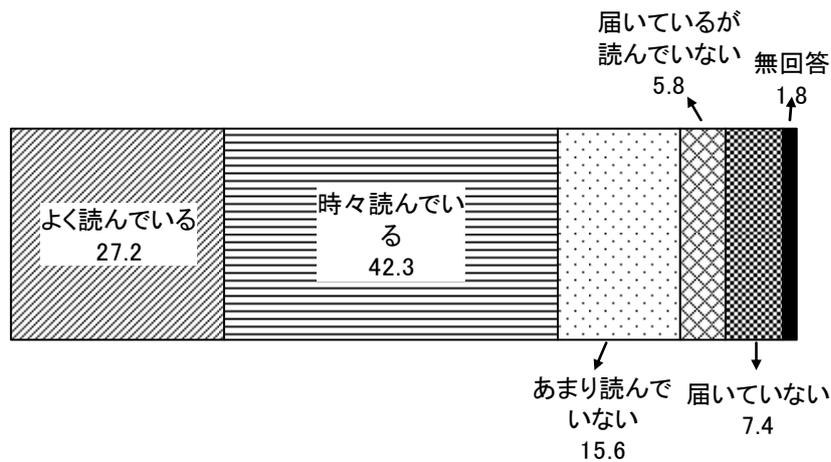
■ 居住地域別(問13× F7)



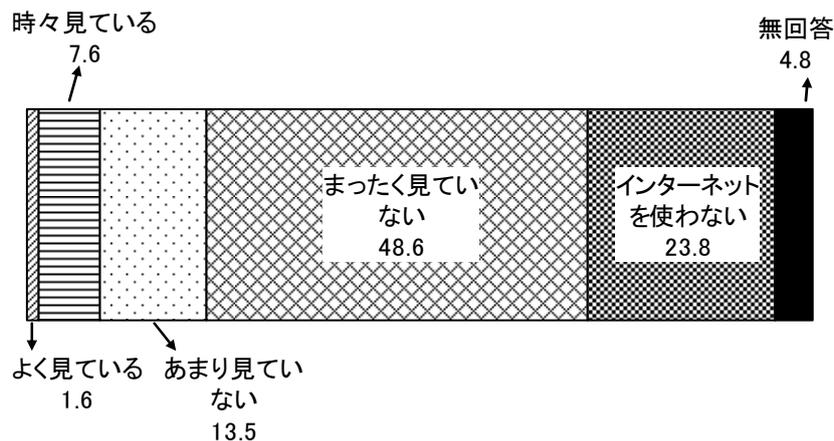
- 岡村、磯子、汐見台の3地域では見たことが「ある」が最も多く、それ以外の地域では「ない」が最も多くなっている。また岡村地域では「わからない」の数値が他の地域に比べて高くなっている。

問 14 あなたは、「広報よこはま磯子区版」を読んでいますか。

紙版



Web 版



紙版は、「時々読んでいる」「よく読んでいる」が合わせて7割近くに達している。
 Web版は、「まったく見えていない」が半数近く、「インターネットを使わない」と合わせると7割強が見えていない。

紙版

- 最も多いのは「時々読んでいる」の42.3%である。次いで「よく読んでいる」が27.2%で、程度の差はあるものの読んでいるとしている人が7割近くに達している。「あまり読んでいない」は15.6%、「届いているが読んでいない」は5.8%で、2割程度の人が広報に目を通していない。また「届いていない」も7.4%存在している。

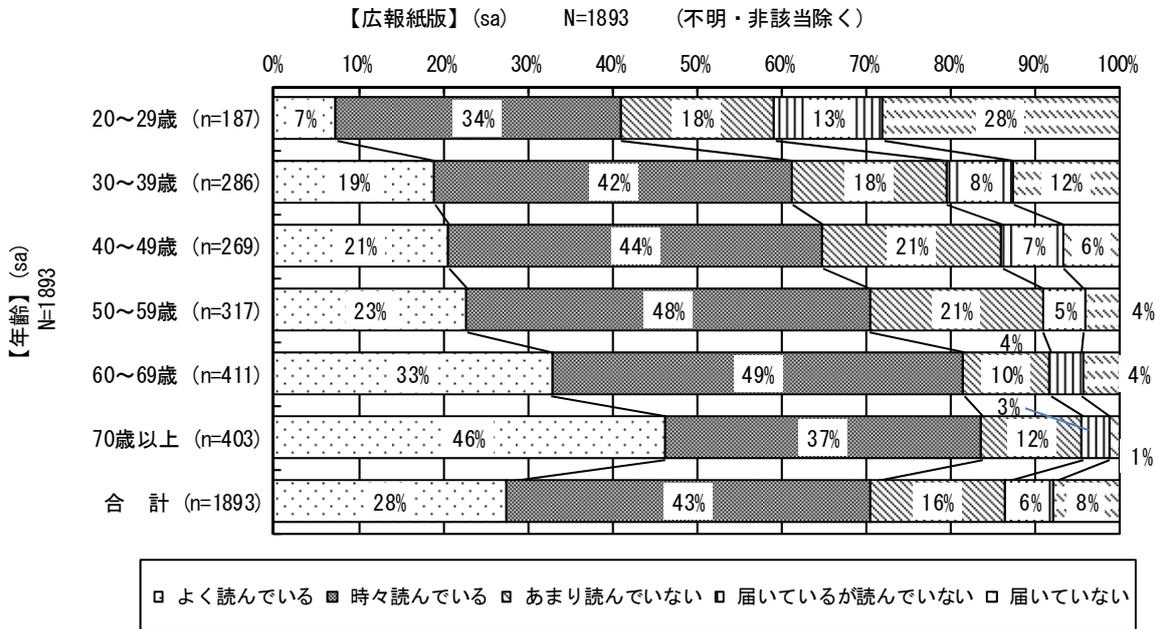
Web版

- 最も多いのは「まったく見えていない」の48.6%で、全体の半数近くにのぼる。次いで「インターネットを使わない」層が23.8%と全体の4分の1近く存在しており、この2つを合わせると全体の7割強が全く見えていない。「あまり見えていない」が13.5%で、「時々見ている」は7.6%、「よく見ている」は1.6%に留まっており、見ているのは1割未満である。

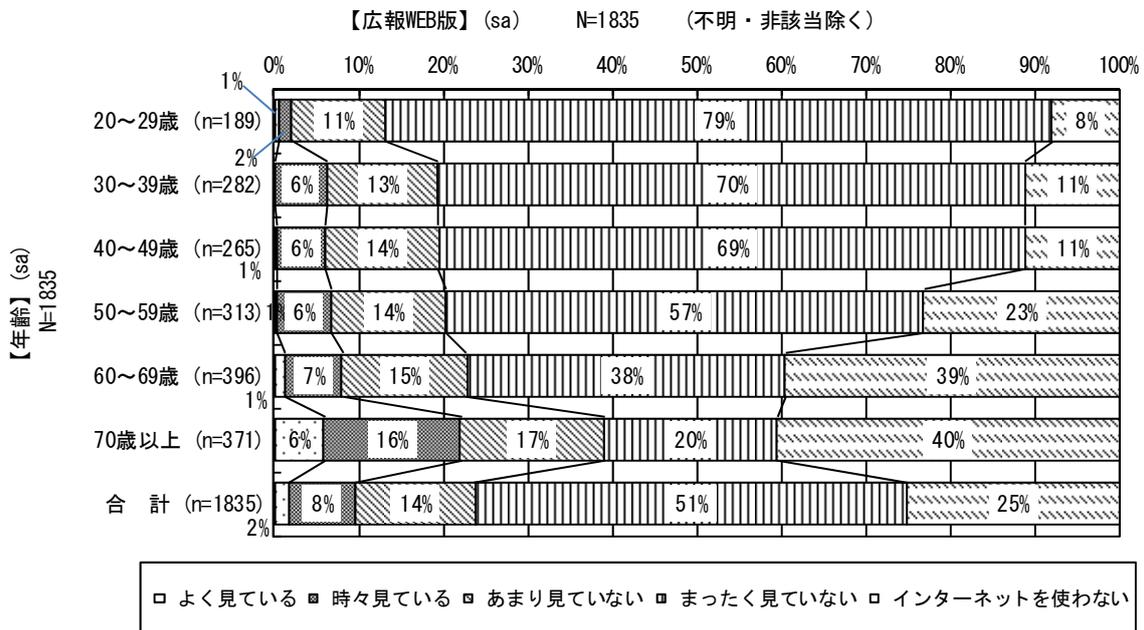
クロス集計

■ 年齢別 (問14× F2)

紙版



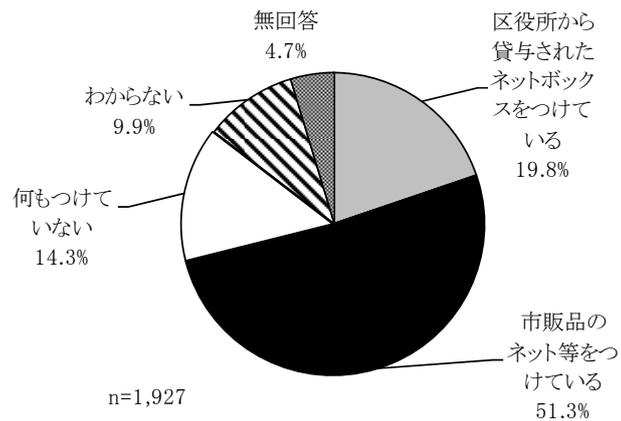
Web版



- 紙版については、70歳以上で「よく読んでいる」が最も多く、20代から60代までの世代では「時々読んでいる」が最も多くなっており、年齢が高いほど数値も高い。また20代では「届いていない」の数値が他世代に比べて高くなっている。
- Web版については、20代から50代までの世代では「まったく見ていない」が最も多く、若い世代ほど数値も高い。60代、70歳以上では「インターネットを使わない」が最も多くなっているが、「時々見ている」が1割以上に達しているのは70歳以上のみである。

(5)カラス生活被害対策

問 15 あなたの利用しているごみ集積場所では、カラスによる被害対策として、ネット等をつけていますか。

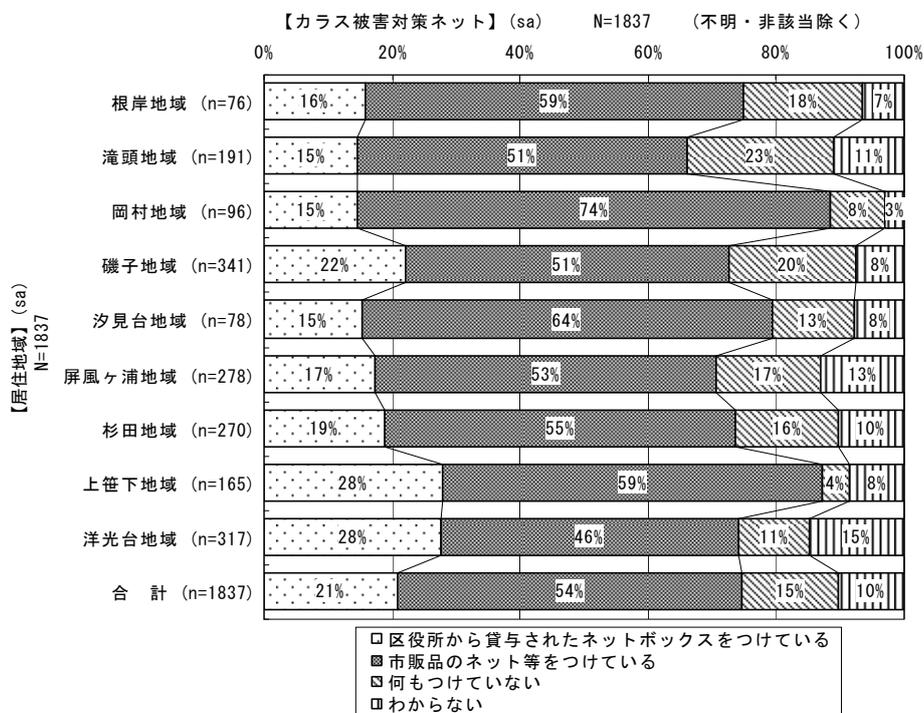


「市販品のネット等をつけている」が過半数、「区役所から貸与されたネットボックスをつけている」が2割程度で、全体の7割強がカラス対策のためにネット等を利用している。

- 最も多いのは「市販品のネット等をつけている」の 51.3%で、過半数を占める。次いで「区役所から貸与されたネットボックスをつけている」(19.8%)が2割程度となっており、この2つを合わせると全体の7割強がカラス対策のためにネット等を利用している。「何もつけていない」は 14.3%、「わからない」は 9.9%である。

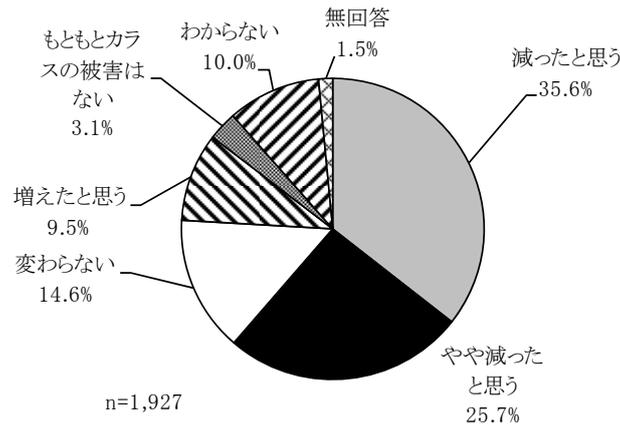
クロス集計

■ 居住地域別(問15× F7)



- いずれの地域も、「市販品のネット等をつけている」が最も多く、特に岡村地域では7割を超えている。また、滝頭地域では「何もつけていない」の数値が他地域に比べて高くなっている。

問 16 あなたは、以前とくらべて、カラスによるごみ荒らしや威嚇などが減ったと思いますか。

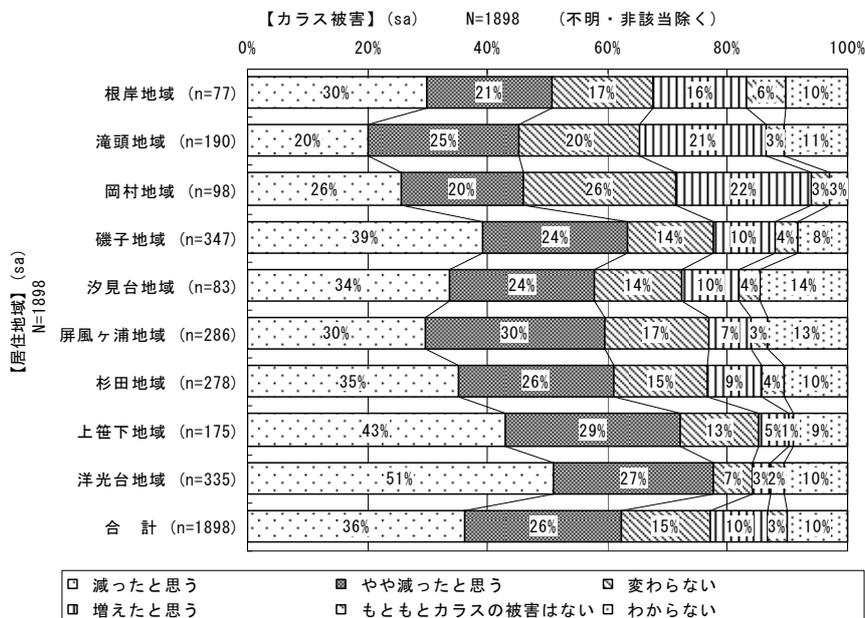


「減ったと思う」「やや減ったと思う」を合わせると、全体の6割以上がカラス被害が減ったと感じている。

- 最も多いのは「減ったと思う」の 35.6%、次いで「やや減ったと思う」が 25.7%となっており、この2つを合わせると全体の6割以上がカラス被害が減ったと感じている。次いで「変わらない」は 14.6%、「わからない」は 10.0%、「増えたと思う」は 9.5%である。「もともとカラスの被害はない」としているのは 3.1%である。

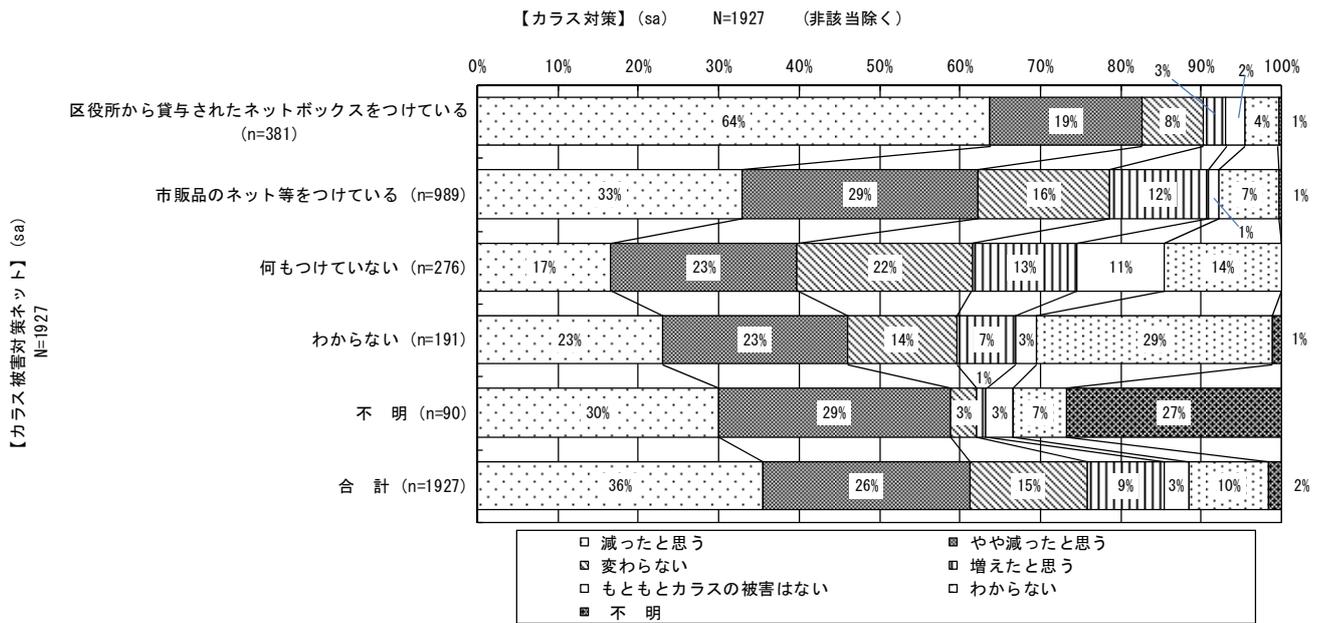
クロス集計

■ 居住地域別(問16× F7)



- 滝頭地域では「やや減ったと思う」が最も多い。それ以外の地域では「減ったと思う」が最も多くなっているほか、岡村地域ではこれと「変わらない」、屏風ヶ浦地域ではこれと「やや減ったと思う」が同率となっている。また、滝頭地域と岡村地域では「増えたと思う」の数値が他地域に比べて高くなっている。

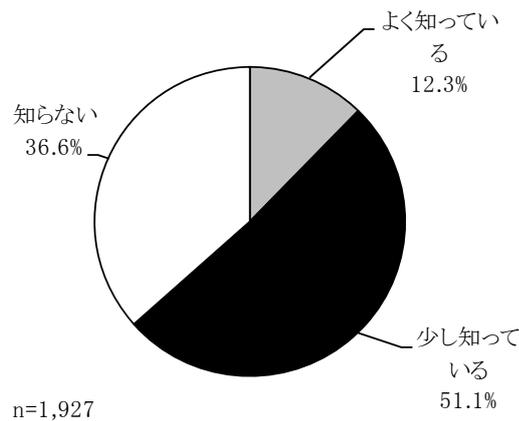
■ ネット設置状況別（問16× 問15）



- 区役所から貸与されたネットボックスをつけている場合では、「減ったと思う」と「やや減ったと思う」の合計は8割を超えており、「市販品のネット等をつけている」場合の6割、「何もつけていない」場合の4割に対して、かなり高い。

(6) 磯子土木事務所

問 17 あなたは、土木事務所の仕事をご存じでしたか。

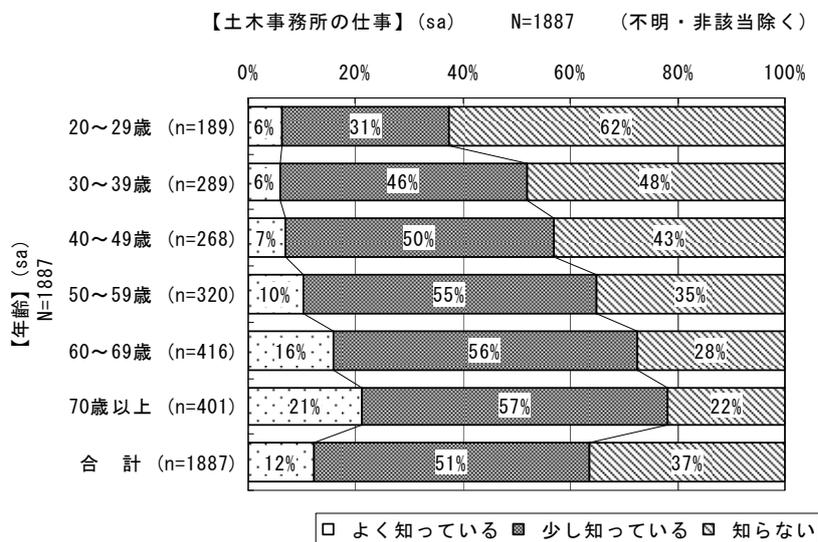


「少し知っている」が全体の半数強、「よく知っている」が1割強で、合わせると認知度は6割以上である。

- ・ 「少し知っている」が51.1%で、全体のほぼ半数を占める。次いで「よく知っている」が12.3%となっており、この2つを合わせると全体の6割以上が土木事務所の仕事を知っているとしている。「知らない」は36.6%である。

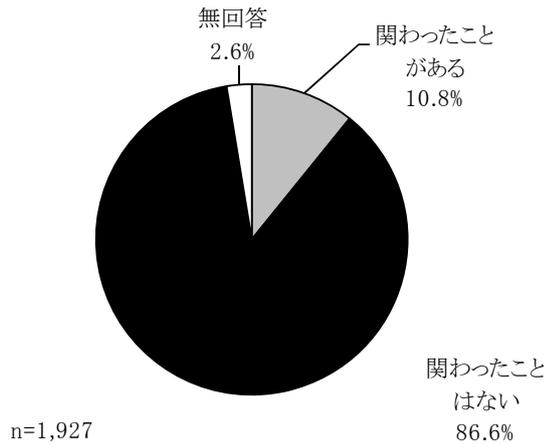
クロス集計

■ 年齢別（問17× F2）



- ・ 20代、30代の若年層では「知らない」、40代以上の世代では「少し知っている」が最も多くなっている。また、70歳以上では「よく知っている」が他の世代に比べて高くなっているなど、年齢が高いほど認知度も高い。

問 18 あなたは、これまでに土木事務所の仕事と関わったことがありますか。

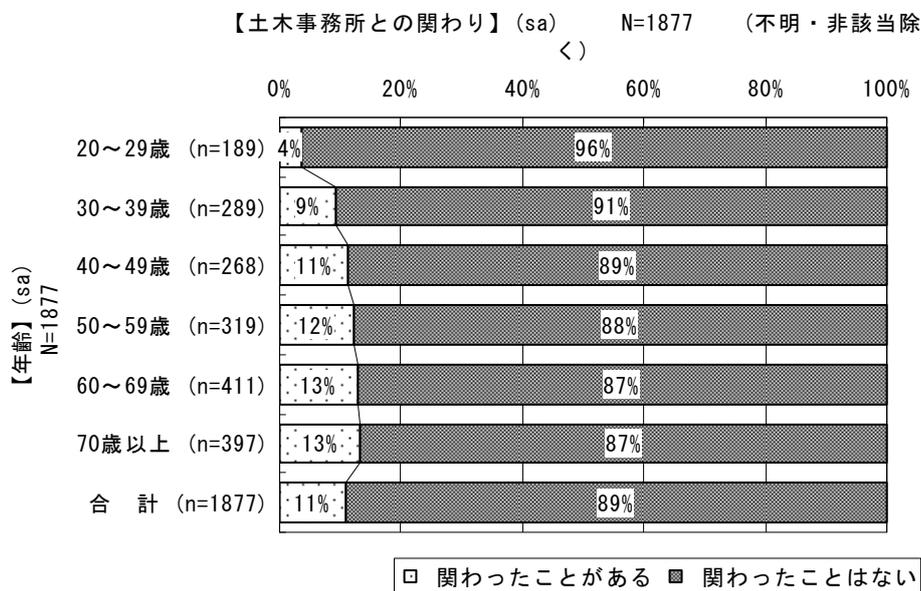


「関わったことはない」が圧倒的に多く、9割弱に達している

- ・ 「関わったことはない」が圧倒的に多く 86.6%で、9割弱に達している。「関わったことがある」は 10.8%で、ほぼ1割である。

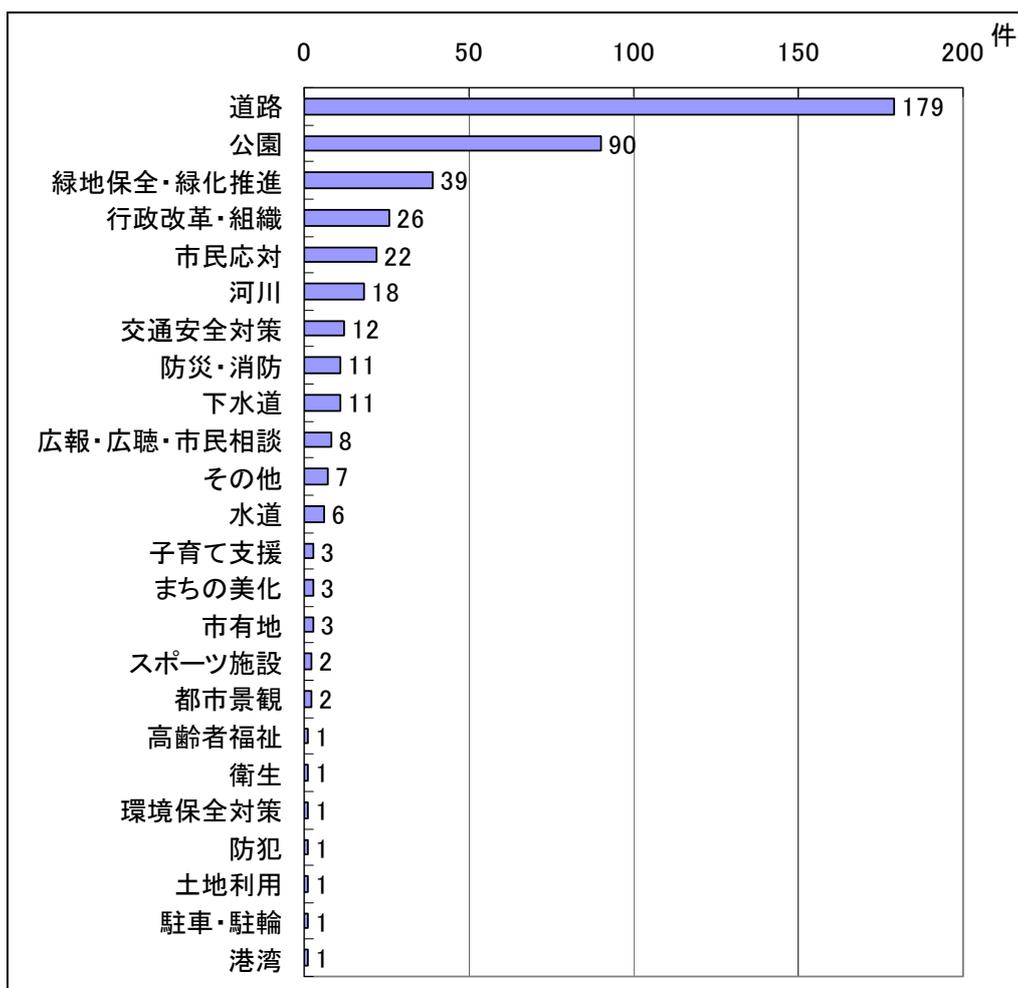
クロス集計

■ 年齢別(問18× F2)



- ・ いずれの世代においても「関わったことはない」の方が多く、特に年齢が低いほど数値も高くなっており、20、30代では9割を超える。

問 19 今後、土木事務所に期待したいことがあればご自由にご記入ください。



土木事務所へは、「道路」「公園」「緑地保全・緑化推進」の期待が大きい。

- ・ 今後、土木事務所に期待したい事(自由記述設問)では、354人から449件の意見があった。
- ・ 「広聴情報データベースシステムで使用する内容分類表」により分類すると、「道路」179件、「公園」90件、「緑地保全・緑化推進」39件、「行政改革・組織」26件、「市民対応」22件の順に多くなっている。

【参考】今後、土木事務所に期待したいこと-意見分類表

中分類	小分類	件数
道路	歩道・歩道橋	47
	道路清掃	35
	その他道路	29
	道路改良・補修	29
	道路付帯設備	24
	私道対策	6
	道路計画・新設	6
	道路不法占拠	2
	その他自動車・自転車	1
	公園	公園管理・運営
	公園建設・整備	25
	その他公園	2
緑地保全・緑化推進	緑化推進	38
	緑地保全	1
行政改革・組織	行政改革・組織	26
市民対応	市民対応へのお礼	20
	市民対応への苦情	2
河川	親水施設整備・管理	8
	河川改修	5
	河川管理	5
交通安全対策	スクールゾーン	9
	交通安全の啓発	1
	信号・横断歩道	1
	その他交通安全対策	1
防災・消防	災害予防	5
	その他防災・消防	3
	災害時の活動	2
	防災指導・啓発	1
下水道	下水道施設・排水設備	8
	下水道工事	2
	その他下水道	1
広報・広聴・市民相談	その他広報・広聴	8
その他	その他	7
水道	水道工事	4
	下水道施設・排水設備	1
	水道施設・整備	1
子育て支援	子育て支援	3
まちの美化	不法投棄	2
	その他街の美化	1
市有地	市有地	2
	市有地	1
スポーツ施設	スポーツ施設の新設、整備	2
都市景観	都市景観	2
高齢者福祉	その他高齢者福祉	1
衛生	環境衛生	1
環境保全対策	環境保全対策	1
防犯	その他防犯	1
土地利用	土地利用審査	1
駐車・駐輪	放置自転車対策	1
港湾	その他港湾	1
合計		449

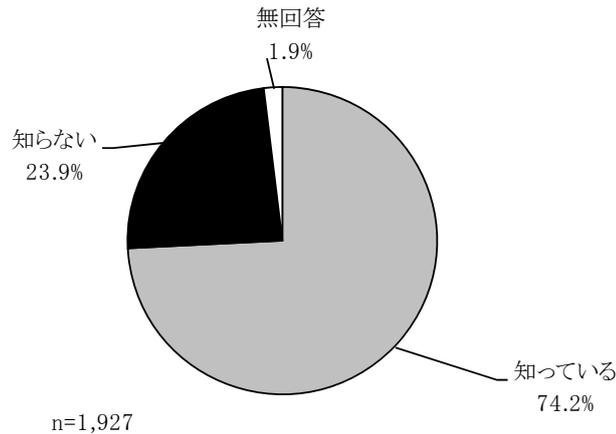
小分類で20件以上の意見があった項目と主な意見の内容は、次のとおりである。

- ・公園管理・運営(63件) 「公園の清掃・草刈」「公園の緑化」など
- ・歩道・歩道橋(47件) 「段差の解消」「歩道の整備」「歩道と車道の分離」など
- ・緑化推進(38件) 「道路の街路樹の剪定」「緑を増やす」など
- ・道路清掃(35件) 「磯子アベニューの水路清掃」「道路脇の草刈」「道路のゴミの清掃」など
- ・その他道路(29件) 「パトロールの強化」「無駄な道路工事に疑問」など
- ・道路改良・補修(29件) 「道路拡幅」「破損した路面の維持・修繕」など
- ・行政改革・組織(26件) 「迅速な対応を」「費用対効果を考え無駄をなくして」「地域に密着した対応を」など
- ・公園建設・整備(25件) 「公園整備」「公園の拡充」「遊具の整備」など
- ・道路付帯設備(24件) 「電線の地中化」「道路の街灯の設置」「道路の側溝整備」など
- ・市民対応へのお礼(20件) 「迅速な対応に感謝」「よくやってくれている」など

5. 住宅用火災警報器の設置義務化について

(1) 義務化の認知度

問 20 あなたは住宅用火災警報器設置義務化を知っていますか。

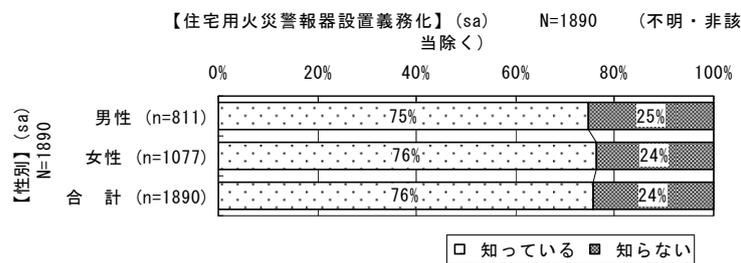


「知っている」が全体の4分の3を占め、認知度は高い。

- ・ 「知っている」が 74.2%と全体の4分の3を占め、認知度は高い。「知らない」は 23.9%である。

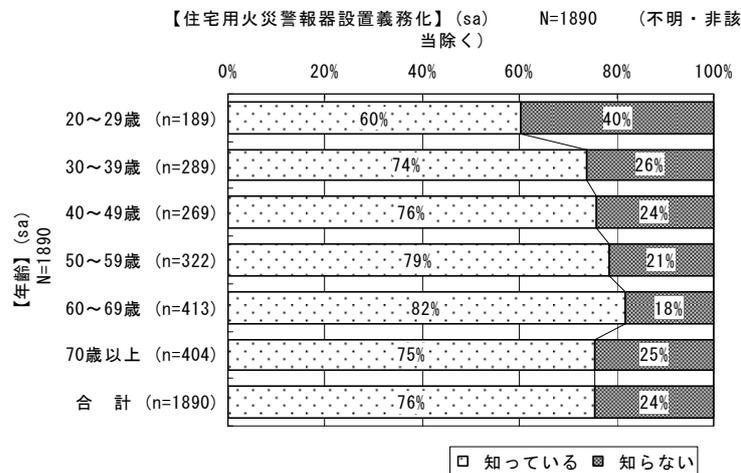
クロス集計

■ 性別（問20× F1）



- ・ 性別で大きな差はみられない。

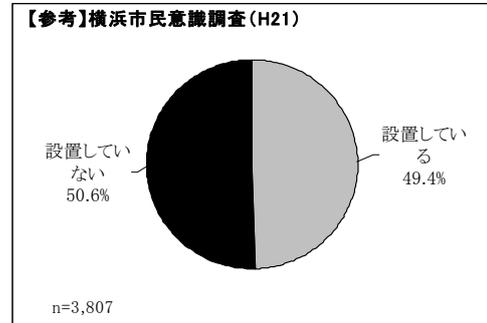
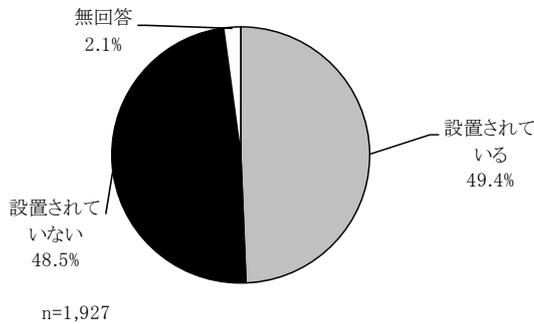
■ 年齢別（問20× F2）



- ・ いずれの世代においても「知っている」の方が多く、最も数値の低い 20 代でも6割以上、最も高い 60 代では8割に達している。

(2)設置の有無

問21 あなたの住まいには、すでに住宅用火災警報器(マンションなどの自動火災報知設備を含む)が設置されていますか。

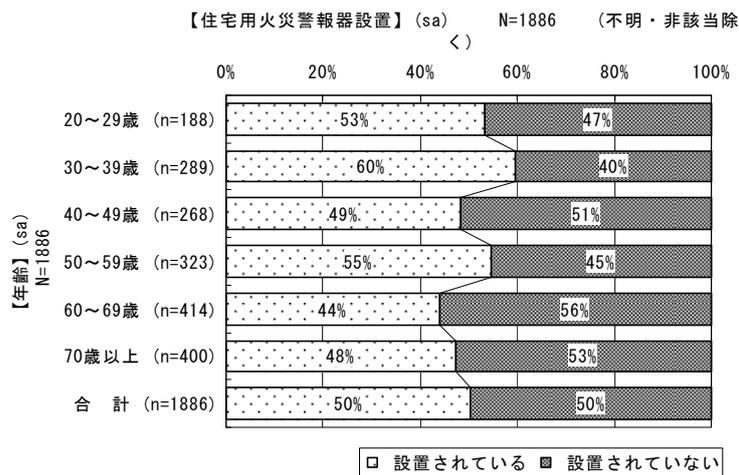


住宅用火災警報器「設置されている」「設置されていない」ともに半数弱で拮抗している。

- ・ 「設置されている」が49.4%、「設置されていない」が48.5%で、設置されているとした回答がわずかに多いものの、ほぼ拮抗している。
- ・ 横浜市民意識調査(H21)においても、「設置している」が49.4%、「設置していない」が50.5%でほぼ拮抗しており、こちらでは「設置していない」がわずかに多いが、ほぼ同様の結果となっている。

クロス集計

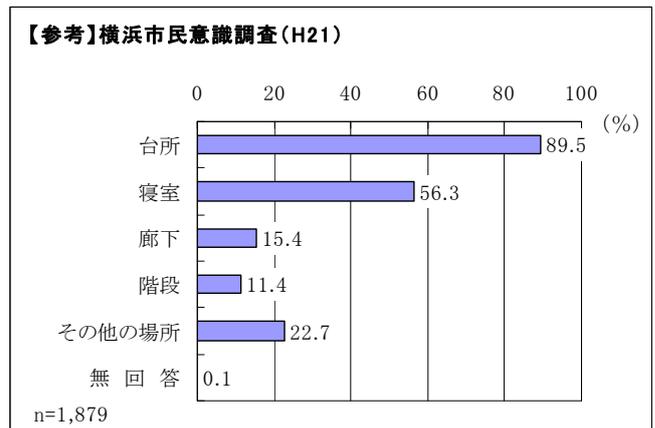
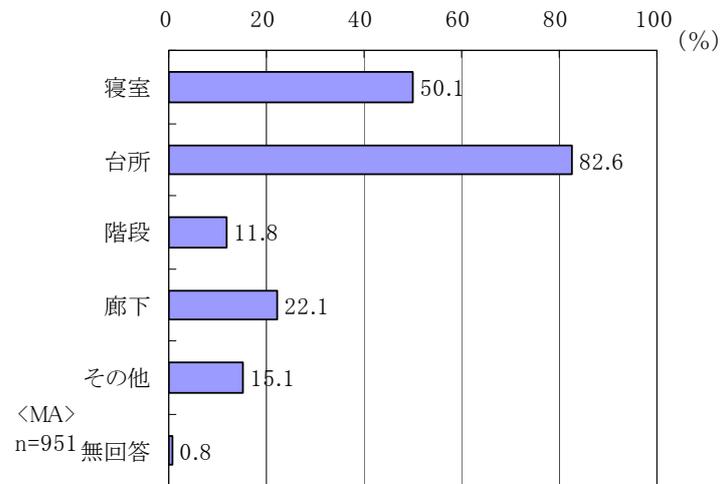
■ 年齢別 (問21 × F2)



- ・ 20代、30代、50代では「設置されている」、40代、60代、70歳以上では「設置されていない」の方が多くなっている。

(3) 設置場所(設置している場合)

問 21-1 問 21 で火災警報器が設置されていると回答された方におたずねします。火災警報器はどの場所に設置されていますか。(複数回答)

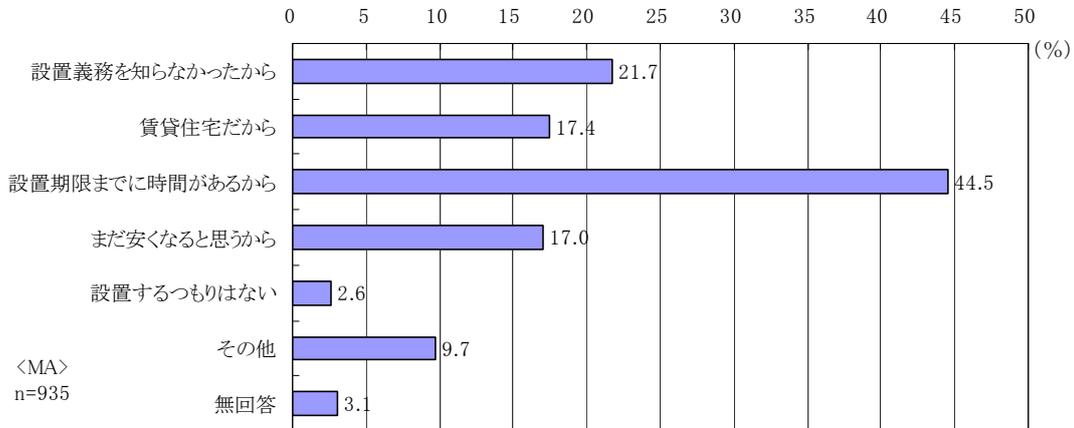


圧倒的に「台所」が多く8割以上の方が挙げている。次いで「寝室」がほぼ半数。

- ・ 「台所」が圧倒的に多く、8割以上が挙げている。次いで「寝室」で、ほぼ半数が挙げている。以下「廊下」(22.1%)、「その他」(15.1%)、「階段」(11.8%)と続く。
- ・ 横浜市民意識調査(H21)においても、「台所」が最も多く9割近くが挙げており、次いで「寝室」が過半数を占めている。以下「廊下」(15.4%)、「その他の場所」(22.7%)、「階段」(11.4%)と続く。磯子区の結果は横浜市に比べ、「廊下」が6.7ポイント多く、「その他」が7.6ポイント少ない。

(4) 設置していない理由(設置していない場合)

問 21-2 問 21 で火災警報器が設置されていないと回答された方におたずねします。まだ設置されていない理由は何ですか。

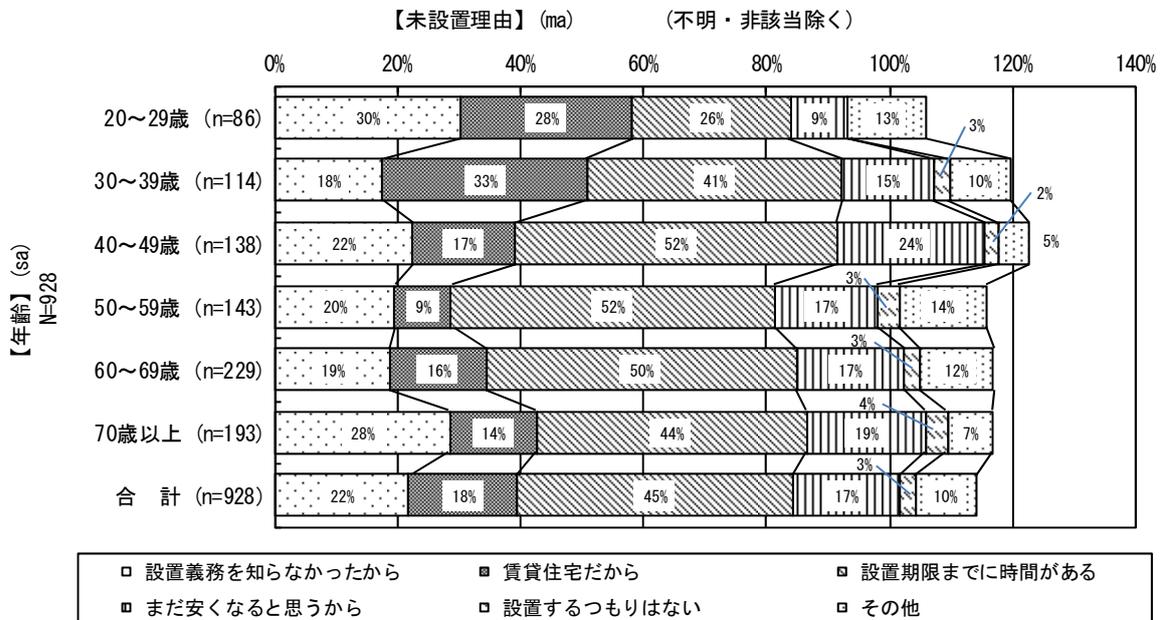


「設置期限までに時間があるから」を半数弱の人が挙げている。

- ・ 「設置期限までに時間があるから」を半数弱(44.5%)の人が挙げており突出している。次いで「設置義務を知らなかったから」が 21.7%、以下「賃貸住宅だから」(17.4%)、「まだ安くなると思うから」(17.0%)、「その他」(9.7%)、「設置するつもりはない」(2.6%)の順となっている。

クロス集計

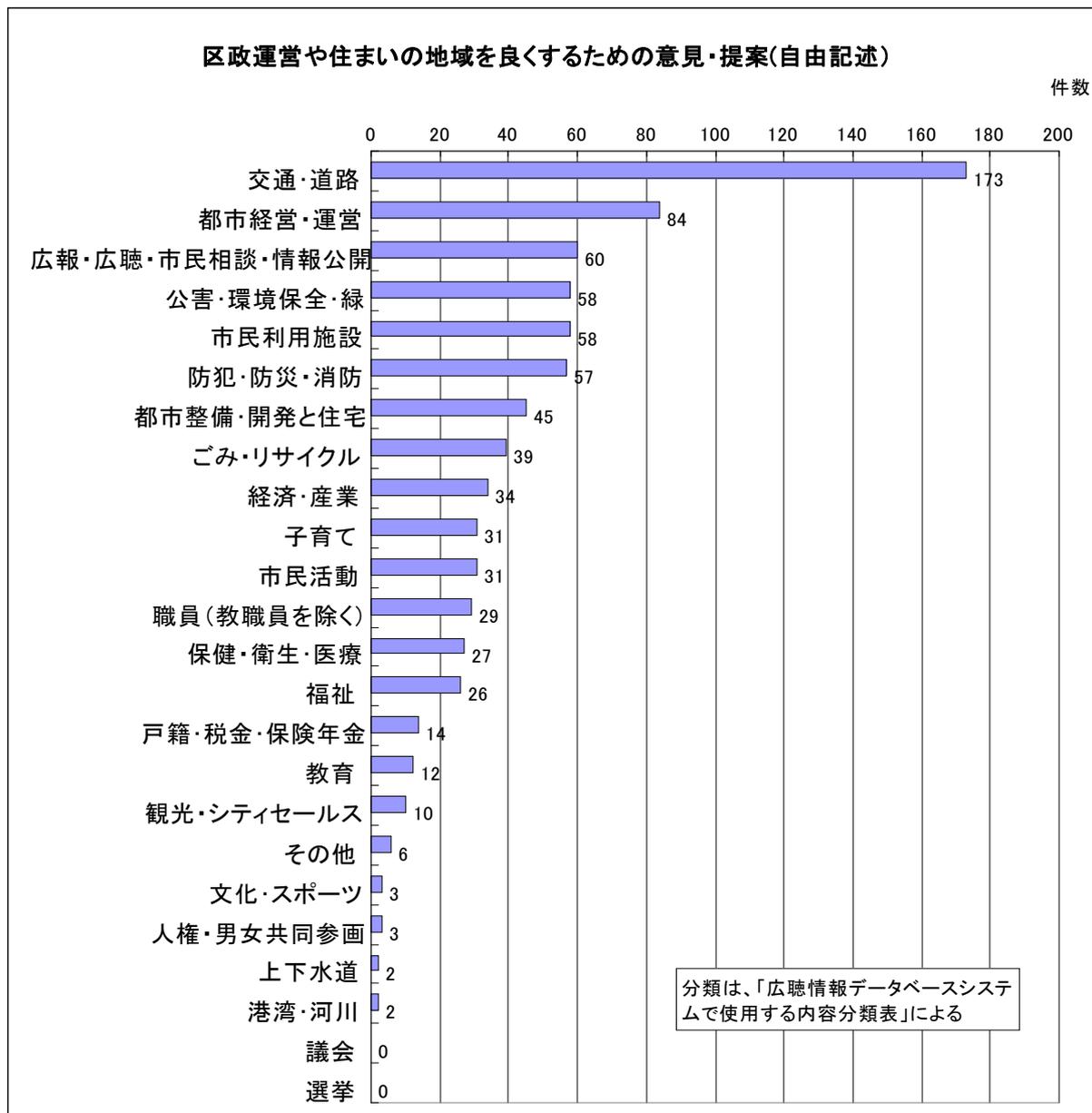
■ 年齢別 (問21-2 × F2)



- ・ 20代では「設置義務を知らなかったから」、30代より上の世代では「設置期限までに時間があるから」が最も多くなっている。また、30代では「賃貸住宅だから」の数値が他の世代に比べて高い。

6. その他

「区政運営や住まいの地域を良くするための意見・提案」（自由記述設問）では、482 人から 804 件の意見があった。「交通・道路」に関する意見が 173 件（21.3%）と特に多かった。次いで、「都市経営・運営」84 件、「広報・広聴・市民相談・情報公開」60 件、「公害・環境保全・緑」58 件、「市民利用施設」58 件、「防犯・防災・消防」57 件が、50 件以上の意見があった分野である。



【資料】調査表(単純集計結果)

平成21年度 磯子区民意識調査（調査票）

区民の皆様には、平素から区政にご理解・ご協力をいただき、お礼申し上げます。

磯子区では、「区民が主役の自立した豊かな地域社会」を目指して様々な施策を進めておりますが、今回、区民の皆様が日ごろ区内の生活環境や行政サービスについてどのように感じられているのかをお伺いするため、アンケート調査を実施することといたしました。得られました結果を基礎資料とし、誰もがよりいきいきと幸せに暮らし、「これからも住み続けたい」と実感できるまちづくりを進めてまいります。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

磯子区長 守屋直

このアンケートは、磯子区在住の20歳以上の区民の方々の中から無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。

ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。

ご回答いただいた調査票は、お手数ですが、同封いたしました**返信用封筒に入れて、平成21年8月12日（水）までに投函**してください（切手及び記名は不要です）。

ご記入にあたって

- ◆封筒の宛先にお名前を書かせていただいた方**ご本人がご記入**ください。
- ◆ご回答は、区役所サービスの実際の利用の有無に関わらず、すべての質問について、**住民として費用を負担している立場から**お答えください。
- ◆質問には、回答にある番号に○印を付けていただく形式、番号を回答欄に記入していただく形式、自由に意見を記入していただく形式があります。
- ◆回答にある番号に○印を付けていただく形式では、原則として**該当する番号1つに○**をつけていただきます。複数の回答が可能な質問にはその旨指示をつけてあります。質問文の指示に従ってご回答ください。「その他」に当てはまる場合には、その番号に○をつけて（ ）内に具体的にその内容をご記入ください。

※アンケートについてご不明な点やご質問がございましたら、下記までご連絡ください。

磯子区役所 総務部区政推進課企画調整係

電話 045-750-2331

電子メール is-kusei@city.yokohama.jp

担当 高柳、松井

はじめに、現在のお住まいの周辺の生活環境についておたずねします

問1 あなたは現在のお住まいの周辺の生活環境にどの程度満足していますか。また、以前と比べてどのよう
に変わったと思いますか。(項目ごとに“満足度”、“以前と比べて”からそれぞれの記号に1つずつに○ (%)

生活環境	満足度						以前と比べて				
	満足	やや満足	やや不満	不満	分からない	無回答	よくなった	変わらなかった	悪くなった	分からない	無回答
① バスの便などの地域交通	23.6	32.3	21.3	12.1	8.4	2.3	21.3	40.1	10.9	15.2	12.6
② 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	19.7	39.8	21.4	12.1	3.8	3.2	20.8	53.0	3.4	10.1	12.7
③ 放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	11.7	30.9	24.5	15.8	12.9	4.2	18.7	44.0	6.1	17.3	14.0
④ 区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	5.0	19.8	14.6	13.0	43.8	3.8	8.9	29.6	4.0	44.0	13.5
⑤ 商店街の振興	7.1	21.8	28.1	23.0	16.8	3.2	7.7	33.7	26.6	19.4	12.6
⑥ 公園の管理、整備	14.8	39.1	17.9	7.3	17.4	3.5	19.8	39.5	5.7	21.9	13.1
⑦ 緑の保全と緑化の推進	14.5	37.1	18.2	8.7	17.5	4.0	15.4	40.8	8.3	22.0	13.5
⑧ ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	18.9	45.2	20.9	8.9	3.3	2.8	38.5	30.5	8.8	9.5	12.8
⑨ 災害対策	5.2	23.3	16.2	5.2	46.5	3.6	8.1	31.7	1.6	45.4	13.3
⑩ 防犯対策	6.1	26.5	21.4	10.6	31.9	3.5	12.2	35.0	6.3	32.6	13.8
⑪ 食品衛生・環境衛生の監視・指導	3.8	19.1	11.5	4.7	57.0	3.9	6.2	24.4	2.1	53.1	14.2
⑫ 子育て支援や青少年の健全育成	3.3	18.4	18.1	9.9	45.8	4.5	7.2	26.7	6.1	45.5	14.5
⑬ 感染症・生活習慣病など保健推進	4.7	21.4	13.5	4.8	51.2	4.4	10.4	25.0	2.3	48.2	14.1
⑭ 高齢者福祉	4.8	17.9	19.1	15.4	39.6	3.2	11.2	25.4	10.7	39.4	13.3
⑮ 障害者福祉	3.8	13.0	14.7	10.1	54.8	3.6	7.5	20.3	6.4	51.4	14.4
⑯ 経済的に困っている人の保護	2.0	8.5	14.3	11.1	60.1	4.0	3.2	18.8	6.9	57.1	13.9
⑰ 地域活動支援	3.8	19.5	14.0	5.0	53.6	4.1	8.3	23.6	3.6	50.1	14.4
⑱ 地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	8.4	31.4	15.1	8.0	33.6	3.5	14.4	33.4	2.8	35.3	14.2
⑲ 広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	6.5	26.8	13.9	5.1	43.2	4.5	11.2	30.0	2.1	42.0	14.8
⑳ 身近な住民窓口サービス	10.6	33.4	14.0	6.4	32.1	3.5	19.7	30.8	2.4	33.2	13.9
○ お住まいの周辺の総合的な環境	12.7	46.2	23.6	7.9	5.7	3.9	15.5	47.2	9.8	13.0	14.6

問2 上記①～⑳の質問項目のうち、あなたのお住まいの周辺の環境にとって、とくに重要度が高いとお考えの項目を3つまでお知らせください。

(①～⑳の番号から3つを選んで記入)

⑩

①

⑧

問3 上記①～⑳の質問項目のうち、磯子区役所が取り組むべき課題として、重要度が高いとお考えの項目を3つまでお知らせください。

(①～⑳の番号から3つを選んで記入)

⑭

⑩

⑨

現在のお住まいの場所についておたずねします

問4 あなたはいまのお住まいにいつごろから住んでいますか。(○は1つ)

1	昭和20年(1945年)以前	1.9%	
2	昭和20～29年(1945～1954年)	3.1%	
3	昭和30～39年(1955～1964年)	4.9%	
4	昭和40～49年(1965～1974年)	14.3%	
5	昭和50～59年(1975～1984年)	15.5%	
6	昭和60～平成6年(1985～1994年)	15.4%	
7	平成7～11年(1995～1999年)	13.5%	
8	平成12～16年(2000～2004年)	13.7%	
9	平成17年(2005年)以降	16.6%	無回答 1.1%

問5 あなたが現住所の前に住んでいたところはどちらですか。(○は1つ)

1	生まれてからずっと現住所に住んでいる	6.2%	4	川崎市	3.2%
2	磯子区内の別の場所	21.2%	5	川崎市を除く県内の他市町村	5.3%
3	横浜市内の磯子区以外の区(該当の区に○)	38.8%	6	東京都区部	7.9%
3-1	青葉区	0.7%	3-7	港北区	4.1%
3-2	旭区	3.5%	3-8	栄区	2.9%
3-3	泉区	1.3%	3-9	瀬谷区	0.7%
3-4	神奈川区	6.6%	3-10	都筑区	0.7%
3-5	金沢区	15.0%	3-11	鶴見区	4.4%
3-6	港南区	18.6%	3-12	戸塚区	4.6%
			3-13	中区	13.0%
			3-14	西区	4.6%
			3-15	保土ヶ谷区	5.1%
			3-16	緑区	0.9%
			3-17	南区	12.2%
			7	東京都区部を除く東京都内	2.0%
			8	そのほかの道府県・国外	13.7%
					無回答 1.8%
					無回答 1.2%

(問5で2～8とお答えの方におたずねします)

問5-1 あなたが、直前にお住まいの場所から移転したきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

1	進学	1.7%	5	子どもの独立	1.1%	9	その他	10.9%
2	就職・転勤	11.8%	6	部屋が狭い(家族の増加など)	10.4%		(具体的に_____)	
3	結婚	15.4%	7	家・マンションの購入	41.1%	10	特別な理由はない	4.4%
4	退職	1.7%	8	親や子と同居・近隣に住むため	11.4%			無回答 3.4%

(問5で2～8とお答えの方におたずねします)

問5-2 あなたが、移転先として現住所を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 生まれ育った場所だから 5.3%	13 住まいの周辺が静かだから 22.5%
2 以前に磯子区に住んだことがあるから 9.8%	14 海があるから 5.6%
3 自分や家族の持家だから 19.1%	15 緑が多いから 15.5%
4 寮や社宅に住むから 4.7%	16 まちなみや景観がよいから 7.1%
5 親や子、親族、友人などがいるから 17.0%	17 賑わいや活気があるから 0.8%
6 家賃や住宅の価格が手ごろだから 23.5%	18 犯罪が少ないと感じているから 3.9%
7 交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから 31.4%	19 街のイメージがよいから 5.3%
8 日ごろの買い物などが便利だから 13.4%	20 磯子が好きだから 6.0%
9 保育所・公園等の子育て環境がよいから 3.7%	21 区民の気質や感性が自分と合うから 0.5%
10 学校などの教育環境がよいから 4.3%	22 近隣と気兼ねのない付き合いができるから 2.5%
11 文化・スポーツ施設などが近くにあるから 1.2%	23 近隣と関わらずに生活できるから 2.4%
12 病院・医院が近くにあるから 7.8%	24 その他(具体的に: _____) 4.5%

無回答 7.9%

問6 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

1 住み続ける 32.6%	3 たぶん移転する 11.2%	5 わからない 13.1%
2 たぶん住み続ける 35.9%	4 移転する 5.4%	

無回答 1.8%

(問6で「3」「4」と答えた方におたずねします)

5ページ 問8へ

→ 問6-1 現実の問題は別として、次の移転先としては、磯子区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(○は1つ)

1 磯子区内 15.3%	3 川崎市 2.2%		
2 横浜市内の磯子区以外の区(該当の区に○) 19.7%	4 川崎市を除く県内の他市町村 4.7%		
2-1 青葉区 3.2%	2-7 港北区 4.8%	2-13 中区 12.7%	5 東京都区部 9.1%
2-2 旭区 4.8%	2-8 栄区 3.2%	2-14 西区 9.5%	6 東京都区部を除く東京都内 0.0%
2-3 泉区 1.6%	2-9 瀬谷区 0.0%	2-15 保土ケ谷区 3.2%	7 そのほかの道府県・国外 17.5%
2-4 神奈川区 11.1%	2-10 都筑区 0.0%	2-16 緑区 1.6%	8 具体的にはわからない 30.3%
2-5 金沢区 11.1%	2-11 鶴見区 1.6%	2-17 南区 9.5%	
2-6 港南区 14.3%	2-12 戸塚区 4.8%		無回答 1.3%
			無回答 3.2%

(問6-1で「2」～「8」と答えた方におたずねします)

問6-2 あなたが磯子区から移転する場合、そのきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

1 進学 0.7%	5 子どもの独立 4.5%	9 その他 19.9%
2 就職・転勤 22.5%	6 部屋が狭い(家族の増加など) 7.1%	(具体的に_____)
3 結婚 10.1%	7 家・マンションの購入 27.7%	10 特別な理由はない 4.1%
4 退職 9.4%	8 親や子と同居・近隣に住むため 11.2%	無回答 2.6%

(問6-1で「2」～「8」と答えた方におたずねします)

問6-3 あなたが、移転先として磯子区を選ばない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|----------------------------|
| 1 郷里に帰るから 14.6% | 11 病院・医院が近くにないから 4.9% |
| 2 移転先の自分や家族の持家に住むから 12.0% | 12 住まいの周辺が静かでないから 6.7% |
| 3 移転先の寮や社宅に住むから 9.0% | 13 自然環境が身近にないから 6.7% |
| 4 親や子、親族、友人などがいないから 3.7% | 14 まちなみや景観がよくないから 6.4% |
| 5 家賃や住宅の価格が高いから 7.1% | 15 賑わいや活気がないから 8.2% |
| 6 交通(通勤・通学・買い物等)の便がよくないから 25.1% | 16 犯罪が多いから 3.0% |
| 7 日ごろの買い物などが不便だから 15.4% | 17 街のイメージがよくないから 3.4% |
| 8 保育所・公園等の子育て環境がよくないから 2.6% | 18 磯子が好きではないから 1.9% |
| 9 学校などの教育環境がよくないから 3.7% | 19 区民の気質や感性が自分と合わないから 3.0% |
| 10 文化・スポーツ施設などが近くにないから 4.9% | 20 その他(具体的に: _____) 13.5% |
- 無回答 10.1%

(問6で「1」「2」または問6-1で「1」と答えた方におたずねします)

問7 あなたが磯子区に住み続ける意向がある理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1 生まれ育った場所だから 11.1% | 13 住まいの周辺が静かだから 29.3% |
| 2 長年住み慣れているから 41.1% | 14 海があるから 7.5% |
| 3 自分や家族の持家だから 56.0% | 15 緑が多いから 19.6% |
| 4 寮や社宅に住むから 0.4% | 16 まちなみや景観がよいから 8.6% |
| 5 親や子、親族、友人などがいるから 22.7% | 17 賑わいや活気があるから 1.1% |
| 6 家賃や住宅の価格が手ごろだから 6.0% | 18 犯罪が少ないと感じているから 9.6% |
| 7 交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから 33.4% | 19 街のイメージがよいから 6.8% |
| 8 日ごろの買い物などが便利だから 23.7% | 20 磯子が好きだから 15.0% |
| 9 保育所・公園等の子育て環境がよいから 3.1% | 21 区民の気質や感性が自分と合うから 1.7% |
| 10 学校などの教育環境がよいから 3.9% | 22 近隣と気兼ねのない付き合いができるから 10.1% |
| 11 文化・スポーツ施設などが近くにあるから 3.1% | 23 近隣と関わらずに生活できるから 3.4% |
| 12 病院・医院が近くにあるから 19.1% | 24 その他(具体的に: _____) 1.6% |
- 無回答 8.5%



あなたの普段の生活や考えについてお伺いします

問8 あなたが普段の生活で行っていること、心がけていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 不審者に注意している 56.8%
- 2 防犯パトロールに参加している 4.2%
- 3 自宅に補助鍵や防犯カメラをつけている 16.15%
- 4 いざという時の避難場所を把握している 40.9%
- 5 普段から災害時の備えをしている 18.7%
- 6 地域の防災訓練に参加している 13.4%
- 7 ごみの分別をきちんとしている 89.4%
- 8 資源集団回収に協力している 52.3%
- 9 省エネに取り組んでいる 37.8%
- 10 なるべくリサイクル製品を購入している 9.6%
- 11 子どもや子ども連れに気軽に声かけや挨拶をしている 21.1%
- 12 困っている親子を見かけたときには手助けしている 21.8%
- 13 子どもを対象とした遊び・活動等に参加している 6.6%
- 14 定期的に健康診断を受けている 50.2%
- 15 食事バランスに気をつけている 57.5%
- 16 定期的に運動をしている 32.3%
- 17 近隣にどんな人が住んでいるか知っている 47.7%
- 18 困ったときには近隣の人と相談しあっている 19.7%
- 19 地域の見守り・支え合い活動に参加している 6.3%
- 20 地域の行事にはなるべく参加している 15.7%
- 21 自治会・町内会の運営に参加している 23.1%
- 22 その他(具体的に: _____) 0.7% 無回答 2.3%

問8-1 上記1~22の質問項目のうち、今後とくに行っていきたいと思っている項目(継続を含む)を3つまでお答えください。(1~22の番号から3つを選んで記入)

7

1

14

問9 あなたは次にあげる①～⑳の意見についてどう思われますか。右欄の「そう思う」から「そう思わない」までのなかから選んで記号に○をつけてください。(それぞれの意見ごとに○は1つ)

	(%)					
	そう 思う	やや そう 思う	ど ちら とも い え ない	あ ま り そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	無 回 答
① これからは結婚しない生き方も当たり前になる	21.4	28.9	21.1	11.9	12.0	4.6
② 今の世の中は子どもを育てにくい	33.8	31.3	14.1	11.5	5.3	3.9
③ 子どもはできるだけ、たくさん産み育てる方がよい	15.6	19.1	38.4	14.1	8.4	4.4
④ 夫も家事や育児など家庭内の仕事を分担した方がよい	44.7	33.8	12.3	4.0	1.4	3.7
⑤ 老後は子どもや孫といっしょに暮らした方がよい	16.7	19.4	36.5	13.1	10.4	3.9
⑥ 自分が寝たきりになったら、福祉サービスを利用して自宅で暮らしたい	30.8	21.4	27.2	9.6	8.1	2.8
⑦ いくつになっても元気なうちは社会の第一線で働いた方がよい	39.6	28.5	18.4	6.7	3.1	3.7
⑧ 仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活をより大切にする	30.8	31.3	21.0	9.0	3.3	4.6
⑨ 仕事のため、家族を多少犠牲にしても仕方がない	3.2	15.0	25.9	26.2	25.4	4.3
⑩ 労働時間が長くなっても収入が増えることが望ましい	9.2	15.7	30.0	25.0	15.8	4.3
⑪ いったん職業についたら、その仕事を一生続けた方がよい	16.8	19.5	35.5	13.3	10.7	4.2
⑫ 車やエアコンの使用を控えるなど、不便を感じても地球環境を守りたい	23.1	39.6	23.0	8.0	2.7	3.6
⑬ 手間やお金がかかっても、資源再利用やリサイクルに積極的に取り組みたい	19.4	39.9	24.9	9.0	2.5	4.3
⑭ たとえ隣近所の人でも気のあった人とだけつき合えばよい	7.5	18.4	35.3	22.0	13.1	3.8
⑮ 人手がいるときは、近所に頼むより、サービス業者に頼んだ方がよい	22.7	30.9	31.5	8.1	3.2	3.6
⑯ 多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい	11.1	21.0	32.0	19.9	12.2	3.9
⑰ 同じ所に一生住むよりも、生活の変化に応じて住み替えた方がよい	8.0	17.0	34.5	19.7	17.2	3.6
⑱ 多少の不満はあっても、大きな組織の中にいれば安心だ	6.2	18.1	36.6	20.4	14.2	4.5
⑲ 今の世の中は、努力すれば報われる社会だ	4.1	10.6	27.0	29.7	25.1	3.5
⑳ 今の世の中は学歴よりも能力が大切だ	21.2	28.4	31.5	9.8	5.8	3.3

現在磯子区で取り組んでいる施策についてお伺いします

CO-DO30

横浜市では、「脱温暖化行動」の指針として、「CO-DO30脱温暖化行動方針」を策定し、2025年度までに市民一人当りの温室効果ガス排出量を30%以上削減するという目標達成を目指しています。磯子区でも、区民・事業者・環境団体等で構成する「磯子区脱温暖化行動推進本部」を設立し、区民のみなさんと協働で啓発活動を行うことで、磯子区における「脱温暖化行動」を推進しています。



磯子区脱温暖化行動推進本部
オリジナルエコバッグ

問10 あなたは「CO-DO30」を知っていますか。(〇は1つ)

1 知っている **24.2%**

2 知らない **73.9%**

無回答 **1.9%**

スイッチON磯子

磯子区では、誰もが幸せに暮らせるまちをめざして、区民・団体・行政等が一緒になって生活課題の解決に取り組む磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」を平成18年3月に策定し、推進しています。



スイッチON磯子 計画案内役
『梅さん』

問11 あなたはこの計画を知っていますか、また活動に参加していますか。(〇は1つ)

1 内容も知っているし、活動に参加したこともある **2.9%**

2 内容は知っているが、活動に参加したことはない **6.4%**

3 名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない **26.3%**

4 知らない **63.4%**

無回答 **0.9%**

いそご区民活動支援センター

平成21年3月、磯子区総合庁舎7階に「いそご区民活動支援センター」がオープンしました。地域でさまざまな活動に取り組む皆さんに、活動に必要な場所や機材、情報を提供するほか、講座や交流会などを通じたつながりづくり、これから地域活動を始めたい人たちのきっかけづくりなどを進めています。



区役所7階にオープンした
区民活動支援センター

問12 いそご区民活動支援センターがオープンしたことを知っていましたか。(〇は1つ)

1 利用したことがある **1.3%**

2 利用したことはないが、知っていた **21.0%**

3 知らなかったが、今後利用したい **38.6%**

4 知らなかったし、今後も利用することはない **38.1%** 無回答 **0.9%**

区政広報ポスター

行政情報をより一層周知し、広報よこはま磯子区版に関心をもっていただくために、区政広報ポスターを発行し、自治会・町内会の掲示板等で広報を行っています。

問 13 自治会・町内会の掲示板等で区政広報ポスターを見たことがありますか。
(○は1つ)

1 ある 38.3% 2 ない 39.5% 3 わからない 20.4% 無回答 1.7%

問 14 あなたは、「広報よこはま磯子区版」を読んでいますか。

(1) 紙版 (○は1つ)

1 よく読んでいる 27.2% 4 届いているが読んでいない 5.8%
2 時々読んでいる 42.3% 5 届いていない 7.4%
3 あまり読んでいない 15.6% 無回答 1.8%

(2) Web版<ホームページ> (○は1つ)

1 よく見ている 1.6% 4 まったく見ていない 48.6%
2 時々見ている 7.6% 5 インターネットを使わない 23.0%
3 あまり見ていない 13.5% 無回答 4.8%



区政広報ポスター

カラス生活被害対策

磯子区では、平成 20 年度から、カラスよけネットボックスの貸与やカラスの巣落とし費用の補助など積極的にカラスによる生活被害対策を行っています。

ネットボックス ごみ集積場所ごとに貸し出し
巣落とし補助 全額助成(巣までの高さがおおむね 12m 以下でクレーン車等の費用がかからず、人の作業のみで除去できる作業のみ)

問 15 あなたの利用しているごみ集積場所では、カラスによる被害対策として、ネット等をつけていますか。(○は1つ)

1 区役所から貸与されたネットボックスをつけている 19.8%
2 市販品のネット等をつけている 51.3%
3 何もつけていない 14.3%
4 わからない 9.9% 無回答 4.7%



磯子区独自のカラスよけネットボックス

問 16 あなたは、以前とくらべて、カラスによるごみ荒らしや威嚇などが減ったと思いますか。
(○は1つ)

1 減ったと思う 35.6% 4 増えたと思う 9.5%
2 やや減ったと思う 25.7% 5 もともとカラスの被害はない 3.1%
3 変わらない 14.6% 6 わからない 10.0% 無回答 1.5%

磯子区土木事務所

土木事務所では、道路の整備や公園の再整備、下水道・河川の整備を進めるとともに、これらの施設の状況について、日夜、パトロールなどを通じて迅速に把握し、適切な維持管理に努めています。また、児童を交通事故から守るためのスクールゾーン対策、園内の清掃・除草、花壇づくりなどを行っている公園愛護会の支援、地域の皆さんが身近な道路を守り育てるハマロードサポーターの活動支援も行っています。

問 17 あなたは、土木事務所の仕事をご存じでしたか。(○は1つ)

1 よく知っている 12.0% 2 少し知っている 50.1% 3 知らない 35.8% 無回答 2.1%

問 18 あなたは、これまでに土木事務所の仕事と関わったことがありますか。(○は1つ)

1 関わったことがある 10.8% 2 関わったことはない 86.6% 無回答 2.6%

問 19 今後、土木事務所に期待したいことがあればご自由にご記入ください。

住宅用火災警報器設置義務化

平成 23 年 5 月 31 日までに全ての住宅に住宅用火災警報器などの自動で火災を感知する設備を設置する必要があります。

問 20 あなたはこのことを知っていますか。(○は1つ)

1 知っている 74.2% 2 知らない 23.9% 無回答 1.9%

問 21 あなたの住まいには、すでに住宅用火災警報器(マンションなどの自動火災報知設備を含む)が設置されていますか。(○は1つ)

1 設置されている 49.4% 2 設置されていない 48.5% 無回答 2.1%

問 21-1 問 21 で火災警報器が設置されていると回答された方におたずねします。火災警報器はどの場所に設置されていますか。(○はいくつでも)

1 寝室 50.1% 2 台所 82.6% 3 階段 11.8% 4 廊下 22.1% 5 その他 15.1% 無回答 0.8%

問 21-2 問 21 で火災警報器が設置されていないと回答された方におたずねします。まだ設置されていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 設置義務を知らなかったから 21.7% 4 まだ安くなると思うから 17.0%
2 賃貸住宅だから 17.4% 5 設置するつもりはない 2.6%
3 設置期限までに時間があるから 44.5% 6 その他 () 9.7% 無回答 3.1%

最後に、あなたご自身についてお伺いします

F 1 あなたの性別をお選びください。(○は1つ)

1 男性 42.4%	2 女性 56.4%	無回答 1.2%
------------	------------	----------

F 2 あなたの年齢をお選びください。(○は1つ)

1 20～29歳 9.8%	3 40～49歳 14.0%	5 60～69歳 21.7%
2 30～39歳 15.0%	4 50～59歳 16.8%	6 70歳以上 21.4%
無回答 1.3%		

F 3 あなたは結婚されていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

1 既婚（配偶者あり） 67.8%	2 既婚（離死別） 12.6%	3 未婚 18.1%
無回答 1.6%		

F 3-1 あなたは共働きをしていますか。(○は1つ)

既婚者のみの回答結果

1 フルタイム共働き 15.2%	2 パートタイム共働き(※) 22.5%	3 していない 61.6%
------------------	----------------------	---------------

※夫婦の何れか、あるいは両方がパートタイム

無回答 0.7%

F 4 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

1 小学校入学前 8.6%	7 学校教育終了-未婚-同居 17.5%
2 小学校在学中 8.8%	8 学校教育終了-未婚-別居 9.1%
3 中学校在学中 5.1%	9 学校教育終了-既婚-同居 4.3%
4 高校在学中 5.3%	10 学校教育終了-既婚-別居 27.2%
5 各種学校、専修・専門学校在学中 0.9%	11 その他（具体的に_____） 0.6%
6 短大・大学・大学院在学中 5.1%	12 子どもはいない 25.3%
無回答 7.6%	

F 5 あなたのご家族(同居されている方)の構成をお選びください。(○は1つ)

1 ひとり暮らし 10.9%	3 親と子（2世代） 48.9%	
2 夫婦のみ 26.2%	4 祖父母と親と子（3世代） 6.8%	5 その他 4.6%
無回答 2.7%		

F 6 あなたのご職業をお選びください。(○は1つ)

1 自営業・自由業（農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者） 7.9%
2 管理職（会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など） 5.12%
3 専門技術職（勤務医師、研究所研究員、技師など） 8.1%
4 事務職（事務職、営業職、教員など） 14.0%
5 生産・販売等の職業（生産工程、販売・サービス、運転手、保安職など） 14.6%
6 主婦・主夫 22.6%
7 学生 2.0%
8 無職 22.9%
無回答 2.8%

F 7 あなたの住んでいる地域をお選びください。(○は1つ)

- | | |
|---|----------|
| 1 根岸地域 (上町、馬場町、坂下町、下町、原町、西町、東町、鳳町) 4.0% | |
| 2 滝頭地域 (丸山一・二丁目、滝頭一～三丁目、岡村一～三丁目、中浜町) 9.9% | |
| 3 岡村地域 (岡村四、五、六、八丁目) 5.2% | |
| 4 磯子地域 (磯子一～八丁目、磯子台、広地町、久木町、岡村七丁目、新磯子町) 18.5% | |
| 5 汐見台地域 (汐見台1～3丁目) 4.3% | |
| 6 屏風ヶ浦地域 (森一～六丁目、中原一～四丁目、新中原町、森が丘一・二丁目、新森町) 14.9% | |
| 7 杉田地域 (杉田一～九丁目、杉田坪呑、新杉田町) 14.5% | |
| 8 上笹下地域 (田中一・二丁目、栗木一～三丁目、上中里町、峰町、氷取沢町) 9.3% | |
| 9 洋光台地域 (洋光台一～六丁目) 17.6% | 無回答 1.7% |

F 8 あなたのお住まいの形態をお選びください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 持家 (一戸建て) 44.8% | 5 借家 (公団・公社の共同住宅) 6.1% |
| 2 持家 (マンション・共同住宅) 29.4% | 6 社宅、公務員住宅 2.6% |
| 3 借家 (一戸建て) 2.2% | 7 民間アパート、民間賃貸マンション 10.6% |
| 4 借家 (県営・市営の共同住宅) 2.1% | 8 その他 0.7% |
| | 無回答 1.5% |

F 9 あなたはどこへ通勤・通学されていますか。職業をお持ちでない方は、日常生活を主に過ごす場所をお選びください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 磯子区 48.1% | 4 東京都内 12.2% |
| 2 横浜市内の他の区 27.2% | 5 その他 2.5% |
| 3 神奈川県内の他の市町村 5.5% | |
| | 無回答 4.5% |

区政運営についてや、お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
アンケート票は同封いたしました返信用封筒に入れて、
平成21年8月12日(水)までにご投函ください(切手及び記名は不要)です。

平成21年度 磯子区民意識調査 報告書

平成22年3月発行

横浜市磯子区区政推進課

〒235-0016 横浜市磯子区磯子 3-5-1

TEL 045(750)2331 FAX 045(750)2533